

【羊毛工業】

大東紡織

【設立】明治二十九年三月
【決算期】五月十一月

【再び憂色】

業礎の充實と陣容の更新に依り、折柄の輸出活況に乗つて毛織、綿紡とも好調を示しつつあつたが、去る七月七日の貿易統制令改正に依る輸出調整と英米ブロックの相次ぐ対日資産凍結実施は、正に晴天の霹靂で、前途俄かに暗澹となり、再び憂色に閉ざされるに至つた

【影響甚大】

輸出市場の全面的梗塞が招来されるれば、此部面よりする好利潤は最早望み得べくもないし更に原毛が輸入杜絶ともなれば、操業率の低下は必至となり、従つて採算の悪化は避けられない。現在手持原毛を豊富に有するとしても、之は特需向に廻されるであらうから、利益は限定されたものとなる。一方、更生絲の公價が大巾な引下を見てをり、前期の如く輸出品の昂騰に依つてそれをカバーすることなどが不可能となつて居る。従つて、影響は極めて深刻だ。

【減益必至】

右の如く、輸出は最悪期を迎へるし原料の逼迫、操業率の低下等内需部門の採算も極めて不味な状態となるから、減益は必至であらう。前期に比し二、三十萬圓程度の利益減か。

昭和毛絲紡績

【設立】昭和三年六月
【決算期】四月十月

(本社) 名古屋市東區廣小路通住友ビル(電本局三三)

【縦買プロック結成】

今年六月整理會社興業とタイアップして、愛知縣下一流機業家中の三河毛織有限會社外十社(四巾毛織機千五百臺)を傘下に收め強力なる一貫作業形態を完成した。而も親會社日本毛織とのプロック結成に依り、當社はこゝに經營の合理化生産性昂揚の素地を全く整理した譯だ。

【前途】

業界の前途は勿論樂觀出來ぬ。今後若干の業績低下は避け難いが、資産内容は優秀だし、それに前述の經營機構も整備したので、斯界の重點會社として強味を持つことになるから、さしたる心配もない。

【事業】	毛織、毛織物
【資本金】	公稱 100,000
【株數】	拂込 10,000
【役員】	會長 毛戸勝元 取締役 阿部莊吉、小曾務元、林一、三輪喜兵衛、伊藤長次郎、常川西龍三、竹村信二、川西清兵衛、重助、相談、住友銀行

【大株主】	十六年上 二,三三三名
【株主】	本小會根合資 101,000
【業績】	利益金 1,000,000
【株價】	高値 100,000
【株價】	安値 30,000

【羊毛工業】

【事業】	羊織其他纖維の紡績
【資本金】	拂込 100,000
【株數】	公稱 10,000
【役員】	社長 阿部次郎、見吉雄、石徳三郎、増田登、杉村南、原治郎、廣岡郁次郎、恒太郎、原友郎

【大株主】	十六年上 八二六名
【株主】	東洋拓殖 三三,六六六
【業績】	利益金 1,000,000
【株價】	高値 100,000
【株價】	安値 30,000

【羊毛工業】

【設立】大正七年十二月
【決算期】四月十月

(本社) 奉天市鐵西區興亞街二段第一九號(電春日五二)

【依然好調】

去る四月期に於ける利益金は二百二十七萬九千圓で、利益率は三割五分六厘に當り、九分配當を据置いた。前期に比較すれば、利益金、利益率共減退を示したとは言ふもの、依然良好な成績である

【今期】

當社が右の如き好調を持続し得るのは、滿支産原毛の優先的配給を受け、原料的に恵まれた地位にあることで、その上、製品の大部分は特需向であり販賣部面に關しても懸念はない。此の他、當社は新纖維の研究、廢品の原生利用に非常な努力を拂つてゐる。業績に不安なく、今期も九分配當は動かない。

【事業】	羊織其他纖維の紡績
【資本金】	拂込 100,000
【株數】	公稱 10,000
【役員】	社長 阿部次郎、見吉雄、石徳三郎、増田登、杉村南、原治郎、廣岡郁次郎、恒太郎、原友郎

【大株主】	十六年上 八二六名
【株主】	東洋拓殖 三三,六六六
【業績】	利益金 1,000,000
【株價】	高値 100,000
【株價】	安値 30,000

【羊毛工業】

【羊毛工業】

東洋毛織工業

【設立】昭和九年十一月
【決算期】五月 十一月

【本社】大阪市東淀川区中津筋通一ノ九
【営業所】大阪市北区會館前上三ノ宮共同ビル（電北二〇二）

【原毛輸入】 タイプの制限強化位で済んでゐた濠毛輸入も英國の資金凍結の結果、今後極端に制限されるに至つた。これでは一元的買付も効果を擧げることが出来難い。當分輸入杜絶を覚悟せねばならぬ。

【プロックの強化必至】 日本毛糸、共同毛糸、朝日毛糸の三社と共に結成したプロック、日本毛紡同業會も、原毛輸入が斯うした状態に置かれ、補助的な纖維も亦手當難強化の狀態下では、より緊密なものとなしければなるまい。現在のところでは唯集まつたと云ふに過ぎないからだ。

【事業】梳毛絲、梳毛糸、更
【資本金】公稱 八〇〇〇
【株數】拂込 五、五〇〇
【重役】新(五〇〇) 一〇〇〇〇
【役員】新(五〇〇) 一〇〇〇〇
【取締役】新(五〇〇) 一〇〇〇〇
【監査】新(五〇〇) 一〇〇〇〇
【株主】新(五〇〇) 一〇〇〇〇

【金融關係】第一、三和銀行
【大株主】十六年上 一、四三三名
【業績】利益金利益率配當率
【株價】(實物)高値 安値
【株價】(實物)高値 安値
【株價】(實物)高値 安値

東洋毛絲紡績

【設立】昭和七年三月
【決算期】五月 十一月

【本社】大阪市東區伏見町日本鐵兵ビル（電北濱四三九）

【梳毛同志會に参加】 一時は孤立状態だつた當社も梳毛同志會（小會社約十會社よりなるプロック）に参加することとなつた。五月期の決算では六十三萬五千圓の利益金を計上、その利益率二割一分で九分配當の維持には困らなかつたが、原料不足の甚だしくなる下期以降は業績は相當問題を含む様にならう。

【對策難】 現在のプロックは群小の集りで、それ自體別段の力をもつものではなく、生温い對策では到底時局は切り抜けられぬ。と言つて當社が中核體になつても困難だ。結局何處かに合併と云ふことにならう。

【事業】梳毛絲專門
【資本金】公稱 一〇〇,〇〇〇
【株數】拂込 六,〇〇〇
【重役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【役員】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【取締役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【監査】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【株主】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇

【機械設備】梳毛機 四〇臺 撥絲機 三臺
粗紡機 六臺 洗毛機 四臺
【業績】利益金利益率配當率
【株價】(實物)高値 安値
【株價】(實物)高値 安値

【羊毛工業】

東亞紡織

【設立】昭和十六年六月
【決算期】四月 十月

【本社】不詳

【十月期】 中央、錦華兩社の合併に成る當社の第一回決算は十月末に締切られる。最近の様に原毛難が深刻になつても、十月期決算はさう心配ない筈だ。月平均三十萬圓程度の利益は擧げ得てゐる模様で、半期百八十萬圓とすれば、三割以上の利益率になる。狀態が現在程度とすれば一割配當は期待してよい。

【内容に期待】 十月期以降は問題だが、中央にせよ錦華にせよ、資産内容は極めて優秀で、而も錦華は合併に際して百萬圓も切り下げたのだから一層よくなつてゐる。だから行き過ぎた悲觀は無用だ。

【事業】羊毛其他各種纖維
【資本金】公稱 一、〇〇〇
【株數】拂込 一〇〇,〇〇〇
【重役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【役員】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【取締役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【監査】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【株主】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇

【大株主】舊中央毛糸
【業績】利益金利益率配當率
【株價】(實物)高値 安値
【株價】(實物)高値 安値

第一毛絲紡績

【設立】昭和九年三月
【決算期】三月 九月

【本社】愛知縣東春日井郡勝川町大字柏井字中裏七八九

【業績】 當社は小型乍ら外部負債は少く、固定資産の償却にも努めてきたので、弾力性が強いのが強味だ。だが今後反毛原料の入手困難、更生絲の統制で、勢ひ業績の低下することは止むを得まい。したがつて一割配當は漸次餘裕を失つて來るものと見て差支へあるまい。

【企業合同】 當社は現在、梳毛絲同志會に加入してゐる。然し乍ら將來、生産の合理化を徹底させる意味に於て、恐らく企業再合同が當然要請されて來よう。とまれ前途は樂觀を許さない。

【事業】毛絲
【資本金】公稱 一、〇〇〇
【株數】拂込 一〇〇,〇〇〇
【重役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【役員】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【取締役】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【監査】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
【株主】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇

【金融關係】三菱銀行
【工場所在地】勝川 一〇、四三坪
【業績】利益金利益率配當率
【株價】(實物)高値 安値
【株價】(實物)高値 安値

【製菓事業】

明治製菓

【設立】大正五年十月
【決算期】三月 九月

(本社) 東京市京橋區京橋二ノ八(電京橋三二一三)

【食品中心へ】 明菓は時の経過につれて益々事業内容に變貌の跡を示してきた。菓子中心から食品工業中心への轉換である。製菓部門は主要原料たる砂糖、小麦粉を初め殆んど全面的に原材料の入手窮屈となり如何に甘味を落し、または軍需向製品の旺盛を以てしても、従前の如き収益力を支持する手立てがない。食品工業中心への轉換には意味がある。

【収益力は】 今後の収益力は恐らく鈍化の傾向を改め得ないだらう。八分の配當には問題を生ぜぬにしても、業績は暫く停頓期をつゞけるものと想像する。

【事業】各種菓子及乳製品

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 七〇、五五五

【金融機關】第一銀行

【大株主】 十六年上 八五名

【株主】 相馬牛治 三三、三三〇、藤野幹 二二、二二〇、石井孝二 一一、一一〇、佐々木定造 一一、一一〇、山本智次 一一、一一〇、山崎高六 一一、一一〇

【株價】 (實物) 高値 六六、安値 三〇

【事業】 キヤラメル、チョコ

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 六二、三三三

森永製菓

【設立】明治四十三年二月
【決算期】三月 九月

(本社) 東京市芝區田町一ノ二(電三田三二一三)

【八分配當】 本年上期は創立卅年記念として一分の特配を行つたが、この九月末に締切る下期は八分の普通配當を踏襲することゝならう。業績から見ても上期が近年の最高成績で、下期から若干低下を免かれなものとと思ふ。原料の不足、コスト増高の爲め、積極的の向上が期待されぬからだ。

【安定事業】 併し製菓は事業の性質上業績が急激に悪化するとは考へられぬ。と言ふのは菓子は嗜好品でなく今日では主食物であり、且つ軍需もあるから安定性に富んでゐる。八分配當は當分傷つくまい。

【事業】 キヤラメル、チョコ

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 六二、三三三

【大株主】 十六年上 二、五九名

【株主】 鈴木三榮 三一、三〇〇、藤野幹 二二、二二〇、石井孝二 一一、一一〇、佐々木定造 一一、一一〇、山本智次 一一、一一〇、山崎高六 一一、一一〇

【株價】 (實物) 高値 安値 高値 安値

【事業】 キヤラメル、チョコ

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 六二、三三三

大日本麥酒

【設立】明治三十九年三月
【決算期】六月 十二月

(本社) 東京市目黒區三田二四七(電大崎三八一五)
(事務所) 東京市京橋區第一相互館(電京橋三三一一)

【業界好況】 平和産業としての麥酒は好収益の上位にあるだらう。企業的にも安心がもたれる。假令、經濟封鎖が強化されても若干痛いのにはホップの入手難だけだ。其他の諸材料は窮屈ながら従来ともに國內で自給され、ホップも各社競ふて自給策へ邁進してゐる。而も、差し詰めの需要に問題なく、手持の喰延しに餘念がない。麥酒需要の旺盛は高まる一方で、之に伴ひ販賣経費は益々節約される。而も、昨年十月からは麥酒値上の好影響が加はり、今年上期以後の成績向上に奏效してきた。かうした好調期にあるから、假りに麥酒消費税が増徴されても會社に悪影響のある筈はない。

【上期成績】 當社の去る六ヶ月は八百十九萬圓の利益が計上された。前年同期に比して二百四十萬圓、前期に較べても五十六萬圓の増益だ。原價高も公定價格の改定で軽減された。つまり、値上げの好影響が全面的に現はれたのだ。國際情勢の變轉で第三國向輸出は駄目となつたが、タイ國乃至佛印向けの需要旺盛で大半はカバーされ残り國內向けに振向けられて利益採算は寧ろ良化した。下期の良好持續は既に確定的だ。

【麥酒醸造業】

【事業】 麥酒、清涼飲料、藥品

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 七〇、五五五

【資本金】 1,000,000

【株主】 相馬牛治 三三、三三〇、藤野幹 二二、二二〇、石井孝二 一一、一一〇、佐々木定造 一一、一一〇、山本智次 一一、一一〇、山崎高六 一一、一一〇

【株價】 (實物) 高値 六六、安値 三〇

【事業】 麥酒、清涼飲料、藥品

【資本金】 1,000,000

【株数】 100,000

【役員】 社長 相馬牛治、専務 藤野幹、常務 石井孝二、取締役 佐々木定造、山本智次、山崎高六、佐々木定造、石井孝二、山崎高六

【事業成績】 十五年下十六年上
売上(千圓) 七〇、五五五

【麥酒釀造業】

麒麟麥酒

【設立】明治四十年二月
【決算期】五月十一月
【本社】横濱市鶴見區生麥町(電報三三三三)
【出張所】東京市京橋區明治屋ビル(電報三三三三)

【上期良好】今年五月份的利益は二百四十三萬二千圓の計上で、利益率四割五分の高収益だ。これで九分の配當だからネトリはありすぎる。昨年下期には利益率四割の高収益で一分減配した。麥酒値上に對する社會的思惑から實力からは必要な減配であつた。
【下期も良好】六月から十一月に終る下期も當然に高収益の連續を豫想せしむる。麥酒需要の旺盛に對して生産販賣上に種々なる對策が行はれ、特に販賣上の諸工作は經費の節減に役立つから採算的には寧ろ有利の筋合にある。九分配當では内容は充實の一方だ。

Table with financial data for Kirin Beer, including columns for '事業成績' (Business Performance) and '株主' (Shareholders) with values for 14, 15, and 16 years.

櫻麥酒

【設立】明治四十五年五月
【決算期】五月十一月
【本社】福岡縣門司市大里二八〇五(電門司一〇)
【支社】東京市麹町區丸ノ内九ビル(電丸ノ内二四一六)

【好勢持續】麥酒界の好勢はつゞく。分けても特別安固な立場を保持する當社は安泰そのものだ。需要の旺盛に變りないのに、公定價格設定に伴ひ一兩當り二圓餘の採算良好化した。その上、景品付王冠政策の撤廢乃至は昨年十月の麥酒値上の恩惠等々で採算は著しく良好化した。内容良化が經費を節減する處へ、増資に伴ふ借金一掃に依つて、一段とコストは輕減される。
【六分配安泰】斯うした好影響は今年下期以後に全面化する。増資で拂込は二百三十六萬圓を急増したが、利益は夫以上に増大し、六分の配當持續は樂だ。

Table with financial data for Sakura Beer, including columns for '事業成績' (Business Performance) and '株主' (Shareholders) with values for 14, 15, and 16 years.

日清製粉

【設立】明治四十年三月
【決算期】五月十一月
【本社】東京市日本橋區小網町一ノ二(電塚場町三三三)
【支社】名古屋市中川區長良町乘越六

【好調續く】當社上期決算は、利益金三百三十七萬四千圓で、前期比四十四萬圓の増益であつた。利益率も前の三割六厘から三割五分二厘に向上した。原料小麥の喰延しが行はれたとしても、割當量は寧ろ減つてゐる位だから、製粉の採算が如何に好轉してゐるかが窺へる。昨年来、業界に新機構が整備され、同時に製品價格は幾分引下げられた。自然、營業上の甘味は無くなつたが、能力、實績を基礎とすることになつたから、これは却つて當社の如き實勢力のある會社にとつて非常に有利になつた。製粉界の好調の中にも、當社が特に目立つて好成绩を擧げてゐる所以だ。
【今後】本年の小麥豫想收穫高は一千百七十七萬石で、前年に比し約一割の減收見込みだ。併しこれを前五年平均に比べると一割方の増收であり、一時悲觀した程の減收は遁れた。原料手當に差したる問題はない。唯だ新麥から實施される公價の改定に加へられる手如何に依つては、多少その成績に影響することにならう。勿論、社内保留の増加に努めて來た當社であるから、一割配當は安泰である。

【製粉事業】

Large table containing financial data for various flour companies, including columns for '資本金' (Capital), '株主' (Shareholders), '事業成績' (Business Performance), and '株主負債' (Shareholder Liabilities).

【製粉事業】

日本製粉

【設立】明治二十九年三月
【決算期】五月十一月
【本社】東京市京橋區京橋三ノ二(電橋三ノ二)〇
【支社】名古屋市中區廣小路通三ノ三(電本局三〇)

【製粉新體制】六月九日の麥類配給統制規則の公布、施行に次いで、八月十一日に小麥粉等製造配給統制規則の公布をみ、十五日から實施された。これに依つて従來、二百パレル以上の生産工場十五を中央の統制下に置いてゐたのを、今回は五十パレル以上の八十七工場を指定製造業者として中央の統制下に置いた。次いで、同十六日には小麥及び小麥粉の新公價の發表があり、製粉界の統制は一段と強化された。

【影響】麥類配給統制規則で原料割當減が一時期懸念されたが、生産統制の強化で此の心配は薄らいだ。新公定價は、銘柄を従前の十一から五つに整理した上銘柄別に夫々規格を設けたため、現行價格に比して何程の引下げとなるか一口に率せられないが、この影響は比較的輕微だ。併し、各社が五銘柄に對して劃一的な生産割當を受けるとなると、大製粉には痛手だ。【當社】當社は毎期好調を續け、上期一割に復配した。而も決算には尙ほ裕りがあり、蓄積の増加に努めてゐる。向後、改訂公價の影響等で手放しの樂觀は許されぬが、一割配當持續に問題はない。

日東製粉

【設立】昭和五年十二月
【決算期】五月十一月

【發展性】當社は事變以來、在支事業の擴充に努めて來た。毎期好調を續け乍ら、同業者に比して著しく見劣りするの、在支工場が軍管理の下に置かれたためだ。併しそれが愈よ實を結ぶ時が來た。日華基本條約に基いて當社經營の在支軍管理工場が漸次返還されることになつたからだ。【前途】在支工場運管による利益の大半が當社の計算に入れば、當社業績は著しく好轉する。自然、一割配當復歸も可能となるが、これは寧ろ内部蓄積に振向け、内容の充實に努めるべきだ。

Table with financial data for Nippon Flour Co. Ltd. including share counts and dividends.

【製粉事業】

日滿製粉

【設立】昭和九年六月
【決算期】六月十二月

【一分増配】當社は上期決算に於て、一分増配の八分配當を實現した。上期の利益金は六十五萬八千圓で前期に比し稍や減少し、利益率も一割八分八厘と七厘の低下を見た。が、八分配當でも尙ほ裕りがある。懸案の増配を實現したことは先づ穩當と見られる。【安定】本年當初、當社主要工場たるチ、ハル工場が全焼の災禍に遭つたが、實質的に其の打撃は僅少であつた。原料小麥の不足で、小麥粉の生産増加は望めないが、代用粉、澱粉製造、その他多角經營の強味があり、今期も八分配當は裕に踏襲されよう。

Table with financial data for Nippon Manchu Flour Co. Ltd. including share counts and dividends.

【製粉事業】

小麥粉製造

Table listing various flour manufacturers and their production statistics.

【製粉事業】

資本金

Table showing financial metrics like capital, assets, and liabilities for various companies.

【電燈電力業】

日本發送電

【設立】昭和十四年四月 昭和三十九年九月

【本社】東京市小石川區小石川町(電小石川二五二一)

【出張所】東京市麴町區丸ノ内海上ビル新館(電丸二五二一)

【第二次管理】第二次電力國家管理は、懸案の配

電統制令が愈よ正式公布の段取りになつて、その法的

基礎工作は完了した。かくて来る九月末までに、民間

残存發送電設備のうち、帳簿價格で約八億圓のものが

まづ日發へ第一次出資され、明年三月末までには残り

約八億圓の發送電設備も同様出資をみて、日發は文字

通り全國的な發送電事業の一貫經營者となる。一方、

全國九地區別(暫定的に中部地區から北陸地區が分離

獨立して、一地區増加した)の配電統制も、日發への第

二次出資と時を同じくして完了し、こゝに生誕する配

電特殊會社と日發との相關的運管によつて、わが國電

氣事業は全面的な國家管理下に置かれることとなる。

【當社の今後】右の結果、當社には各種の好影響

が齎され、業績も或る程度見直されるやうにならう。

然し政府保證の引上で、この九月期から二分増の六分

配當が行はれる。このため當社の配當負擔は急増する

が、問題は、この配當負擔の急増を、第二次管理が當社

に齎す好影響で、どの程度カヴァーされるかだ。恐ら

く政府の補給なしに、自力六分配當は困難だらう。

東京電燈

【設立】明治十六年二月 五月 十一月

【發展の解消か】當社は總資産九億九千七百萬圓の

うち、電氣事業設備額が六億三千五百萬圓、即ち全體

の六割四分を占めてゐる。この設備の全部が日發と關

東地區の配電特殊會社へ出資される譯であるが、その

振合ひは大體に於て半々と見られる。所でこの統合に

當り、當社は如何なる身の振方をするか。傳へられる

所によると、日發への出資後、残された總資産を擁し

て合併する、即ち配電特殊會社へ發展の解消を遂げる

方針であると云ふ。尤もその場合、果して残された總

資産を擁して合併出来るか否か。當社は東電證券を通

じて多額の投資を行つてをり、これを全部配電會社へ

持込めるものかどうか。持込めないとすれば、當社の

所有する東電證券株式並に同社に對する貸付金は合併

前に切離す必要があるだらう。

【評價】さて當社の資産評價であるが、まづ電氣

事業設備だけを考へると、若干のマイナスか、或ひは

マイナスにならぬにしても、評價益の期待はもてない。

さうとして當社の總資産を評價推測してみると、一株

當り五十圓チョットの見當になる。

【電燈電力業】

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

Table with financial data for 1915 and 1916, including columns for assets, liabilities, and income.

東邦電力

【設立】明治三十八年十二月... 【決算期】四月 十月

【出資の他なし】 當社の電氣事業設備額は、本年四月末現在に於て三億二千七百萬圓、即ち總資産の六割四分を占めてゐる。この設備の全部が日發と配電會社へ移讓される譯であるが、當社の營業地域は中部を主力に、九州、關西、四國の四地區に分散してゐる。そのため當社は、配電會社へ一舉に解消すると云ふ譯に行かぬ。嫌でも全部出資の形式で移讓するより他ない。 【當社の悩み】 電氣事業設備を全部出資した後の跡始末であるが、こゝで當社の悩みとなつてゐるのは東邦重工業以下直系子會社事業の處置だ。何れも成績が擧つてゐないため、手放さうとしても簡單には行かない。何等かの方法で尙ほ當分は面倒を見て行かねばなるまいし、そのためには電氣事業設備出資後、あつさり解散も出来ない。厄介な存在であるとは事實だ。 【解散價值】 けれども世間はこの子會社事業を、當社の痛として大きく見過ぎてゐるやうだ。假りにその投資約三千萬圓がゼロであるとしても、當社の解散價值が額面を割る等とは考へられぬ。最悪にみても一株五十一、二圓の價值はあるやうに考へる。

滿洲電業

【設立】昭和九年十一月... 【決算期】六月 十二月

【一六月の成績】 當社は今春、準特殊會社から特殊會社へ改組強化されると共に、決算期も従来の六月、十二月締切から、年一回十二月締切に変更されたが、極く最近記者が入手した一月一六月の中間成績によると、償却前の利益金は一千八百九十九萬九千圓、利益率一割四分七厘を擧げた。前年同期と比較すると、利益金に於て二百萬圓の増加、利益率では全く同率であつた。利益率が伸びなかつたのは、本年二月一日に最終拂込千七百五十萬圓、六月二日に倍額増資第一回拂込一株十圓、總額三千二百萬圓の拂込徴收を行つたからだ。これで見ると、上半期の成績は比較的順調であり、七分配當の負擔力は充分あつたと云へる。 【石炭値上げ】 問題は七月以降の成績だが、滿洲國は此の程石炭の値上げ(適當三圓見當)を決定した。之が當社の成績にどう響くかだが、昨年四月の同程度の値上げの後で却つて小額の増益を示してゐるし、石炭タローも存在するので、左程心配に及ぶまい。それに最近水豊―鞍山送電線が完成し、待望の水火併用が實現するに至つたので、七分配當に心配はない。

【電燈電力業】

Table with columns for 事業 (Business), 株主 (Shareholders), 役員 (Officers), 事業成績 (Business Performance), 送電 (Transmission), 電燈 (Lighting), 電力 (Electricity), 投資 (Investment), 債権 (Debt), 貸付 (Loans), 貯蓄 (Savings), 現金 (Cash), 預金 (Deposits), 負債 (Liabilities), 資本 (Capital), 資産 (Assets), 利益 (Profit), 損失 (Loss), 費用 (Expenses), 収入 (Revenue), 支出 (Expenditure), 増減 (Increase/Decrease), 平均 (Average), 標準 (Standard), 比較 (Comparison), 分析 (Analysis), 報告 (Report), 説明 (Explanation), 備考 (Remarks).

Table with columns for 資本 (Capital), 負債 (Liabilities), 資産 (Assets), 利益 (Profit), 損失 (Loss), 費用 (Expenses), 収入 (Revenue), 支出 (Expenditure), 増減 (Increase/Decrease), 平均 (Average), 標準 (Standard), 比較 (Comparison), 分析 (Analysis), 報告 (Report), 説明 (Explanation), 備考 (Remarks).

Table with columns for 事業 (Business), 株主 (Shareholders), 役員 (Officers), 事業成績 (Business Performance), 送電 (Transmission), 電燈 (Lighting), 電力 (Electricity), 投資 (Investment), 債権 (Debt), 貸付 (Loans), 貯蓄 (Savings), 現金 (Cash), 預金 (Deposits), 負債 (Liabilities), 資本 (Capital), 資産 (Assets), 利益 (Profit), 損失 (Loss), 費用 (Expenses), 収入 (Revenue), 支出 (Expenditure), 増減 (Increase/Decrease), 平均 (Average), 標準 (Standard), 比較 (Comparison), 分析 (Analysis), 報告 (Report), 説明 (Explanation), 備考 (Remarks).

Table with columns for 資本 (Capital), 負債 (Liabilities), 資産 (Assets), 利益 (Profit), 損失 (Loss), 費用 (Expenses), 収入 (Revenue), 支出 (Expenditure), 増減 (Increase/Decrease), 平均 (Average), 標準 (Standard), 比較 (Comparison), 分析 (Analysis), 報告 (Report), 説明 (Explanation), 備考 (Remarks).

日本電力

【設立】大正八年十二月
【決算期】三月 九月

(本社) 大阪市北區宗是町一(電土佐堀六六〇一)
(事務所) 東京市麹町區内幸町大阪ビル(電銀座四二五二)

【電力管理進捗】

第二次電力國家管理は、其の後準備は着々進行し、發送電設備の日發への第一次出資は今秋十月一日、第二次出資は明春四月一日に行はれる豫定だ。その結果、兼營事業に依據して行くものもあるが、大部分の電力會社は配電會社への合併乃至は解散を餘儀なくされよう。

【當社の場合】 今年三月末現在の當社の總資産額は四億三百萬圓、固定資産一億九千萬圓のうち一億六千四百萬圓ほどが發送變電設備で日發へ、二千五百萬圓ほどが配電會社へ出資される。其の場合、尙ほ電氣事業設備額を超える投資部門(一億九千三百萬圓)がある。關係會社有價證券一億二千四百萬圓中、一億八百萬圓は日發の株式だが、日電證券は日本マダネ、國産輕銀、三陟開發、日本電解製鐵等々八千七百萬圓の有價證券とそれ等への貸付金二千八百萬圓を有つ。當社は解散せずに、之れ等兼營部門を運轉して行くこととならう。

【前途】 出資設備の評価益が出ることは明白だし前途に不安を抱くは無用である。

宇治川電氣

【設立】明治三十九年十月
【決算期】三月 九月

(本社) 大阪市北區梅ヶ枝町一六四(電北三三三七一)
(出張所) 東京市麹町區内幸町大阪ビル(電銀座四二五二)

【關西の中核體】

配電統制を實施するに當り、その統合方法は合併及び出資の二方法を探ることになり、特に指定會社を設けて之れらを合併せしめるか、或ひは設備出資の形式に則ることになった。當社の今年三月末現在總資産二億九千五百萬圓、其の七割を超える二億九百萬圓が、日發乃至配電會社へ出資される固定資産である。投資勘定は七千萬圓に過ぎないため、當社は南海水力電氣と共に關西地區に於ける配電統制指定會社となり、合併の方法で配電會社へ發展的解消を遂げることになる模様だ。

【合併價值】

問題は合併價值だが、設備の評価方法が今のところまで決定して居らないので、適確な數字を求めるとは困難である。業者は、配電事業の特殊性を考慮して、日發への出資方法とは異なるいくつかの希望條件を當局に提出して居る。當社は日發への第一次出資を行った時若干の評価損を計上したが、今度もそれは免かれまい。然し、極めて大雑把だが記者の推算したところに依ると、一株當り四十五、六圓にくく様だ。行過ぎた懸念は無用だらう。

【事業】 電燈、電力供給
【資本金】 公稱 三三、八〇〇
株數 新(三、三三三) 舊(三、三三三) 一、〇〇〇、〇〇〇

【役員】 社長 高津啓一 副社長 藤田孝二 取締役 石原正太郎、藤田孝二、武藤嘉門、米原章三、松谷正、津口直亮、六角宇三、木川正、岩尾啓三、太田岩尾、寺村富次、住友興業

【金庫關係】 三和 住友 興業

【銀行等】 三和 住友 興業

【株主數】 十五名下 十六年上 三、三三三

【大株主】 十六年三月現在 三、三三三

【事業成績】 十五年下半年 十六年上 三、三三三

【電燈料(千圓)】 三、三三三

【電力料(千圓)】 三、三三三

【投資會社】 日本發送電、東亞電

【供給區域】 鳥取、京都、兵庫、愛知、富山、神奈川、東京、諸府縣

【事業】 電燈電力供給
【資本金】 公稱 二〇〇、〇〇〇
株數 新(五、〇〇〇) 舊(五、〇〇〇) 一、〇〇〇、〇〇〇

【役員】 社長 林安繁 副社長 堀新、野口、石井、中村、常務 堀新、野口、石井、中村、常務 堀新、野口、石井、中村、常務

【金庫關係】 第一 住友、三和

【株主數】 十五年下半年 十六年上 二、〇〇〇

【大株主】 十六年三月期 二、〇〇〇

【事業成績】 十五年下半年 十六年上 二、〇〇〇

【電燈料(千圓)】 二、〇〇〇

【電力料(千圓)】 二、〇〇〇

【投資會社】 宇治川電氣、北支那開發

【供給區域】 大阪府、京都府、和歌山縣、奈良縣、三重縣、滋賀縣、岐阜縣、愛知縣、兵衛縣、山梨縣、長野縣、群馬縣、茨城縣、栃木縣、鹿嶋縣、千葉縣、東京都、神奈川縣、山梨縣、長野縣、群馬縣、茨城縣、栃木縣、鹿嶋縣、千葉縣、東京都、神奈川縣

【事業】 電燈電力供給
【資本金】 公稱 一〇〇、〇〇〇
株數 新(一、〇〇〇) 舊(一、〇〇〇) 一、〇〇〇、〇〇〇

【役員】 社長 藤田孝二 副社長 石原正太郎 取締役 藤田孝二、石原正太郎、武藤嘉門、米原章三、松谷正、津口直亮、六角宇三、木川正、岩尾啓三、太田岩尾、寺村富次、住友興業

【金庫關係】 三和 住友 興業

【銀行等】 三和 住友 興業

【株主數】 十五年下半年 十六年上 一、〇〇〇

【大株主】 十六年三月現在 一、〇〇〇

【事業成績】 十五年下半年 十六年上 一、〇〇〇

【電燈料(千圓)】 一、〇〇〇

【電力料(千圓)】 一、〇〇〇

【投資會社】 宇治川電氣、北支那開發

【供給區域】 大阪府、京都府、和歌山縣、奈良縣、三重縣、滋賀縣、岐阜縣、愛知縣、兵衛縣、山梨縣、長野縣、群馬縣、茨城縣、栃木縣、鹿嶋縣、千葉縣、東京都、神奈川縣、山梨縣、長野縣、群馬縣、茨城縣、栃木縣、鹿嶋縣、千葉縣、東京都、神奈川縣

【資產負債】 十五年 十六年三月
株主立資本 一、八七四 一、八七四
外部積立資本 一、〇〇〇 一、〇〇〇
借入金 一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動負債 一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動資産 一、〇〇〇 一、〇〇〇
現金預金 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【收支勘定】 十五年下 十六年上
收入 一、〇〇〇 一、〇〇〇
支出 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【償却】 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【平均拂込利益率】 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【平均拂込配當率】 一、〇〇〇 一、〇〇〇

【資本異動】 十五年關西電力合併六〇〇萬圓増資

【名義書換】 十錢(新券交附)五錢

【資產負債】 十五年 十六年三月
株主立資本 九、五〇〇 九、五〇〇
外部積立資本 一、〇〇〇 一、〇〇〇
借入金 一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動負債 一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動資産 一、〇〇〇 一、〇〇〇
現金預金 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【收支勘定】 十五年下 十六年上
收入 一、〇〇〇 一、〇〇〇
支出 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【償却】 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【平均拂込利益率】 一、〇〇〇 一、〇〇〇
【平均拂込配當率】 一、〇〇〇 一、〇〇〇

【資本異動】 十五年關西電力合併六〇〇萬圓増資

【名義書換】 十錢(新券交附)五錢

臺灣電力

【設立】大正八年八月
【決算期】六月 十二月
【本社】臺北市書院町一ノ一(電話北七三三) 支社 臺南市麴町區有樂町三信ビル(電話南三三)

【上期業績】 去る六月末に締切つた本年上期の利益金は五百四萬九千圓で、昨年同期より八十四萬六千圓、率にして二割の急増を示した。従つて期央に六百七十餘萬圓の拂込を徴収して資本負擔の増加があつたに拘らず、利益率も亦一分六厘を向上して一割七分となつた。増益理由は昨年未の臺灣電燈合併による収入増と、電燈需要の急増による料金収入の著増に加へて適時の降雨により、火力用石炭の消費を著しく軽減されたこと等である。今期も現在までは前期同様順調な経過を辿つてゐる。

【積極的開發】 去る三月、新龜山發電所の完成に續いて、來る十月には圓山發電所も一部竣成、明年五月頃には全完成の豫定になつてゐる。この外目下進工中のものに霧社貯水池、霧社第一及び増設の兩發電所と並んで、天冷及び豐原第一の兩發電所の新設があり、更に近く烏來、豐原第二兩發電所の工事にも取掛るなど、開發は頗る積極的に進められてゐる。

【拂込】 以上の所要資金は頗る尠大だ。當面、年内に新株第三回の拂込を徴収の豫定だ。

Table with financial data for Taiwan Electric Power Co. Ltd. including columns for assets, liabilities, and various financial metrics.

九州水力電氣

【設立】明治四十四年四月
【決算期】五月 十一月
【本社】福岡縣福岡市大字庄三五(電話西三五) 出張所 東京市麴町區丸ノ内東七號館(電丸ノ内三〇)

【發展的解消】 當社の電氣事業設備一億一千八百萬圓のうち、日發へ出資するのは二千萬圓内外で、餘は全部九州地區の配電會社へ統合される。幸ひ當社は荷厄介な傍系事業を持つてゐないので、日發出資後の全資産を擁して、合併の形式により配電會社へ發展的解消を遂げる方針のやうである。

【評價】 日發出資並に配電會社への合併に當つて當社の資産が如何に評價されるか。過去の固定資産價却狀況、収益率等から見て、總括的な最終評價は、五十圓額面に對し五十八、九圓はあるだらう。

Table with financial data for Kyushu Hydropower Co. Ltd. including columns for capital, shares, and financial metrics.

大日本電力

【設立】大正八年十月
【決算期】五月 十一月
【本社】東京市京橋區銀座四ノ三(電話京橋三〇〇一)

【出資評價】 當社の電氣事業設備一億四千三百萬圓のうち、約三分の一が日發へ、他の三分の二が北海道、東北、關東の三地區配電會社へ分割出資される。當社は從來から固定資産の償却を厚く行ひ、一方、収益率も悪くないので、出資評價に際しては、一割二、三分程度の評價増が期待される。假りに裸の解散價値を求めれば、六十圓前後となるだらう。

【一舉解散せず】 然し當社は函館の市街電車や、北電興業、東部證券等を抱えてゐる關係から、一舉解散は困難であり、減資整理の方向に進むだらう。

Table with financial data for Dai Nippon Denryoku Co. Ltd. including columns for capital, shares, and financial metrics.

電燈電力業

山陽配電

【設立】昭和十六年五月
【決算期】五月十一月

(本社) 神戸市神戸區江戶町九五(電三宮三)

【配電統制進展】

配電統制令は、既に總動員審議會で可決され、近く第一次統合の七十二配電業者に對して、地區別配電會社の設立命令が發せられる段取にまで進展した。そして當社は、廣島電氣、出雲電氣と共に中國地區の指定會社となつた。こゝに、當社も亦新配電統制會社に發展の解消をなすわけである。

【評價】 資産評價の具體的な基準は、根本方針は決定したが細目の點についてはまだ決らない。従つて當社の解散價值を的確に算出することは出来ぬが、プレミアムがつくことだけは確實だ。

【資本金】公稱	九三、〇〇〇
【株數】新	一、〇〇〇、〇〇〇
【大株主】	一、〇〇〇名
【重役】	社長 牛尾健治 松葉恭助 副社長 梅田雄三 藤田居治 監査 河野三郎 石谷次郎 常務 木立三郎 富田傳次郎 取締役 名原通利 井上良造 兼 藤田居治 石谷次郎 次 藤田居治 石谷次郎 株 相談 坂野三郎 井上良造
【金關關係】	三井、三菱、第一、住友、安田、第百、神戸、野村、住友、安田、第百、神戸、野村、住友、安田、第百、神戸、野村
【業】	利益金利益率配當率
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一五年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇

京都電燈

【設立】明治二十年十一月
【決算期】四月十月

(本社) 京都市下京區鹽小路通鳥丸西入(電下八二一三)

【一擧解散困難】

配電統制の進展に依り、當社の設備も亦近畿、北陸地區の配電會社へ統合されることになつた。今年四月末現在の當社の總資産一億二千四百萬圓のうち、固定資産九千三百萬圓、投資關係が一千四百萬圓となつて居り、前者の中には電鐵部門が一千二百萬圓ある。のみならず、營業地區が近畿、北陸の二地區に分割されてゐる關係もあつて、當社は一擧に解散乃至合併の出来ない事情に置かれてゐる。

【評價】 未だ資産評價の細目が決定しないので斷定は出来ぬが、帳簿價額を割る様なことはあるまい。

【事業】	電燈電力及電鐵業
【資本金】公稱	八〇〇、〇〇〇
【株數】新	一、〇〇〇、〇〇〇
【大株主】	一、〇〇〇名
【重役】	社長 石川芳太郎 田邊隆二 副社長 藤田居治 石谷次郎 監査 藤田居治 石谷次郎 常務 藤田居治 石谷次郎 取締役 藤田居治 石谷次郎 兼 藤田居治 石谷次郎 次 藤田居治 石谷次郎 株 相談 坂野三郎 井上良造
【金關關係】	第一、三井、三菱、大聖、寺、銀行
【業】	利益金利益率配當率
一五年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇

關東水力電氣

【設立】大正八年十月
【決算期】六月十二月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内海上ビル(電丸ノ内三六)

【評價如何】 當社は佐久發電所たゞ一つを持つだけの電力卸賣會社であるが、来る三月末目標の第二次出資でそれを日發へ出してしまふ。過去に於ける償却は悪くないから、帳簿價額は寧ろ割安の様だ。評價に當つて若干の評價益が期待できよう。

【解散せず】 然し當社は持株會社關水興業を通じて、淺野カーリット、關東製鋼、關東電化等の子會社を經營してゐるから、簡單に解散の出來ぬ事情にある。結局は關水興業なり、子會社のうちの或るものと合併して存続することにならう。

【資本金】公稱	三〇、〇〇〇
【株數】新	一、〇〇〇、〇〇〇
【大株主】	十六年上、一、六三三名
【重役】	社長 淺野野一 副社長 淺野野一 監査 淺野野一 常務 淺野野一 取締役 淺野野一 兼 淺野野一 次 淺野野一 株 相談 淺野野一
【業】	利益金利益率配當率
一五年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇

京城電氣

【設立】明治四十一年九月
【決算期】六月十二月

(本社) 朝鮮京城府南大門通二ノ五(電本三〇)

【上期増益】 六月締切上期の利益金は二百二萬七千圓で、前期に比し六萬圓の増益を示した。利益率は二割三分六厘で五厘の向上、配當は勿論一割の据置きであつた。社内保留率は五五%と好化した。

【今後も順調】 金剛山電鐵との合併は愈々實現する。合併條件は當社一對金剛山〇・九五と云ふ所が動かぬであらうが、金剛山合併後の當社は中鮮プロツクの中樞としてその立場を愈々強化し、業績にも寄與するであらう。七月一日の拂込も、半期配當金負擔が約十四萬圓増す程度だから、一割配當は今後も動かぬ。

【事業】	電燈電力瓦斯、運輸
【資本金】公稱	三三、〇〇〇
【株數】新	一、〇〇〇、〇〇〇
【大株主】	十六年上、一、三六〇名
【重役】	社長 武吉三 副社長 武吉三 監査 武吉三 常務 武吉三 取締役 武吉三 兼 武吉三 次 武吉三 株 相談 武吉三
【業】	利益金利益率配當率
一五年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇
一六年中	一、〇〇〇、〇〇〇

〔電燈電力業〕

揖斐川電気工業

〔設立〕大正元年十一月 〔決算期〕五月十一月 (本社) 東京市麹町区有楽町二ノ九(電九ノ内三五)

〔業〕電力、化学工業 (出張所) 岐阜縣大垣市切石町(電大垣垂・英七)

〔當社の場合〕 來年三月末を目標に行はれる日發への第二次出資で、當社も西平發電所を出資する。一方、配電統合でも當社は受命會社の一つになつてゐる。當然、西平以外の電氣事業設備は全部配電會社へ行く譯だ。然し西平以外の發電所は、主として自家工業用電力の供給を目的としてゐるため、自家用として統合の埒外に置くことを會社當局は要望してゐる。

〔兼業は存続〕 右の要望が實現すれば現状と大差ない状態を續け得る譯であり、若しそれが容れられずとも電化工業會社として存続することは確實だ。

Table with columns for company name (電燈電力), financial year, and capital structure details.

Table with columns for company name (電力), financial year, and financial performance metrics.

矢作水力

〔設立〕大正八年三月 〔決算期〕三月 九月 (本社) 名古屋市東區東片端町二ノ一二(電東八三三)

(支社) 東京市麹町区丸ノ内海上ビル(電丸ノ内三七七)

〔工業部門存続〕 當社の日發に對する出資は第一次で八發電所、八送電、第二次で十一發電所、十七送電線が含まれてゐる。残餘は中部地區の配電會社へ統合されるが、その後の當社は、出資株式を株主に割當減資し、工業會社として残る。評價益は期待薄。〔今後〕 工業部門は曾つて矢作工業と稱してゐたが、昨年三月矢作水力と合併したものである。工業部門の建設設備から推測して、減資後の資本金は二千萬元程度に落付はしまいか。當部門は主として疏安を生産してゐるが採算はよくないし、前途は相當多難だ。

Table with columns for company name (水力), financial year, and capital structure details.

Table with columns for company name (水力), financial year, and financial performance metrics.

〔電燈電力業〕

東信電気

〔設立〕大正六年八月 〔決算期〕三月 九月 (本社) 東京市京橋區寶町味の業ビル(電京橋二三一〇)

〔減資存続〕 當社の電氣事業設備八千二百四十萬圓は來る九月末を目標とする第一次出資で、一舉に日發へ總括移讓される。そこで當社は日發株を一定比率(これは評價益がハッキリしてから決める)で株主に割當て、残る日發株と現有の昭和電工株、日本輕金屬株などの持株會社となつて減資存続し、場合によつては投資を通じての他事業進出も氣構へてゐる。

〔評價益は大〕 當社の資産内容は極めて良好である。設備評價に際しては四割近くの評価益が期待される。裸の解散價値を求めれば七十圓を下るまい。

Table with columns for company name (電力), financial year, and capital structure details.

Table with columns for company name (電力), financial year, and financial performance metrics.

日立電力

〔設立〕昭和二年九月 〔決算期〕三月 九月 (事務所) 茨城縣多賀郡日立町(電日立三山二〇)

〔發展的解消〕 當社の發送電設備は、日發への第二次出資からも除外されてゐる。従つて當社の設備は全部關東地區の配電會社へ統合される譯だ。そこで當社は指定會社となつて、身ぐるみ配電會社の中へ融込む方針と傳へられる。電氣事業設備以外には、關係會社有價證券と同貸付金七十八萬圓餘を有つてゐるだけで、他に大した資産がないから合併が當然の措置だ。

〔評價〕 その場合の當社資産評價であるが、建設費の點から見ても、また収益率の上から考へても、或る程度のプレミアムが附くことは確實だ。

Table with columns for company name (電力), financial year, and capital structure details.

Table with columns for company name (電力), financial year, and financial performance metrics.

上毛電力

〔設立〕大正十四年十二月
〔決算期〕四月 十月

〔本社〕東京市麹町區丸ノ内武州銀行ビル（電九九七五）
【解散か】 當社は日發への第一次出資で丸沼以下の五發電所と二送電線、即ち既設發送電設備の全部を出資する。後に残るのは僅か二萬圓内外の配電關係設備と、建設中の松ノ澤發電所だけだ。この僅かな配電關係設備と建設工事のために會社を存続させるは不經濟な話だから、第一次出資と同時に建設工事は日發へ引継ぎ、配電關係設備も東電なり或ひは日發へ一時引継いで、手早く解散するが賢明だらう。
【価 値】 出資設備から赤字の出るやうなことはあるまい。従つて額面程度の解散價值はあるだらう。

【事業】電力卸賣 一般供給
 【資本金】公稱 一五〇〇〇〇
 拂込 七五〇〇〇
【株 數】 (三三〇)
 副社長 加藤子郎 堀芳樹
 社長 藤原八郎 大川鐵
 小西喜兵衛 宮口竹雄 淺
 野良三 野平八郎 野文二
 雄田島 淺野 野野文二
 監査 田長川 野野文二 木
 野村 石毛 竹治郎 田中 壽一

【大株主】十六年上	五八三名
關水興業	三三〇〇〇
安田信託	三〇〇〇〇
【業績】利益金利益率配當率	
一四年上	三三〇
一五年上	三三〇
一六年上	三三〇
【株 價】(實物)高値	安値
一五年中	三三〇
一六年中	二九〇
七月	二九〇

群馬水電

〔本社〕東京市日本橋區吳服橋東京建物ビル（電日三五七一）

〔設立〕昭和元年十二月
〔決算期〕五月 十一月
【解散に決定】 當社の電氣事業設備は、来る九月末を目標に行はれる第一次出資で、全部日發へ移讓されてしまふ。そこで當社は電氣事業設備以外の財産——主として有價證券——をも適當に處分した上で、一舉解散の措置に出る筈である。
【評價益は大】 當社は過去に於て極めて手厚い償却を行つてをり、収益率も亦著しく高い。記者の概算を以てすれば、一株八十圓前後の解散價值はあるやうに思ふ。尤も評價益が大きいだけに、解散に當つての清算取得課税も大きいことを考慮の要がある。

【事業】電力卸賣
 【資本金】公稱 二、〇〇〇
 拂込 九、〇〇〇
【株 數】 (三三〇)
 副社長 田島庄太郎 常務
 社長 佐々木三郎 淺見章吾 取
 藤原三郎 淺見章吾 取
 監査 丹治經三 他三名
 東安田保善社
 東電證券

【事業成績】(千圓)

【大株主】十六年上	四、七五三名
九州生命	一、〇〇〇〇
【業績】利益金利益率配當率	
一四年上	九七
一五年上	七二
一六年上	八四
【株 價】(實物)高値	安値
一五年中	六三
一六年中	五七
七月	五三

京濱電力

〔本社〕東京市芝區田村町東電ビル（電銀座二二二一）

〔設立〕大正十四年五月
〔決算期〕四月 十月
【解散の方針】 當社も来る九月末を目標に行はれる日發への第一次出資で、電氣事業設備の全部を失つてしまふ。あとは日發、東電、甲府電力等の株式を百五十萬圓近く有つてゐるだけで、他に手足纏ひな資産は何もない。従つて出資後はキレイさつぱりと解散する方針のやうである。
【解散價值如何】 當社の出資設備からは一割近くの評價益が出るやうに考へられる。一方、所有株式の評価記帳額も時價より可なり低くなつてゐる等の關係から、一株六十圓程度の價值ありと見たい。

【事業】電力卸賣
 【資本金】公稱 二、〇〇〇
 拂込 一、〇〇〇
【株 數】 (三三〇)
 副社長 河野豐太郎 山田康
 社長 取部 常務 田邊七六
 取部 常務 田邊七六
 支那 本間利雄 小野耕一
 佐々木久二 監査 上野吉二
 一郎 相談 上野吉二

【大株主】十六年上	二、三三名
東電	二、三三名
【業績】利益金利益率配當率	
一五年上	八二
一六年上	八二
【株 價】(實物)高値	安値
一五年中	五〇
一六年中	五〇
七月	三三

富士電力

〔本社〕東京市麹町區丸ノ内海上ビル内（電九九九六一）

〔設立〕昭和二年五月
〔決算期〕五月 十一月
【合併の方針】 當社は日發への第二次出資で湯山大間の兩發電所と二送電線に移管することになり、残餘の設備は舉げて關東地區の配電會社へ統合される。而も當社は電氣事業設備以外には大した資産を有つてゐない。そこで配電統合の指定會社となり、日發出資以外の總資産を抱えて、合併の形式により配電會社の中へ、發展的解消の方針であると云ふ。
【評價】 當社の資産内容は最近でこそ一應整つて來たが、なほ曾ての傷が癒え切つたとは云へない。額面だけの合併評價になれば上々だ。

【事業】電力卸賣及供給
 【資本金】公稱 二、〇〇〇
 拂込 八、七五〇
【株 數】 (三三〇)
 副社長 森村市左衛門
 社長 三好 常務 田澤元夫
 三好 常務 田澤元夫
 口喜三郎 比谷平左衛門
 取部 三郎 比谷平左衛門
 池田常二 監査 右衛門
 相談 棚橋 木村 右衛門

【大株主】十六年上	四、七五三名
九州生命	一、〇〇〇〇
【業績】利益金利益率配當率	
一五年上	三〇
一六年上	三〇
【株 價】(實物)高値	安値
一五年中	三〇
一六年中	三〇
七月	三〇

〔電燈電力業〕

北陸合同電気

〔設立〕昭和十六年八月
〔決算期〕四月 十月

〔本 社〕富山市豊橋通一(電富山四二六一九)
〔出張所〕東京市麹町區丸ノ内帝國生命館(電丸四五九)
〔轉 進〕當社は日本海電氣を中心に、北陸地方の十二電氣會社が合併新立した會社だ。初めの當局案では當社も中部地區の配電會社へ統合の豫定であつたが率先、自主的統合を斷行した経緯に鑑み、豫てからの要望を容れて中部地區から切離し、暫定的ながらも北陸地區の獨立が認められた。形式は兎も角、實質は當社中心に北陸の殘餘配電事業を統合する譯だ。
〔評 價〕その場合の當社評價は、十二社統合が八分配當目標で評價された點から推して、七分配當目標の今度の評價では、赤字になる憂ひは絶對にない。

Table with financial data for Hokuriku Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Hokuriku Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

北海水力電気

〔設立〕大正十五年十一月
〔決算期〕四月 十月

〔本 社〕札幌市大通東一ノ二(電二二六〇)
〔出張所〕東京市麹町區有樂町東日會館別館(電九六三〇〇)
〔發展の解消〕北海道の發送電設備は、來年四月一日に行はれる第二次出資で、一纏めにして日發へ移譲される。その第二次出資に當社の小松澤以下の十發電所、豊平第一番甲線以下の二十二送電線と、狩太變電所が包含されてゐる。殘餘設備は北海道地區の配電會社へ統合される譯で、その際當社は指定會社として配電會社の中へ發展の解消の模様だ。
〔評 價〕固定資産の償却状況も良いし、収益率も可なり高い。不良資産と目されるものもないから、一株五十五、六圓の合併評價を期待してよからう。

Table with financial data for Hokkaido Hydropower Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Hokkaido Hydropower Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

大井川電力

〔設立〕大正十三年六月
〔決算期〕五月 十一月

〔本 社〕東京市麹町區丸ノ内海上ビル(電丸四四六)
〔結局解散か〕當社は大井川發電所を一つを持つだけの電力卸賣會社であり、その唯一の設備を第二次出資で日發へ提供することになった。當然解散のほかないが、然し當社は傍系に大井川鐵道がある。これを如何にするかであるが、大井川筋では目下日發の發電所工事が行はれてゐるから、恐らくこの鐵道も日發へ引継ぎ解散することにならう。
〔解散價值〕當社の内容は必ずしも良好と云へないが、然し設備が新しいから、償却不充分にしてもその響き方が少い。額面前後の解散價值はあるだらう。

Table with financial data for Daiikawa Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Daiikawa Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

多摩川水力電気

〔設立〕大正三年七月
〔決算期〕五月 十一月

〔本 社〕東京市京橋區銀座西四ノ五(電京橋六六二)
〔第一次統合除外〕當社は第二次電力國家管理に基く日發への出資もなく、配電統合からも除外されてゐる。然し關東地區の配電會社設立後には、遠からず同社へ買収乃至は合併されることになるだらう。何分當社の獨立經營には些かの希望も持てないのだから、そうなることは當社にとつて時の氏神だ。
〔前期再減配〕たださへ水量の豊富でない多摩川を利用する當社に、一昨年來の洪水は手痛い打撃となり、昨年下期に續いて、本年五月期にも五厘の再減配を餘儀なくされた。今期は雨量に恵まれ若干見直さう。

Table with financial data for Tamagawa Hydropower Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Tamagawa Hydropower Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

〔電燈電力業〕

Table with financial data for Daiikawa Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Daiikawa Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

Table with financial data for Tamagawa Hydropower Electric Co., Ltd. including capital, shares, and management details.

Table with financial data for Tamagawa Hydropower Electric Co., Ltd. including income, expenses, and dividends for 1927.

【電燈電力業】

廣島電氣

【設立】大正十年八月
【決算期】五月 十一月
(本社) 廣島縣廣島市小町三三 (電長中西〇一)

【中國配電へ統合】 當社は、出雲電氣、山陽配電と共に中國地區の配電統制指定會社となる筈だ。五月末現在の總資産一億二千六百萬圓のうち、固定資産八千三百萬圓、投資關係二千五百八十萬圓、結局、電氣事業設備が總資産の約七割を占め、他に處置困難な資産がないので、合併の方途に進み得る譯だ。

【評價】 設備の評価方法の細目については未だ決定しないので、合併價值をこゝで斷言することは出来ぬが、當社の業績並に内容から推定して評價益が出ることは明白だ。株主は安心してよい。

【資本金】公稱	100,000
【株數】	新(五〇〇) 舊(五〇〇) 1,000
【重役】	社長 稻葉實 常務 鈴木一 副社長 稻葉實 常務 鈴木一 副社長 稻葉實 常務 鈴木一
【大株主】	十六年上 一七、九三三名
【業績】	利益金利益率配當率 一八、七六
【株價】	高値安値 高値安値
【大株主】	十六年上 一七、九三三名
【業績】	利益金利益率配當率 一八、七六
【株價】	高値安値 高値安値

四國水力電氣

【設立】明治三十一年九月
【決算期】五月 十一月
(本社) 香川縣仲多度津町大字多度津甲四八四 (電〇)

【四國配電へ統合】 當社は電力事業の外に、電鐵、瓦斯事業を兼營して居る。然し、總資産二千一百萬圓のうち、發送變電設備一千萬圓、配電設備其他が二百六十萬圓で、電力關係が七割近くを占める。既に、土佐電氣と共に四國地區の指定會社に内定した當社は、新配電會社に發展の解消を遂げるわけだ。

【評價】 當社は一つと一割配當を續け、資産内容にも別に問題無く、小粒ながら好い會社である。資産評價の細目は未だ決定してないから、合併價值については斷言は下せぬが、額面を割る様なことは無い。

【資本金】公稱	1,000,000
【株數】	新(七〇〇) 舊(七〇〇) 1,400
【重役】	社長 武田謙吉 常務 武田謙吉 副社長 武田謙吉 常務 武田謙吉
【大株主】	十六年上 四、三三三名
【業績】	利益金利益率配當率 〇、九四〇
【株價】	高値安値 高値安値
【大株主】	十六年上 四、三三三名
【業績】	利益金利益率配當率 〇、九四〇
【株價】	高値安値 高値安値

【電燈電力業】

出雲電氣

【設立】明治四十四年十一月
【決算期】五月 十一月
(本社) 島根縣松江市母衣町一五 (電二四〇)

【中國配電へ統合】 當社は、廣島電氣、山陽配電と共に、中國地區の配電統制指定會社になる筈だ。今年五月末の總資産三千五百五十萬圓のうち、固定資産二千五百六十萬圓、其のうち發送電設備一千八百萬圓、配電設備並に需要者屋内設備が七百五十萬圓で、外に兼營事業は無いのだから、總資産の八割以上が電力部門だ。新配電會社へ發展の解消の策をとるのは當然だ。

【評價】 當社は上期決算で一分増の九分配當を行つた。業績は順調、内容にも別に問題は無いし、合併價值も額面を割ることはない。

【資本金】公稱	1,000,000
【株數】	新(五〇〇) 舊(五〇〇) 1,000
【重役】	社長 鈴木一 常務 鈴木一 副社長 鈴木一 常務 鈴木一
【大株主】	十六年上 五、〇三三名
【業績】	利益金利益率配當率 一三、〇三
【株價】	高値安値 高値安値
【大株主】	十六年上 五、〇三三名
【業績】	利益金利益率配當率 一三、〇三
【株價】	高値安値 高値安値

九州電氣

【設立】明治四十二年六月
【決算期】三月 九月
(本社) 熊本市紺屋今町四六 (電三五〇)

【資本の壓迫解消】 關係配電會社の吸收合併で、昨年は一時利益率の低下を見たが、その後營業成績の好調に依り全く資本急増の壓迫から免れた。今期も、償却後利益率一割三分見當を期待され、一分増配の餘裕は充分見込まれる。

【配電會社への合併】 來春創立の九州配電會社に吸収される事に決定、また發送電部門も日發に買収される。然し、南九州開發の根幹會社とも云ふべき地位に在るから、何等かの形式で存続する可能性が強い。分離電氣事業の評価は結局當社に相當な黒字を残さう。

【資本金】公稱	7,000,000
【株數】	新(七〇〇) 舊(七〇〇) 1,400
【重役】	社長 林市藏 常務 林市藏 副社長 林市藏 常務 林市藏
【大株主】	十六年上 五、二六三名
【業績】	利益金利益率配當率 一三、〇三
【株價】	高値安値 高値安値
【大株主】	十六年上 五、二六三名
【業績】	利益金利益率配當率 一三、〇三
【株價】	高値安値 高値安値

〔電燈電力業〕

日本水電

〔設立〕大正七年十一月
〔決算期〕五月 十一月

〔異色な經營〕鹿兒島市及び宮崎縣境の一部を除き、鹿兒島縣下一帯を地盤とし、その中に工場、鑛山が尠くない。野口資本（日室）と上野資本（舊川内電氣）との合併に依り今日に至つたが、注目に値するのはその投資會社だ。即ち静岡、清水、奈良、唐津、延岡、都城と中小都市の瓦斯事業投資が多い點だ。

〔業績と前途〕地元事業たる電氣と瓦斯の供給營業は、需要激増に恵まれて頗る順調。明年春九州配電會社が設立されれば、電氣部門は之と日發に吸収せられる。然しその爲に目先八分分配當の採算は狂はぬ筈。

〔事業〕電燈電力、瓦斯其他
〔資本金〕公稱 10,000,000
株數 新(5000) 100,000
重(株) 新(5000) 100,000
務(株) 新(5000) 100,000
山(株) 新(5000) 100,000
金(株) 新(5000) 100,000
田(株) 新(5000) 100,000
山(株) 新(5000) 100,000
猪(株) 新(5000) 100,000
之(株) 新(5000) 100,000
助(株) 新(5000) 100,000
浦(株) 新(5000) 100,000
島(株) 新(5000) 100,000
正(株) 新(5000) 100,000
兵(株) 新(5000) 100,000
衛(株) 新(5000) 100,000
中(株) 新(5000) 100,000
村(株) 新(5000) 100,000

〔大株主〕十六年上 三、六七名
日本窒素肥料 八、八三九
第一石油會社 八、八三九
〔業績〕利益金利率配當率
十五年上 九四・〇
十六年上 九四・〇
〔投資會社〕静岡瓦斯、清水瓦斯、奈良瓦斯、唐津瓦斯、延岡瓦斯、都城瓦斯、宮崎瓦斯、鹿兒島瓦斯、南國電機、其他

朝鮮水力電氣

〔設立〕昭和八年五月
〔決算期〕四月 十月

〔株式公開〕當社は日室の直系子會社、舊稱長津江水電で、去る七月一日社名を改稱したものだ。株界の情勢から推して、其の時期はまだ決定し兼ねて居る様だが、一般に公開する方針を當局者は抱いて居る。鳴緑江の支流、長津江、並に盧川江水系に數十萬キロの發電力を有つ我國有数の電力會社である。

〔業績順調〕今年上期の利益金八百六十萬圓、對拂込資本利益率一割一分五厘で八分分配當を据置いた。利益處分は若干餘裕を缺く嫌ひ無しとしないが、當社の本格的な業績好調は寧ろ盧川江の工事完成後だ。

〔事業〕電力、電燈の供給
〔資本金〕拂込済 1,000,000
株數 新(500) 20,000
重(株) 新(500) 20,000
務(株) 新(500) 20,000
取(株) 新(500) 20,000
太(株) 新(500) 20,000
倉(株) 新(500) 20,000
時(株) 新(500) 20,000
安(株) 新(500) 20,000
日(株) 新(500) 20,000
本(株) 新(500) 20,000
窒(株) 新(500) 20,000
素(株) 新(500) 20,000
肥(株) 新(500) 20,000
料(株) 新(500) 20,000

〔業績〕利益金利率配當率
十五年上 九四・〇
十六年上 九四・〇
〔資本金〕十五年上 十六年上
株主資本 1,000,000 1,000,000
外部負債 1,000,000 1,000,000
使用總資本 2,000,000 2,000,000
固定資産 1,000,000 1,000,000
流動資産 1,000,000 1,000,000

〔電燈電力業〕

西鮮合同電氣

〔設立〕大正八年五月
〔決算期〕六月 十二月

〔増資認可〕豫ねて申請中の増資が認可された。現在の資本金一千七百七十五萬圓を三千萬圓に、一千二百二十五萬圓の増資である。七月十七日現在株主三株に付き二株を割當て、第一回拂込は一株三十圓徴收する。拂込期日は未定乍ら大體九月十五日頃の豫定の模様である。拂込金は一部借入金の返済にも充てるが設備擴張後の運轉資金にも充當する。

〔業績好調〕供給區域西鮮地方の工業的躍進は相當活潑だから、業績は今後も向上する。増資後と雖も八分分配當の持続は容易である。

〔事業〕電燈電力、瓦斯供給
〔資本金〕拂込済 10,000,000
株數 新(5000) 100,000
重(株) 新(5000) 100,000
務(株) 新(5000) 100,000
山(株) 新(5000) 100,000
金(株) 新(5000) 100,000
田(株) 新(5000) 100,000
山(株) 新(5000) 100,000
猪(株) 新(5000) 100,000
之(株) 新(5000) 100,000
助(株) 新(5000) 100,000
浦(株) 新(5000) 100,000
島(株) 新(5000) 100,000
正(株) 新(5000) 100,000
兵(株) 新(5000) 100,000
衛(株) 新(5000) 100,000
中(株) 新(5000) 100,000
村(株) 新(5000) 100,000

〔大株主〕十六年上 一、〇七三名
東平 7,000,000
洋拓殖 4,000,000
〔業績〕利益金利率配當率
十四年上 100・〇
十五年上 100・〇
十六年上 100・〇
〔供給成積〕十六年上 七、七〇二

南鮮合同電氣

〔設立〕大正七年八月
〔決算期〕三月 九月

〔増資認可〕かねて申請中の増資が認可された。現在の資本金二千六百八十八萬三千圓を三千五百萬圓に一千三百三十一萬七千圓を増資するのである。増資新株は八月十三日現在の株主に五株に付き三株の割で割當て、第一回拂込四分の一、一株十二圓五十錢は十月一日に徴收する。以後引續き毎期十二圓五十錢宛拂込を取ることと決定してゐる。

〔増資後配當〕右の拂込金は朝鮮電力の拂込其他に充てるのだが當社營業區域に於ける電力需要は毎期増加する見込故配當は増資後も九分持續と見てよい。

〔事業〕電燈電力、電熱電氣
〔資本金〕拂込済 3,000,000
株數 新(500) 60,000
重(株) 新(500) 60,000
務(株) 新(500) 60,000
山(株) 新(500) 60,000
金(株) 新(500) 60,000
田(株) 新(500) 60,000
山(株) 新(500) 60,000
猪(株) 新(500) 60,000
之(株) 新(500) 60,000
助(株) 新(500) 60,000
浦(株) 新(500) 60,000
島(株) 新(500) 60,000
正(株) 新(500) 60,000
兵(株) 新(500) 60,000
衛(株) 新(500) 60,000
中(株) 新(500) 60,000
村(株) 新(500) 60,000

〔大株主〕十六年上 一、〇三名
大光 1,000,000
大東 1,000,000
〔業績〕利益金利率配當率
十六年上 100・〇
十七年上 100・〇
〔投資會社〕朝鮮電力、東亞電力、北支開發、中支振興、漢江水電、華中水電

【瓦斯事業】

東京瓦斯

【設立】明治十八年十月
【決算期】六月 十二月
(本社) 東京市麹町區丸ノ内海上ビル(電丸ノ内三〇一〇)

【上期決算】 當社六月份決算は、昨上期に較べ償却前利益金で九百三萬九千圓と十萬四千圓、利益率で一割四分五厘と二厘方向上し、八分配當の据置にも依然餘裕を見せた。最近の瓦斯供給事業共通の原料石炭割當制、供給資材の入手難にも拘らず、當社が右の如き順調な業績を示したのは、當社が特需向け供給を相當程度に有する爲の右の悩みが幾分緩和されたこと、生産設備をフルに動かしてゐること等の理由に依るものだ。従つて、瓦斯の製造、賣上共に昨上期に對して五百萬熱位餘の増加を示してゐる。

【前途】 瓦斯製造の原料石炭が製鐵用原料たる粘結性の優良炭である爲、特需工場との關係を強化する以外に事業擴張乃至維持の前途は無いわけで、一般家庭の消費制限と共に工場向け、殊に特殊關係向け供給を増加して置けば、今後環境の激變に際しても餘程影響を緩和されるわけだ。當社も此の點に留意してゐるやうだし、又事業そのもの性質が公益事業であり、供給減、業績悪化の限界は瓦斯の必需性に在るわけだから、前途妙味薄乍ら現配當は維持されるだらう。

【事業】		【株數】		【役員】		【監事】		【製造所】		【供給所】	
【資本金】	一五〇,〇〇〇	【株數】	一五,〇〇〇	【社長】	井坂孝	【監事】	田中六郎	【製造所】	芝千住、大森、砂町	【供給所】	深川、瀧野川、日原
【株數】	一五,〇〇〇	【役員】	【監事】	【監事】	田中六郎	【製造所】	芝千住、大森、砂町	【供給所】	深川、瀧野川、日原	【供給所】	深川、瀧野川、日原

【資産負債】		【株主資本】		【外債】		【流動負債】		【現金】		【名義書換】	
【十五年】	一五〇,〇〇〇	【十五年】	一五〇,〇〇〇	【外債】	〇	【流動負債】	〇	【現金】	〇	【名義書換】	〇
【十六年】	一五〇,〇〇〇	【十六年】	一五〇,〇〇〇	【外債】	〇	【流動負債】	〇	【現金】	〇	【名義書換】	〇

【瓦斯事業】

大阪瓦斯

【設立】明治三十年四月
【決算期】六月 十二月
(本社) 大阪市東區平野町五ノ一(電北濱六六)

【上期業績】 六月末締切りの上期業績は、(市への報償金込)利益金五百十餘萬圓、對平均拂込資本利益率二割一分強、前期に比べて四十一萬圓の増益、利益率で一分程の上昇に當る。業績は豫想外に好調であつたわけだ。一般民需向けは新供給を中止する一方、節約を慫慂して居るが、時局産業向けの供給が累増したため、全體としては供給が増加したのだ。六月末現在の瓦斯本管は前期に比べて五千米、供給管は五萬一千三百米、高壓式瓦斯本管また一千百米の各延長を示してゐる。重油の代用として使用される部分だけを考へてもさう少ないものではあるまい。

【擴張續行】 當社は昨年二月、西島工場の第一期擴張工事を完成したが、續いて第二期擴張が行はれてゐる。これは瓦斯供給の増大を企圖すると共に、コークス、クレゾール、ベンゾール等々の副産物製造をも兼營するわけだが、後者により多くの重點が置かれる模様である。

【前途】 事業の特殊性から云つて、原料炭の入手に不安はない。内容は良好だし現行配當は動くまい。

【事業】		【株數】		【役員】		【監事】		【製造所】		【供給所】	
【資本金】	一五〇,〇〇〇	【株數】	一五,〇〇〇	【社長】	井坂孝	【監事】	田中六郎	【製造所】	芝千住、大森、砂町	【供給所】	深川、瀧野川、日原
【株數】	一五,〇〇〇	【役員】	【監事】	【監事】	田中六郎	【製造所】	芝千住、大森、砂町	【供給所】	深川、瀧野川、日原	【供給所】	深川、瀧野川、日原

【資産負債】		【株主資本】		【外債】		【流動負債】		【現金】		【名義書換】	
【十五年】	一五〇,〇〇〇	【十五年】	一五〇,〇〇〇	【外債】	〇	【流動負債】	〇	【現金】	〇	【名義書換】	〇
【十六年】	一五〇,〇〇〇	【十六年】	一五〇,〇〇〇	【外債】	〇	【流動負債】	〇	【現金】	〇	【名義書換】	〇

神戸瓦斯

【設立】明治三十一年六月
【決算期】六月十二月

(本社)神戸市東區相生町五ノ一三三(電漢川二三一七)

【業績好調】上期の利益金(市への報償金込)二百二十五萬圓、對拂込資本利益率二割二分六厘、前期に比べて十二萬圓、利益率で一分三厘ほどの上昇に當る。業績は極めて良好だつたわけである。當期末現在の需要家戸數は前期末に比し三%ほど減少したが、瓦斯送出量は前年同期に比べて三%二増加して居る。供給傘下に、時局産業を擁するお陰である。

【前途】原料に關する限り懸念は無用である。假りに今後、供給増の停滞、生産費の増高が見られても内容が良好だから、現行配當は動くまい。

Table with financial data for Kobe Gas, including share prices, interest rates, and other metrics for various periods.

京都瓦斯

【設立】明治四十二年二月
【決算期】一月七月

(本社)京都市下京區中堂寺坊城町二三(電下八〇〇一)

【業績順調】當社の七月末決算はまだ發表されぬが、同業大阪、神戸兩社の好調振りから推して、其の順調なことは想像がつく。其の供給先に、阪神兩社ほど時局産業を抱擁して居らないにしても、時局以來、今日まで需要の増高はずつと續いて居る。八分配當措置には無論問題無い。

【見透】島津製作、壽重工業、日新電機、寺内製作所、第一工業製藥等の諸會社のうち、前三者の擴充は進められて居る。需要増は續く。タール系副産物の處理設備は好調だし、現行配當は不動。

Table with financial data for Kyoto Gas, including share prices, interest rates, and other metrics for various periods.

東邦瓦斯

【設立】大正十一年六月
【決算期】三月九月

(本社)名古屋市中區熱田區御器所町字高麗手(電瑞穂三三二)
(營業所)名古屋市中區南大津町二ノ一(電中二四)

【順調】當社は引續く工業用需要の増大と副生物の合理的な處理とで每期好調を續けてゐる。九月份も大體順調のやうで、販賣量は前年同期に比し四〇%、前期に比して一五%方増加してゐる。原料炭手當も現在のところ支障ない程度にはいつてゐるやうだ。九月份も前期程度の成績を擧げ得るものと見られる。

【配當】九月份配當は、業績上は勿論、經理令でも九分八厘までは可能だ。而も多年の堅實經營で當社の資産内容は充分の含みがあるのだが、併し配當は九分二厘を据置き、將來に備へんとするものやうだ。

Table with financial data for Toho Gas, including share prices, interest rates, and other metrics for various periods.

關東瓦斯

【設立】昭和三年六月
【決算期】五月十一月

(本社)東京市麹町區丸ノ内ユニオン館(電丸ノ内六六)

【上期決算】去る五月末に締切つた上期決算は好調。償却前利益金四十二萬八千圓で、利益率は一割九分三厘となり、前三期を優に凌いで拂込増加にも拘らず、八分四厘配當は樂に据置かれた。

【前途】當社の供給地域たる神奈川、埼玉、群馬の三縣の内、前二者に多數の特需工場のある爲特需向けは總供給高の大部を占め、今後増大の見込だ。従つて、當社の製造、供給共に累期著増を示し、事業の擴張に忙殺されてゐる有様で、最終拂込は年内徴收の見込だ。近く九分復配が實現するだらう。

Table with financial data for Kanto Gas, including share prices, interest rates, and other metrics for various periods.

【瓦斯事業】

北海道瓦斯

【設立】明治四十四年七月
【決算期】六月 十二月

(本社) 東京市麹町区丸ノ内海上ビル(電九ノ内二〇九)

【上期決算】 六月份決算は依然順調。供給漸増で前年同期を、償却前利益金で三十一萬圓と二千萬圓、利益率で一分九厘と一厘上廻り、恒例の八分配當の外に創業三十週年記念として一分特配を行つた。

【見透】 斯業を通じて、原料石炭の割當制に依る入手難、資材不足で、最近業績は伸び悩んでゐる。その上當社は、供給地が北海道の三大都市である關係上、特需工場の需要無く此の悩みは特に深い。然し、先づ今のところでは、公益事業の強味から、現状維持に不安はなく、八分配當は今後も安泰だ。

【事業】	瓦斯及其副生物
【資本金】	公稱 10,000
【株数】	新(三〇〇) 60,000 舊(五〇〇) 100,000
【重役】	社長 太田半六 取締役 鈴木實彦 磯部英一 取締役 佐々木健介 磯部英一 取締役 谷兵衛 磯部英一 取締役 木田四郎 磯部英一
【大株主】	十六年上 4,000名 十六年下 4,000名
【事業規模】	十五年下 十六年上 引取口数 5,530 5,530 製造高(軒) 4,656 5,000
【業績】	利益金利益率配當率 十五年上 30.8 1.88 0.00 十五年下 30.8 1.88 0.00 十六年上 30.8 1.88 0.00 十六年下 30.8 1.88 0.00
【株價】	(實物) 高値 安値 高値 安値 十五年上 63.8 55.5 63.8 55.5 十五年下 63.8 55.5 63.8 55.5 十六年上 63.8 55.5 63.8 55.5 十六年下 63.8 55.5 63.8 55.5

南滿洲瓦斯

【設立】大正十四年七月
【決算期】三月 九月

(本社) 大連市西通一一七(電六)

【需要好調】 當社の事業地は大連で、工業、一般ともに需要は先づ好調だ。たゞ餘り積極的な設備擴充が出来ず、石炭の入手も思ふ様にゆかぬ憾みはあるが八分配當を踏襲に支障ない成績を擧げてゐる。

【増資目的】 昨年十二月の一千萬圓増資は、自社よりも子會社滿洲瓦斯に融資するを目的とした。滿洲瓦斯は資本金一千萬圓拂込済の會社だが、哈爾濱、牡丹江等に瓦斯供給設備を行ふ計畫を有するから、早晩増資せねばなるまい。同社の全株を保有する當社としては、それに應ずる用意が必要とならう。

【事業】	瓦斯及其副生物
【資本金】	公稱 30,000
【株数】	新(三〇〇) 300,000 舊(五〇〇) 500,000
【重役】	社長 谷川善次郎 取締役 門田堅一 取崎秀隆 取締役 木哲兒 前田寛伍 黒川秀隆 取締役 長倉親義 大山壽 取締役 南滿洲鐵道 兵衛
【大株主】	十六年上 1,763名 十六年下 1,763名
【事業規模】	十五年下 十六年上 賣上(軒) 2,022 2,386 製造高(應) 1,567 1,827
【業績】	利益金利益率配當率 十五年上 34.1 1.45 0.00 十五年下 34.1 1.45 0.00 十六年上 34.1 1.45 0.00 十六年下 34.1 1.45 0.00
【株價】	(實物) 高値 安値 十五年上 8.0 6.0 十五年下 8.0 6.0 十六年上 8.0 6.0 十六年下 8.0 6.0

【瓦斯事業】

西部瓦斯

【設立】昭和五年十二月
【決算期】一月 七月

(本社) 福岡市字千代町二ノ六一

【業績順調】 七月份決算は未だ發表されないが、前年同期に比し幾分増収が見込まれてゐる。當社は、特需向を主とする姉妹會社九州瓦斯との提携が、何よりも強味だ。設備の銷却も既に充分行はれてゐるから九分配當は餘裕裡に据置かれるものと思ふ。

【今後】 福岡、長崎、佐世保の各製造所の特需向設備擴張は豫定通り進行してゐる。これが完成の上は原料炭の入手は先づ心配なく行はれる見込だ。業績順調乃至向上を辿る筋合にあるから、現行配當持續には不安はない。

【事業】	瓦斯供給副生物
【資本金】	公稱 10,000
【株数】	拂込 5,000 新(三〇〇) 300,000 舊(五〇〇) 500,000
【重役】	社長 山脇正次 取締役 入江孝次 取崎秀隆 取締役 川龍吉 榎原康道 他三名 取締役 池田増太郎 渡邊十 取締役 雄安 池田増太郎 渡邊十 取締役 永安 池田増太郎 渡邊十 取締役 左衛門 池田増太郎 渡邊十 取締役 安 池田増太郎 渡邊十 取締役 衛門 池田増太郎 渡邊十
【大株主】	十五年下 1,827名 東邦瓦斯證券 2,300 東邦電力 2,559 東邦瓦斯證券 2,559 東邦電力 2,559
【業績】	利益金利益率配當率 十五年上 24.6 1.86 十五年下 24.6 1.86 十六年上 24.6 1.86 十六年下 24.6 1.86
【株價】	(實物) 高値 安値 十五年上 24.6 1.86 十五年下 24.6 1.86 十六年上 24.6 1.86 十六年下 24.6 1.86

九州瓦斯

【設立】昭和四年三月
【決算期】一月 七月

(本社) 小倉市板櫃二二七四

【業績】 門司、小倉、八幡、戸畑、若松の北九州五市と長崎縣島原市を營業區域とする。業績は順調にて、九分配當を繼續してゐる。去る七月份決算は未だ發表されないが、前年同期と同様の成績を擧げ得た模様だ。今期配當据置は當然と見られる。

【今後】 小倉製造所にて建設中の×××は十月完成の豫定で、之が竣工の上は瓦斯製造能力も増加する。特需筋を主とする當社は原料炭入手に困難は少い。小倉・門司間の連結が完成すれば能力はフルに働く譯だ。營業區域に申分はなく、當社の事業は安泰だ。

【事業】	瓦斯供給
【資本金】	公稱 50,000
【株数】	拂込 10,000 新(三〇〇) 300,000 舊(五〇〇) 500,000
【重役】	社長 山脇正次 取締役 入江孝次 取崎秀隆 取締役 宮進一 水野幸夫 渡邊十 取締役 宮進一 水野幸夫 渡邊十 取締役 七 秋根兵次郎 伊藤十 取締役 監査 岩村榮次郎 池田増 取締役 太郎 大岩勇夫 池田増
【大株主】	十五年下 1,827名 東邦瓦斯證券 2,300 東邦電力 2,559 東邦瓦斯證券 2,559 東邦電力 2,559
【業績】	利益金利益率配當率 十五年上 24.6 1.86 十五年下 24.6 1.86 十六年上 24.6 1.86 十六年下 24.6 1.86
【株價】	(實物) 高値 安値 十五年上 24.6 1.86 十五年下 24.6 1.86 十六年上 24.6 1.86 十六年下 24.6 1.86

【海運事業】

日本郵船

【設立】明治十八年九月

【海運界は狭き門】

戦時には海運界は活況を呈することと信ぜられた。また前大戦當時は日本海運界の活躍はまことに目覚しかつた。支那事變勃發直後と雖もその例にもれなかつた。併し歐洲動亂となり、世界が樞軸陣と英米派の經濟抗争を激化して來ると、海運界も今までにない經驗を強ひられる。前輯もこの點にふれたが、愈々わが佛印への平和的進駐に對して米・英・蘭印は日本資産の凍結を行つた。これが貿易に與へる影響が深刻であると言ふまでもなく、海運界も亦直接的な影響をうけることとなる。遠洋航路の引揚げによつて廻航水域の縮少は餘儀ない。

【不況ではない】さればとてこれは決して不況を意味することではない。運賃釘付とはいへ近海方面の需要は依然旺盛を極めてゐる。配船統制から船舶國家管理へと統制が強化されようとも、適正利潤は確保出来る。多少業績が低下しようが、下掲表示に見るやうに當社の資産内容は美化してをり、現配當安泰と見る。【興味】現状を維持する限り戦後の活躍に興味がかゝる。現在は國策に順じた自重の秋だ。

Table with columns for company names, share counts, and financial data for various shipping companies like 日本郵船, 郵船, etc.

Table with columns for financial metrics such as 株主負債, 外債, 流動負債, etc., with values for 15 and 16 years.

大阪商船

【設立】明治十七年五月

【決算期】六月十二月

【本社】大阪市北區宗室町一丁目

【支社】東京市麴町區内幸町二丁目

【環境悪化】米、英の日本資産凍結が海運界に與へる影響は尠少なものでない。第一に、第三國貿易の後退に伴つて遠洋航路引揚げ、廻航水域の縮少が招來される。第二、遠洋から近海方面へ廻航される一方、特殊需要に應ずる。こゝでは運賃、備船料は遠洋方面に比べて著るしく割安だ。第三、海運統制の強化一國家管理だ。斯くて經營の不味は免かれない。【強味】が、海運界には他事業に見られぬ特殊な強味がある。第一、他事業にあつては、操業率の低下は必至だが、こゝでは百分だ。遠洋を引き揚げて船隻は船隻は緩和されな。利潤は低下するが遊休設備は絶體にない。第二は、歐戰激化、船舶喪失激増、其の結果船價が暴騰して居るので、日本海運の對外競争力は強化された。第三は資本構成の優秀、事變以來の急激な資本膨脹は無く、蓄積は激増して居る。【當社の場合】下表に示す如く、業績好調、内容また頗る優秀、業績が低下しても當分現行配當は揺がないだらう。造船は凡ゆる困難を凌いで續けるとすれば、拂込増資もさう遠いことでもあるまい。

【海運事業】

Table with columns for company names, share counts, and financial data for various shipping companies like 大阪商船, 郵船, etc.

Table with columns for financial metrics such as 株主負債, 外債, 流動負債, etc., with values for 15 and 16 years.

【海運事業】

日産汽船

【設立】昭和九年二月
【決算期】四月 十月
【本社】東京市芝罘田村町日産館内（電話座四七五）
【営業所】神戸市神戶區橋筋町一七

【増益必然の筋合】 来る十月期も引き続き増益必至の傾向を示してゐる。新造船は次ぎ次ぎと就航し、船腹擴充に伴ふ増益が見込まれる。現に四月期末に就航したものに日海、日帝、日國、日春の四新造船があり、これが全期を通じて活躍する。而も、この期中には更に二隻の新船が就航するから、未働資本の活動が相次いで起り豫定の増益は疑ひのないものとなつてくる。この限り獲得利益は恐らく前期の三百六十萬圓を遙かに抜いて、四百萬圓或はそれ以上となるであらう。配當はいかにするか。前期は經理統制令の關係から、配當餘力を持ちながら二厘を減配して八分八厘の配當に落した。この十月期は配當復活が豫定せられてゐる。実績からいふ限り、その必然性を期待せしむる。

【前途の問題】 内容は期を追ふて優良味を加へ、經營の妙味を首肯せしむるものがある。併し今後の問題として氣懸りなことは、船舶の國家管理が巻き起す影響である。仔細は尙ほ不明であるが、事態の如何によつては、日産コンツエルの自貨自船主義の強味と妙味が喪はれることにならう。

株主名	株数	金額
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
小島 三郎	100	10,000
長瀬 小太郎	100	10,000
重田 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000
相模 吾郎	100	10,000
雄島 芳雄	100	10,000
田中 義一	100	10,000

【海運事業】

東京灣汽船

【設立】明治廿二年十一月
【決算期】五月十一月

【一分増配】前輯に豫想した通り、本年上期は普通株に就て更に一分増配を断行した。利益金三十四萬九千圓、利益率二割一分五厘の好成绩で、優先株、普通株共に八分増配を附したのである。

【前途観】併し前途は一概に樂觀は許さぬ。尤も海運國家管理の具體的な運用方法は未だ詳らかでない。或は特例を認められるかも知れない。が、それにしてもダイヤルエンジン一本槍の當社のことゝ石油難は手痛く、収益も季節的な浮動を免れぬ。

【事業】	遊覽地へ航路經營
【資本金】	公稱 三〇〇,〇〇〇
【株數】	拂込済 三〇〇,〇〇〇
【役員】	社長 小田桐忠治 副社長 久原光夫 監査 山縣吾一 取締 山縣吾一
【大株主】	十六年上 六四名
【業績】	利益金 三十四萬九千圓 利益率 二割一分五厘
【株價】	高値 安値 高値 安値 一六年中 三〇・〇〇 二五・〇〇 一五年中 三〇・〇〇 二五・〇〇 一六年中 三〇・〇〇 二五・〇〇

日東鑛業汽船

【設立】昭和十二年三月
【決算期】五月十一月

【再認識さる】時局の緊迫化につれて、當社が海運界に果しつゝある役割りの重大さを再認識せねばなるまい。過去に營々として船隊擴充に努めてきた結果として、貨物船に油艙船に一大陣營が築き上げられ、分けてもタンカー界の王座を占有するものとなつた。光る存在であるだけに其の任務は重大だ。

【業績更に向上】業績の向上に疑ひない。上期半ばに日本タンカー、第二日東鑛業、白坂汽船を吸収合併して經營の合理化を行ふた効果は、下期以後に更に貢獻する。八分の配當持續は容易である。

【事業】	一般貨物の運輸業
【資本金】	公稱 一〇〇,〇〇〇
【株數】	拂込済 一〇〇,〇〇〇
【役員】	社長 竹中治 副社長 岩川與助 監査 森田常雄 取締 川田
【大株主】	十六年上 五名
【業績】	利益金 利益率 配當率 一五年上 三三・〇〇 二七・〇〇 一五年下 三三・〇〇 二七・〇〇 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一五年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇

【海運事業】

神戸棧橋

【設立】明治十七年十一月
【決算期】六月十二月

【業況】當社の今年六月期は利益金七十四萬九千圓を計上し、對拂込資本利益率は三割七分四厘となる。配當は五厘増の九分五厘に改められた。

【前途】船舶の國家管理によつてこれ迄のような妙味は望めなくなつた。けれども當社の収益基礎は特殊船の運航にあり、これは既に國管と同様な取扱ひを受けてゐたのだから、影響は大して心配を要する程ではなからう。所有貨物船は今後フルに運營されるから妙味は薄くなつても、収益力に大きな變化を與へると云ふとは考へられない。當面現行配當は維持出来る。

【事業】	貨物船の運營
【資本金】	公稱 一〇〇,〇〇〇
【株數】	拂込済 一〇〇,〇〇〇
【役員】	社長 南郷三郎 副社長 渡邊貴一 監査 田中政太郎 取締 山縣吾一
【大株主】	十六年上 八名
【業績】	利益金 七十四萬九千圓 利益率 三割七分四厘
【株價】	高値 安値 高値 安値 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一五年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇

日本海運

【設立】昭和十一年四月
【決算期】三月九月

【擴充進出】當社は油槽船と貨物船を所有してゐるが、自營してゐるのは×隻の油槽船だけで貨物船は×隻共全部貸船してゐる。而して目下第四期計畫として、××噸型油槽船×隻と××噸型×隻の新造を播磨造船所と契約した。又既に着工中の大型貨物船は、内一隻は本年十月竣工の豫定で、第二船は明年一月起工の豫定となつてゐる。

【前途】海運界は統制によつて妙味は少くなつたが、それでも八分増配を續ける位の収益は擧げられる。近く船腹が増加すればそれだけ収益は殖える。

【事業】	貨物船の運營
【資本金】	公稱 一〇〇,〇〇〇
【株數】	拂込済 一〇〇,〇〇〇
【役員】	社長 高田儀三郎 副社長 石原廣一郎 監査 高田儀三郎 取締 丸金三郎
【大株主】	十六年上 八名
【業績】	利益金 利益率 配當率 一五年上 三三・〇〇 二七・〇〇 一五年下 三三・〇〇 二七・〇〇 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一五年中 三三・〇〇 二七・〇〇 一六年中 三三・〇〇 二七・〇〇

【海運事業】

東亞海運

【設立】昭和十四年八月
【決算期】三月 九月

【本社】東京市麴町区内幸町二ノ一三(電銀座五七五)

【近く創立總會】今春の議會で「東亞海運株式會社」が成立したが、去る八月末同法施行令の公布と共に漸くその實施を見ることとなつた。かくて、當社は特殊會社として新出發する譯だが、設立委員會の設置により、急速に創立總會を開催する運びとなつた。

【前途觀】かくて資本金は現在七千三百萬圓を一億圓に擴充されるし、政府は六分配當を保證することとなつた。海運國家管理の決定によつて、支那大陸海運の國策的使命も重大となるので、當社の整備は急を要するのである。

【事業】支那航路及近海航路の海運
【資本金】拂込済 七、〇〇〇,〇〇〇
【株數】(五〇〇) 一、四〇〇,〇〇〇
【役員】社長 清水安治
副社長 内田茂 専務 山本武
信長 中川幹太 山本武
近藤 後 大谷謙吉 山本武
岡新 大谷謙吉 山本武
夫 岡新 大谷謙吉 山本武
一 岡新 大谷謙吉 山本武
正 岡新 大谷謙吉 山本武

【事業】海運業
【資本金】拂込済 三〇,〇〇〇,〇〇〇
【株數】(五〇〇) 四〇〇,〇〇〇
【役員】社長 谷正輔
副社長 大久保賢治 北村
専務 川崎芳雄 井口篤郎 監査
正 川崎芳雄 井口篤郎 監査
副 川崎芳雄 井口篤郎 監査
大 川崎芳雄 井口篤郎 監査
一 川崎芳雄 井口篤郎 監査
正 川崎芳雄 井口篤郎 監査

川崎汽船

【設立】大正八年四月
【決算期】三月 九月

【本社】神戸市神戸區海岸通八番(神港ビル)

【國家管理の影響】海運國家管理の具體的な運營の内容は未だ知られないが、當社の船舶も當然政府の備船となることであらう。企業の妙味は既になくなる譯だが、特殊法人による運營はまた大手筋の一社たる當社に代行せしめらるゝこととならう。詮り費用料金並に運營手數料が國管後に於ける當社の収益源たること他社と同じである。

【小會社統合】當社は川崎重工業の直系子會社である。株式は外部に公開されてゐない。中小船會社を傘下に納め、その統合を圖りつゝある。

【事業成績】十五年下 十六年上
運賃(千圓) 三、五七五 三、八二五
貨物(千圓) 三、六六七 四、〇〇〇
【業績】利益金利益率配當率
一五年上 七、七三三 七、〇〇〇
一六年上 七、〇八八 七、〇〇〇
【主要航路】紐育、香港、上海、天津、青島、大連、瀋陽、孟買、中阿、北航、東洋、西岸、日本、大阪、大泊、其他近海航路

【海運事業】

北日本汽船

【設立】大正三年三月
【決算期】四月 十月

【本社】東京市麴町区内幸町大阪ビル

【社績】當社は北方に於ける航路開拓の先驅者で大正三年の創立資本金一百万圓は、今や廿倍に躍進してゐる。前期末に於ける船價は噸當り九十圓に満たず、償却に努めた事が窺はれる。

【發展】昨年五月對北鮮四航路を日本海汽船に譲渡したが、現在〇隻の新船を建造中であり、それが既設航路、特殊方面に順次就航する筈である。

【業績】近時船客運賃は減り氣味だが、貨物運賃で充分之をカバーしてゐる。従つて現行九分配當は、業績、内容から見ても持續可能である。

【事業】海運業
【資本金】公稱 一〇〇,〇〇〇
拂込済 三、五〇〇,〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 二〇〇,〇〇〇
舊(三〇〇) 一、五〇〇,〇〇〇
【役員】社長 野村治一
常務 森信次郎 野村治一
重 取 森信次郎 野村治一
厚 取 森信次郎 野村治一
栗 取 森信次郎 野村治一
林 取 森信次郎 野村治一
徳 取 森信次郎 野村治一
鐵 取 森信次郎 野村治一

【事業】海運業
【資本金】公稱 八、五〇〇,〇〇〇
拂込済 五、七五〇,〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 一〇〇,〇〇〇
舊(五〇〇) 一、〇〇〇,〇〇〇
【役員】社長 河本敏夫
代表 吉田市之助 河本敏夫
次 吉田市之助 河本敏夫
村 吉田市之助 河本敏夫
工 吉田市之助 河本敏夫
門 吉田市之助 河本敏夫
監 吉田市之助 河本敏夫
文 吉田市之助 河本敏夫

三光汽船

【設立】昭和九年八月
【決算期】五月 十一月

【本社】大阪市西區西長堀北宮本ビル

【新進會社】當社は昭和九年八月資本金十萬圓を以て創立され、本年二月八百五十萬圓に増加した。かなりの急膨脹である。海運會社としては新進であり、所有船は全部新造船だ。

【前途】成績は好調で十五上期から餘裕を以つて八分配當を續けてゐる。海運界の情勢から判断すれば、大異變のなき限り、當面の狀況を續けるものと期待される。自然當社の成績も未だ向上を辿るだらう。當社は造船、船渠、海運の一貫經營をやつてをり、之れは仲々の強味である。

【事業成績】十五年下 十六年上
米 由次郎 三、六〇〇
吉 市之助 二、五〇〇
東 光 野村信託 一、四一七
【業績】利益金利益率配當率
一五年上 七、三六三 七、〇〇〇
一五年下 七、三六三 七、〇〇〇
一六年上 七、三六三 七、〇〇〇
一六年下 七、三六三 七、〇〇〇

【鐵道軌道業】

京成電氣軌道

【設立】明治四十二年七月
【決算期】五月 十一月

(本社) 東京市本所區向島押上町二〇三(電燈田六〇一)

【下期成績】 今期初以來の成績をみると、主業兼管部門ともに活況を持續し、七月末までの二ヶ月間に電車で二割、電燈で二割五分、バスで一割と各増収を示してゐる。

【將來性】 配電統制で當社の電燈設備は分離されるが可なり評價益がでるものと期待されるし、また出資後の減益は電車部門の増益でカバーできる。一方、千葉海岸に二ヶ所廣大な埋立工事が行はれてをり、當社の沿線船橋―千葉間が今後工場地帯として發展するものと思はれ、將來は好望視される。

【事業】	運輸、電燈電力其他
【資本金】	公稱 四〇、〇〇〇 拂込 三〇、〇〇〇
【株 數】	新(五〇〇) 四〇、〇〇〇 舊(五〇〇) 四〇、〇〇〇
【重 役】	社長 吉田秀彌 後藤國彦 常務 高梨博司 津田國彦 取締役 板谷宮吉 山田國彦 田村吉太郎 後藤國彦 大塚尚八 山田國彦 太郎 河野通 後藤國彦
【大株主】	十六年上 三、三二名 成田 八五、六〇〇 帝國生命 八五、六〇〇
【業 績】	利益金利益率配當率 一五年上 二、〇〇〇 一七・〇 一五年下 二、〇〇〇 一七・〇 一六年上 二、〇〇〇 一七・〇 一六年下 二、〇〇〇 一七・〇
【株 價】	(實物) 舊 一・七〇 新 一・七〇 一五年中 八五・〇 六一・五 六〇・〇 六六・四 一六年 七〇・六 六九・五 六五・三 七〇・〇

王子電氣軌道

【設立】明治四十三年四月
【決算期】五月 十一月

(本社) 東京市豊島區西巢鴨三ノ八七三(電大塚四一六)

【下期業績】 當社は今期初以來七月末までの二ヶ月間に軌道収入三十一萬五千圓を擧げてゐるが、これを前年同期に比べると、一割五分擧みの増収を示してゐる。なほ兼管電力部門も好調で、下期の一割配當は安泰である。

【結局解散か】 配電統制と交通統制で當社は主體事業を喪失するから、結局解散するものと思はれる。當社の資産内容は良好で配電設備の出資に際しては相當評價益を得るだらう。バスは評價方法がまだ確定せぬ。が、解散價値は相當有利とならう。

【事業】	軌道業自動車、電氣
【資本金】	公稱 二四、〇〇〇 拂込 一七、〇〇〇
【株 數】	新(五〇〇) 二四、〇〇〇 舊(五〇〇) 二四、〇〇〇
【重 役】	社長 本間利雄 常務 村井二郎 吉本政雄 取締役 常務 河野吉太郎 居金 光谷武雄 中野謙之介 居金 徳宮監査 今泉健三 宇 都宮政市 三菱及第一銀行
【大株主】	十六年上 一、〇六名 東正電 三三、〇〇〇 大正生命 三三、〇〇〇
【業 績】	利益金利益率配當率 一五年上 一、八二〇 一八・一 一五年下 一、八二〇 一八・一 一六年上 一、八二〇 一八・一 一六年下 一、八二〇 一八・一
【株 價】	(實物) 舊 一・〇〇 新 一・〇〇 一五年中 五・六 四・〇 六・五 六・六 一六年 七・〇 六・九 六・五 七・〇

【鐵道軌道業】

京王電氣軌道

【設立】明治四十三年九月
【決算期】五月 十一月

(本社) 東京市四谷區新宿三ノ四八(電四谷三三二)

【減損不安解消】 配電統制で當社は電氣部門を出資することになるが、五ヶ年間は出資前の利益の九割迄保證される。配電統制で當社の事業の半分が分離されるため、當然事業の妙味は失はれるが急激な業績悪化は避けられた譯で、一應減損不安は解消。

【下期成績】 期初以來七月末迄の二ヶ月間に、軌道業では四十九萬三千圓、電氣事業で九十五萬二千圓の収入を擧げ、前年同期に比し、前者で一割六分、後者では二割七分の増加を示してゐる。その後の収入状況から推すと今期の軌道収入は依然二割見當殖へか。

【資本金】	公稱 一八、〇〇〇 拂込 一四、五三三
【株 數】	新(五〇〇) 一八、〇〇〇 舊(五〇〇) 一八、〇〇〇
【重 役】	社長 穴水熊雄 井上篤太郎 正太郎 穴水熊雄 山下三郎 後藤正策 監査 橋本萬之 村岡太三郎 相談 木 【事業成績】 十五年下 十六年上 軌道(千圓) 一、四五六 一、五五七
【大株主】	十六年上 一、四九四名 東北電氣 一〇三、九七九 東部證券 三三、四二六
【業 績】	利益金利益率配當率 一五年上 一、三九五 一・九三 一五年下 一、三九五 一・九三 一六年上 一、三九五 一・九三 一六年下 一、三九五 一・九三
【株 價】	(實物) 舊 一・〇〇 新 一・〇〇 一五年中 八五・五 七〇・七 七三・三 八二・八 一六年 七〇・六 六九・五 六五・三 七〇・〇

小田急電鐵

【設立】明治四十三年十月
【決算期】五月 十一月

(本社) 東京市澁谷區千駄谷五ノ八六二(電四谷三三二)

【上期成績】 鬼怒川、小田急兩社合併後の初決算たる去る五ヶ月期には六分配當を行つた。當期の利益金は二百三十萬七千圓で利益率にして八分六厘に當る。

【近 況】 期初以來、鐵道事業、電力事業共に順調で、前者は依然二割方の増加を示してゐる。沿線の活況で長距離の乗客が殖へてゐることに因る。

【電力統制】 當社純益の四割七分餘を寄與してゐる電氣設備を日發へ吸収され、再び電鐵專業會社に戻る譯だ。出資に際して評價益は餘り期待出來ぬとしても、出資後の當社の配當は窮屈ながら六分持續可能。

【資本金】	公稱 八七、〇〇〇 拂込 五三、三七五
【株 數】	新(三三・五) 八七、〇〇〇 舊(三三・五) 八七、〇〇〇
【重 役】	社長 利光學一 池邊稻生 常務 利光學一 三浦實川 又自次郎 取江 新井章治 五島慶太郎 藤江 尾松田 監査 高野藤江 浅野八郎 須田宜木 忠
【大株主】	十六年上 三、八五名 鬼怒川興業 四六、二二五 東電 一〇〇、〇〇〇
【業 績】	利益金利益率配當率 一五年上 一、八二〇 一八・一 一五年下 一、八二〇 一八・一 一六年上 一、八二〇 一八・一 一六年下 一、八二〇 一八・一
【株 價】	(東長) 舊 一・〇〇 新 一・〇〇 一五年中 五・六 四・〇 六・五 六・六 一六年 七・〇 六・九 六・五 七・〇

〔鐵道軌道業〕

秩父鐵道

〔設立〕明治三十三年十一月
〔決算期〕五月 十一月

(本社) 埼玉縣熊谷市大字熊谷一三三(電熊谷二三)

【一分増配】 好調を辿つてゐる當社は、去る五月末の本年上期決算で利益金四十九萬四千圓、利益率二割三分を擧げ、一分増の八分増配を行つた。

【前途】 當社の好調は沿線の農村景氣と、ハイキング客の増加、沿線に於けるセメントその他の工業の股賑化等に負ふ所大である。なほ起點熊谷及び高崎方面に於ける工場地帯が急激に膨脹したため、沿線より通勤者が激増した事も見逃せない。去る六月には十五萬八千圓の収入を擧げ、前年同月に比し一割餘の増収を見せてゐる。八分増配に不安はない。

【資本金】 公稱 三、〇〇〇
株數 拂込 三、〇〇〇

【株數】 舊(五〇〇) 三、〇〇〇
新(五〇〇) 三、〇〇〇

【重役】 社長 河野繁一 常務 大野喜右衛門 取締役 出井大兵衛 監査 藤原康治

【大株主】 十六年上 一、三〇四名
株主 諸君 三、〇〇〇名

【業績】 利益金 四十九萬四千圓
利益率 二割三分

【株價】 (實物) 舊 三三〇・〇〇
新 三三〇・〇〇
高値安値 高値安値
十六年中 三三〇・〇〇
十七年中 三三〇・〇〇

相模鐵道

〔設立〕大正六年十二月
〔決算期〕五月 十一月

(本社) 神奈川県高座郡茅ヶ崎町(電茅ヶ崎四)
(出張所) 東京市麹町區飯田町二ノ二二(電九段六)

【上期業績】 今年五月份的利益金は二十三萬九千圓、利益率一割一分六厘で前年同期に比し金額で二萬七千圓、利益率で五分三厘の減益である。之は支出の増高に依るものである。配當は依然五分弱を据置いた。

【業況】 今期も前年同期と餘り變化はない。當社の鐵道業は依然伸びず、砂利業もコスト高に悩んでゐるが、砂利業は時局柄益々重要であり、目下某方面の注文が殺到してゐる。尙、既報の新路線敷設計畫は資材難のため當分實現困難で、従つて増資の話も立消えとなつた。

【資本金】 公稱 五、〇〇〇
株數 拂込 五、〇〇〇

【株數】 舊(五〇〇) 五、〇〇〇
新(五〇〇) 五、〇〇〇

【重役】 社長 武井明通 常務 五島慶太郎 取締役 川吉次郎 監査 山本善治

【大株主】 十六年上 一、三〇四名
株主 諸君 五、〇〇〇名

【業績】 利益金 二十三萬九千圓
利益率 一割一分六厘

【株價】 (實物) 舊 三三〇・〇〇
新 三三〇・〇〇
高値安値 高値安値
十六年中 三三〇・〇〇
十七年中 三三〇・〇〇

〔鐵道軌道業〕

富士山麓電氣鐵道

〔設立〕大正十五年十月
〔決算期〕五月 十一月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内丸ビル(電丸ノ内三五)

【業績】 去る五月末締切の本年上期決算で當社は利益金十七萬七千圓、利益率七分五厘を擧げ、六分増配を据置いた。前年同期と比較して約二萬圓の増益だが、利益率では資本の負擔加重のため變化なかつた。今期の業績は六月分しか判つてゐないが、鐵道、バス共に二割三分乃至二割六分増収の好成績である。

【前途】 本年上期は、バス業がコスト高に悩み八千圓の缺損だつたが、今期より運賃を五割値上した。収入の大半を占めるバス業の採算は改り、鐵道の方も好調だから今期の配當も六分増配と見て間違ひない。

【資本金】 公稱 五、七三二
株數 拂込 五、七三二

【株數】 舊(五〇〇) 五、七三二
新(五〇〇) 五、七三二

【重役】 社長 堀内貞平 常務 品川長太郎 取締役 西村清策 監査 石山三郎

【大株主】 十六年上 一、四〇四名
株主 諸君 五、七三二名

【業績】 利益金 十七萬七千圓
利益率 七分五厘

【株價】 (實物) 舊 三三〇・〇〇
新 三三〇・〇〇
高値安値 高値安値
十六年中 三三〇・〇〇
十七年中 三三〇・〇〇

南武鐵道

〔設立〕大正十年三月
〔決算期〕三月 九月

(本社) 神奈川県川崎市堀川町七四(電川崎四三)

【業況】 當社は今期初來六月迄に六十七萬四千圓の収入を擧げ、前年同期に比し約二割九分五厘の増収を見た。主として乗客の増加に由るものである。

【一分増配か】 起點川崎方面の住宅難は依然逼迫してゐるが、沿線新城附近の一萬戸を始めとして、續々沿線に住宅が新築されてゐるから、當然通勤者の増加が考へられる。目下註文中の車輛××輛も九月中旬に入手する筈であり、申請中の複線延長計畫も既に内諾を得てゐる。業績も良く、前途も明るいので、今期は一分増の七分増配が行はれるのではあるまいか。

【資本金】 公稱 八、〇〇〇
株數 拂込 八、〇〇〇

【株數】 舊(五〇〇) 八、〇〇〇
新(五〇〇) 八、〇〇〇

【重役】 社長 淺野良三 常務 大塚野郎 取締役 丹波武敏 監査 淺野八郎

【大株主】 十六年上 一、三〇四名
株主 諸君 八、〇〇〇名

【業績】 利益金 六十七萬四千圓
利益率 二割九分五厘

【株價】 (實物) 舊 三三〇・〇〇
新 三三〇・〇〇
高値安値 高値安値
十六年中 三三〇・〇〇
十七年中 三三〇・〇〇

【鐵道軌道業】

阪神電氣鐵道

【設立】明治三十二年六月
【決算期】三月 九月
【本社】兵庫縣尼崎市北城内一六(電尾崎三)
【出張所】大阪市北區梅田町一四(電大阪北三)

【業態順調】 當社の、期初以降七月下旬迄の運輸成績は順調に推移してゐる。未だ九月份決算迄には二ヶ月を残す譯だが、前年同期に對し増収三十四萬圓餘で、前年同期の増収率一割六分餘に比しては、約半減の鈍化とは言へ、それにしても自然増収を示してゐる諸経費の壓迫を繰込んで、確實に増益を計上し得るし、電氣部門に於ても十五萬圓餘の増益は問題なく出し得る。又梅田阪神ビルも稼行するし、少くとも今期の業績には不安はない。

【配電問題】 配電管理の強行に依つて、電力部門を手放しても、其の部門の利益の九割ほどを五ヶ年間保証される模様だから、業者としては利益の一割減で済む譯だ。増収必至の部門故打撃には相違ないが、最大影響を持つ當社にしても配當に迄は響くまい。

【電鐵統制】 大阪近郊電鐵の統制問題は、プロツク案が試案の域を脱しないため、今のところ表立つた動きはない。之を自主的に行ふには業者側に困難な事情もあるが、結局、交通事業調整法を發動して強行されることゝならう。

阪神急行電鐵

【設立】明治四十年十月
【決算期】三月 九月
【本社】大阪府豊能郡池田町八九六(電池田三三)
【出張所】大阪市北區梅田町四一(電北三三〇一四)

【今期の豫想】 當社は前期、經理統制令の關係から配當を従來の一割から九分六厘に引下げたのだが、業績は利益率一割七分九厘を擧げて、寧ろ向上を示してゐた。今期も本業電鐵部門に於て、期初以降七月下旬迄に前年同期に對し増収五十萬圓餘を計上してゐる。電氣部門に於ても亦、相當程度の利益は確實に見込まれる。百貨店部門は不味とは云へ、大巾な低下はない筈だ。全部門を通じ、諸経費の増嵩は一般趨勢だから今期も業績の大きい上伸は期し難いとしても、若干の向上は豫測せられる。配當も九分六厘に据置けば、決算に餘裕が加はるだらう。

【統制問題】 帝都に於て交通事業統制法に基く第一次の動きが終つた今日、それが大阪に來る事は當然推察される。京阪神プロツク説も唱へられるが、少くとも現在のところ、表面化してゐない。

【前途】 配電管理問題、税の増嵩、諸経費の増大と、電鐵界も多事が豫想される。併し、配電部門の占める割合は比較的小さいし、電鐵部門好調に依るカバも考へられるから、無下に不安視する必要はない。

【鐵道軌道業】

【事業】	電鐵運輸、電燈電力	【株主数】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇
【資本金】	公稱 六、七〇〇、〇〇〇	【重役】	社長 今西三郎
【株主】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇	専務 石井五郎	
【重役】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇	取締役 小西常雄	
【金庫關係】	三和、友友、第一、三和	取締役 右衛門片野	
【大株主】	十六年三月期 六、六三三	取締役 山崎	
【株主】	十六年三月期 六、六三三	取締役 丸山	
【事業成績】	十六年三月期 六、六三三	取締役 監	
【電力】	十六年三月期 六、六三三	【投資】	尼崎、阪神、道
【電氣】	十六年三月期 六、六三三	【名義書換】	十錢、新券、附、五錢

【事業】	電鐵運輸、電燈電力	【株主数】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇
【資本金】	公稱 六、七〇〇、〇〇〇	【重役】	社長 今西三郎
【株主】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇	専務 石井五郎	
【重役】	新(五〇〇) 一、三三〇、〇〇〇	取締役 小西常雄	
【金庫關係】	三和、友友、第一、三和	取締役 右衛門片野	
【大株主】	十六年三月期 六、六三三	取締役 山崎	
【株主】	十六年三月期 六、六三三	取締役 丸山	
【事業成績】	十六年三月期 六、六三三	取締役 監	
【電力】	十六年三月期 六、六三三	【投資】	尼崎、阪神、道
【電氣】	十六年三月期 六、六三三	【名義書換】	十錢、新券、附、五錢

【鐵道軌道業】

大阪鐵道

【設立】明治三十二年五月
【決算期】三月 九月

【本社】大阪府南河内郡富田林町大字毛人谷
【事務所】大阪市住吉區阿部野筋一丁目(電天王寺三三二)

【業況】當社の運輸狀況は前年二千六百年の活況に比して流石に低下してゐる。期初以降七月中旬迄に於て前年同期に對し二萬七千圓(一%九)の減收である。極く小巾ではあるが、諸經費の膨脹、兼營部門の不味、先日徴收の拂込資本の負擔等もあつて、九月末決算は利益率に若干の低下を見ると思はれる。併し四分配當には餘裕があるから、配當は無論置置くらう。

【前途】當社の沿線は開發の餘地が残されてゐるから將來が楽しみだが、關急への吸收が、條件の點をめぐつて、現在兩者の間に論議されてゐるやうだ。

【事業】鐵道自動車、百貨店	【大株主】十六年上 三、〇三三名
【資本金】公稱 二、〇〇〇	大軌 證券 六、〇〇〇
【株數】拂込 一七、八四〇	岸本五兵衛 二〇、〇〇〇
【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇	【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇
【株價】(實物) 〇・八八	【株價】(實物) 〇・八八
【金融關係】三菱 住友 三和	【金融關係】三菱 住友 三和

山陽電氣鐵道

【設立】昭和八年六月
【決算期】三月 九月

【本社】神戸市須磨區御屋敷通三ノ二(電須磨二四三)七
【出張所】東京市麹町區內幸町大阪ビル(電銀座三三〇)

【好調續く】當社三ヶ月の運輸成績は素晴しく、前年同期に對し二割三分の激増であつたが、今期は更にそれを超へる。期初以降七月下旬迄に既に前年同期に對し増收二十六萬圓(二五%二)、前年同期の十五萬圓餘に比して約二倍に飛躍してゐる譯だ。擴張線も七月より全線稼働し始めた今日、沿線の股賑地帯化を背景に、當社の運輸業績には恬目するものがある。

【前途】擴張資金に當てるため、いづれ拂込が徴收される。繰上りの運輸業績に依つて、現配當七分は勿論維持可能だ。沿線はまだ若いし、將來が楽しみだ。

【事業】電氣運輸業	【大株主】十六年上 一、二七三名
【資本金】公稱 三、〇〇〇	運輸成績 十五年下 十六年上
【株數】拂込 一五、〇〇〇	旅客(千人) 五、九七〇
【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇	收入(千圓) 一、四三二
【株價】(實物) 〇・二二	【株價】(實物) 〇・二二
【金融關係】住友 野村其他	【金融關係】住友 野村其他

【鐵道軌道業】

九州電氣軌道

【設立】明治四十一年三月
【決算期】五月 十一月

【本社】福岡縣小倉市砂津三六〇(電小倉三三一)

【増收】益々活況を呈する北九州工業地の交通機關として、その収入は毎期増高し、去る五ヶ月決算では前期に比し六分の増收で、七分配當を据置いた。

【交通調整】福岡電車株の六割餘を取得して去る四月に村上氏を同社社長に送り、その經營權を握つた。九鐵株は未だ三割餘を有するのみで今後が注目されるが、兎も角北部九州の斯業の指導的地位に君臨した。

【子會社の譲渡】九州合同バスの旅客自動車運輸並に運送事業を譲り受け、九州特殊鋼を不二越鋼材に譲渡することとなり、交通業専念が達成された。

【事業】電氣運輸業	【大株主】十六年上 三、五七三名
【資本金】拂込 三、〇〇〇	九州合同バス 五〇、〇〇〇
【株數】(實物) 六〇〇、〇〇〇	本小會組合 三三、〇〇〇
【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇	【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇
【株價】(實物) 〇・八八	【株價】(實物) 〇・八八
【金融關係】三菱 住友 三和	【金融關係】三菱 住友 三和

九州鐵道

【設立】昭和四年十一月
【決算期】三月 九月

【本社】福岡市天神町五八(電四〇・〇三)

【増配可能】三月決算で利益金八十五萬七千圓、その利益率一割七分八厘を以て、待望の六分復配を行つたが、今期も更に増配が期待される。運輸成績が益好調を示してゐるからだ。この際一分増配を行つても、成績からすれば無論内輪な決算である。

【前途好望】沿線の開發並に工業化の進捗に對應し、新車輛の製作、スピード・アップ、久留米・大牟田間の一部複線化等の計畫促進中。尙ほ大牟田・熊本間の延長が沿線地元の熱烈な支持に依り遂に具體化し目下認可申請中である。

【事業】鐵道自動車運輸業	【大株主】十六年上 一、二七三名
【資本金】拂込 九、六〇〇	九州電氣軌道 五九、七〇〇
【株數】(實物) 一三、八〇〇	東邦電氣 四、六五九
【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇	【業績】(實物) 一、四〇〇、〇〇〇
【株價】(實物) 〇・二二	【株價】(實物) 〇・二二
【金融關係】住友 野村其他	【金融關係】住友 野村其他

【鐵道軌道業】

博多灣鐵道汽船

【設立】明治三十三年六月
【決算期】三月九月

(本社) 福岡縣粕屋郡香椎村字濱男(電福岡東四八香椎三六)

【好成績】 當社は糟谷炭田の石炭の博多灣への貨車輸送、及び灣頭から某地への汽船運搬を主業とし、傍ら名所舊跡に富む近郊への旅客輸送を行つてゐる。最近は累期好成績を示し、昨上期より每期一分宛増配してゐる好調振りだ。

【見透】 今期も成績は向上する。石炭輸送は六月の豪雨で小減したが、旅客と他の貨物増とで、増収必至だからだ。九分配當据置に問題はない。噂さの筑前參宮鐵道との合併問題は未だ具體化せぬが、實現は只時間の問題、それも案外近いと見られる。

【事業】	鐵道、自動車、船舶
【資本金】	公稱 六三〇〇
【株數】	拂込 四、七四八
【重役】	會長 普(吾)〇〇 副會長 普(吾)〇〇 常務 岸田恒太郎 太田清藏 專務 八尋武彦 太田常務 元松直人 取締 太田次 野尻善郎 監査 太田 野尻善郎 監査 太田 野尻善郎 監査 太田 野尻善郎 監査 太田
【業務成績】	利益金利益率配當率 一五年上 三三三 一〇〇 一五年下 三三三 一〇〇 一六年上 四八八 二〇六 一〇八 一六年下 四八八 二〇六 一〇八
【資産負債】	株主資本 七六三七 外部負債 四九四四 流動資産 一〇、三二七 固定資産 二、三二九 事業収入 一五、二四四 船隻(千圓) 七、八八 船隻(千圓) 一、二四六

福岡電車

【設立】三月 九月
【決算期】三月 九月

(本社) 福岡市新町二〇九

【九軌の傘下に入る】 當社は純然たる福岡の市内電車でバス事業も併せ經營してゐる。從來東邦電力の子會社であつたが、今期から九軌の經營に移つた。去る三月末の上期決算は利益金三十四萬五千圓、利益率二割九厘を挙げ、餘裕裡に七分配當を据置いた。

【前途】 最近福岡市の發展は目覚ましいものがあるが、これに伴ひ乗客も激増してゐる。同時に資材關係からサーヴィスの向上が思ふやうに行かぬ惱みがある。その結果業績は却つて好調の一途を辿つてをる。最近料金均一制實施の運びにならうが、配當は安泰。

【事業】	電車及自動車運輸
【資本金】	拂込 三、〇〇〇
【株數】	突 〇、〇〇〇
【重役】	社長 村上巧兒 常務 内田百正 取締 安川第五郎 大數守治 淺尾新十郎 植山修郎 立石村茂敏 監査 進藤甲兵 奥
【業務成績】	利益金利益率配當率 一五年上 三三三 二〇三 〇・〇 一五年下 三三三 二〇三 〇・〇 一六年上 三三三 二〇三 〇・〇 一六年下 三三三 二〇三 〇・〇
【資産負債】	株主資本 一〇、〇〇〇 外部負債 四、〇〇〇 流動資産 三、〇〇〇 固定資産 一、〇〇〇 事業収入 一、〇〇〇 電車収入 一、〇〇〇

【鐵道軌道業】

名古屋鐵道

【設立】大正十年七月
【決算期】四月 十月

(本社) 名古屋市熱田區三本松町三ノ一(電端三二八一七)

【業績】 相變らず好調である。今年四月締切業績で利益率は一割二分六厘を収めた。之は今日までの最高記録であつた。が、今年下期は更に増収が期待。

【西部線開通】 待望の西部線名古屋驛前乗入は八月十二日開通した。この結果、省線並に關西急行との連絡も出來、路線の利用價值も著しく引上げられた。

【今後の問題】 當社に残された課題として豊川鐵道をはじめ傍系の知多、碧海、谷汲、竹鼻、東美の五私鐵道の合併整理がある。之等の統合は、客觀狀勢から見て必然行はねばならぬと思はれる。

【事業】	鐵道、自動車、電燈、電力
【資本金】	公稱 七五、五八三
【株數】	拂込 四、六七八
【重役】	會長 普(吾)〇〇 副會長 普(吾)〇〇 常務 須田博 取締 藍川清成 副社長 神野金之助 常務 上野孝 下出義雄 他三 名相 神谷隆三 他六
【業務成績】	利益金利益率配當率 一五年上 一〇、三三三 一〇〇 一五年下 一〇、三三三 一〇〇 一六年上 一〇、三三三 一〇〇 一六年下 一〇、三三三 一〇〇
【資産負債】	株主資本 七五、五八三 外部負債 一、〇〇〇 流動資産 一、〇〇〇 固定資産 一、〇〇〇 事業収入 一、〇〇〇 電車収入 一、〇〇〇

静岡電気鐵道

【設立】大正八年五月
【決算期】五月 十一月

(本社) 静岡市鷹匠町一ノ七一(電静岡美)

【業績】 今年五月末締切決算で利益金は二十六萬四千圓を収め、利益率は一割九分八厘であつた。當社の過去に於ける業績のうち、最高記録とも云ふべき好調振りであつた。この調子で行けば今年下期は更に増益とならう。無論三分配當は動かない。

【今後】 東横電鐵の傘下に入つたといふものゝ、經營方針の急激な刷新を期待するのは無理だ。併し、漸次積極的方針がとられやう。將來は清水方面の産業發展と相俟つて、三保線(假稱)の路線建設も實現しようし、當社の將來性は頗る興味がある。

【事業】	軌道、自動車、電氣
【資本金】	拂込 二、六七〇
【株數】	〇、〇〇〇
【重役】	會長 織田信恒 副會長 織田信恒 常務 丹羽武朝 他五名 上野孝 取締 織田信恒 三宮四郎 中村嘉十 他三名 日本興業 十六年上 五、三三三 静岡三十五銀行 一九、三三三
【業務成績】	利益金利益率配當率 一五年上 三三三 二〇三 〇・〇 一五年下 三三三 二〇三 〇・〇 一六年上 三三三 二〇三 〇・〇 一六年下 三三三 二〇三 〇・〇
【資産負債】	株主資本 二、六七〇 外部負債 〇、〇〇〇 流動資産 〇、〇〇〇 固定資産 〇、〇〇〇 事業収入 〇、〇〇〇 電車収入 〇、〇〇〇

〔鐵道軌道業〕

伊那電氣鐵道 【設立】明治四十年九月
 【決算期】五月 十一月
 (本社) 東京市麩町區丸ノ内海上ビル(電丸ノ内三六四一五)
 (支社) 長野縣上伊那郡赤穂村(電赤穂六三)

【配電統制】問題の配電部門分離に關する折衝は愈々八月から始まつてゐる。収入の約四割を占める該事業の分離は當社にとつて決して小さな打撃だが新配電會社の七分配當は確視され、また五年間は従前に於ける該配電部門より収入の九割は配電會社が保證するといふから、一概に悲觀する事はない。

【八分配當措置か】當社は一分増配直後の事ではあり、また沿線の農村好況で着々堅實な業績を擧げてゐるから、差詰今期は八分据置くだらう。配電統制によつても、今後五年間は減配の必要はないわけだ。

【事業】	電線、電燈電力
【資本金】	公稱 三〇〇,〇〇〇 拂込 一三三,〇〇〇
【株數】	舊(五〇〇) 一三三,〇〇〇 新(三〇〇) 二〇〇,〇〇〇
【重役】	社長 櫻木亮三 副社長 兒玉三雄 常務 加納平四郎 木下大 取締役 山口英九郎 河内大 常務 宮崎幸夫 黒河内 取締 山崎九郎 松本大 常務 江崎活七 松本大 河原榮之助 監査 松本大 備一 江崎活七 監査 松本大
【大株主】	十六年上 五、二八八名 鐵道電氣證券 四、一六 兩總電氣 二七、六七 業 續利益金利率配當率 一五年上 七、二二〇 一五年下 二、〇〇〇 一六年上 八、一〇〇 一六年下 一、〇〇〇
【株價】	(實物) 舊 〇.〇〇 高値安値 高値 〇.〇〇 一五年中 五、八四〇.〇〇 一六年中 六、八四〇.〇〇 七月 五、〇五三.三三 八、二三四

豊川鐵道 【設立】明治二十九年二月
 【決算期】三月 九月
 (本社) 愛知縣豐橋市花田町字石塚九〇(電四三六八)

【増資】當社は資本金四百八十萬圓の半額二百四十萬圓の増資を申請中である。増資實現は確定的で、之に依つて資本金は七百二十萬圓に増加する。増資の目的は沿線豊川驛から〇〇工場までの路線建設にある

【將來】この建設路線が當面業績に寄與せぬとしても、長い目で見れば將來は相當有力な収入源泉とならう。假りに當面若干の喰込みを免がれぬとしても、最近既設路線が頗る収益力を増したから、この赤字は充分償ひ得る。無論六分配當は不動と見てよい。やがて當社と名古屋鐵道との合併問題が纏まるだらう。

【事業】	鐵道運輸、自動車
【資本金】	公稱 四、八〇〇 拂込 三、五〇〇
【株數】	舊(五〇〇) 三、五〇〇 新(三〇〇) 三、五〇〇
【重役】	社長 藍川清成 副社長 瓜生卓爾 常務 二 千田憲三 取締役 原田仙二 千田憲三 取締役 原田仙二 神谷啓三 監査 平沼亮三 神野三郎 監査 平沼亮三 神野三郎 監査 平沼亮三 運輸收入(千圓) 五九 六〇五
【大株主】	日本興業銀行 六、六九八名 愛知證券保有 二、六八二 愛知銀行 七、一〇〇
【業 績】	利益金利率配當率 一五年上 二〇〇.〇〇 一五年下 二〇〇.〇〇 一六年上 二〇〇.〇〇 一六年下 二〇〇.〇〇
【株價】	(實物) 舊 〇.〇〇 高値安値 高値 〇.〇〇 一五年中 六、〇〇〇.〇〇 一六年中 六、〇〇〇.〇〇 七月 六、〇〇〇.〇〇 五、三三〇.〇〇

金剛山電氣鐵道 【設立】大正八年十二月
 【決算期】三月 九月

(本社) 朝鮮江原道鐵原郡鐵原邑外村里(電鐵原一〇一)
 (出張所) 東京市麩町區丸ノ内三三三號館(電丸ノ内一九七)

【今期も同様】前期は利益率一割七分三厘、配當九分と云ふ成績であつたが、前二期にくらべると業績は若干低下氣味にあつた。修繕費等の増加があつたからである。今期の収入は電力、電鐵ともに増加してゐるから利益は増加する見込みである。九分配當の据置きは勿論問題ない。

【合併愈々實現】京電への合併は近く愈々實現する合併條件は京電十株に對して當社九株五と云ふことに落ちつく模様である。配當は京電の一割に對して當社は九分であるから當社にとつて不利な條件ではない。

【事業】	鐵道運輸、自動車
【資本金】	公稱 三、〇〇〇 拂込 二、九〇〇
【株數】	舊(五〇〇) 二、九〇〇 新(五〇〇) 三、〇〇〇
【重役】	社長 倉知銀吉 副社長 木村雄次 取締役 山 崎治 杉村貞雄 久米平 八郎 杉村貞雄 久米平 秋澤 杉村貞雄 久米平 大株主 十六年上 一、八〇〇名 服部 信託 三三、〇〇〇 朝服 信託 三〇、二〇〇
【金融關係】	朝鮮殖産銀行 事業成續 十五年下 十六年上 電氣(千圓) 五〇 五三 業 績 利益金利率配當率 一五年上 八〇.八 一.三三 一五年下 七〇.八 一.三三 一六年上 六五.八 一.三三 一六年下 六五.八 一.三三
【株價】	(實物) 舊 〇.〇〇 高値安値 高値 〇.〇〇 一五年中 八、五七二.五五 一六年中 八、五七二.五五 七月 七、五七二.五五 六、五三三.五

〔鐵道軌道業〕

朝鮮鐵道 【設立】大正五年五月
 【決算期】二月 八月

(本社) 京城府古市町一四番地(電本局三五)
 (支社) 東京市麩町區丸ノ内丸ビル(電丸ノ内八六〇)

【好調】當社は今期七月までの五ヶ月間に二百六十一萬五千圓の収入を擧げ、前年同期に比し一割六分弱の増収といふ好調だ。經濟封鎖が日増に強化されつつある今日、朝鮮、特にその礦産物に對する期待は大きい。今後、朝鮮産業は益々活潑化さうが、當社の業績にも好影響すると無論だ。八分配當は安泰である。

【子會社】北鮮殖産鐵道は茂山開發の本格化に伴ひ、車輛の大増備をする。之がため九月一日五百萬圓の拂込を徵收する事になつた。事業の性質上、當社は車輛その他の配給に關する心配が全然要らない。

【事業】	鐵道運輸、自動車
【資本金】	公稱 五〇,〇〇〇 拂込 四三,〇〇〇
【株數】	舊(千株) 四三,〇〇〇 新(七千株) 五〇,〇〇〇
【重役】	社長 長谷川太郎 副社長 東條正平 新田常 吉野 專務 長谷川太郎 次郎 專務 東條正平 新田常 直治 井上 周 他二名 監査 井上 周 他二名
【大株主】	十五年下 三、六九八名 東洋 一、三三六 日 一、〇〇〇 業 績 利益金利率配當率 一四年下 九四.九 一.〇八 一五年上 一、〇八八 一.〇八 一五年下 一、〇八八 一.〇八 一六年上 一、〇八八 一.〇八 一六年下 一、〇八八 一.〇八
【株價】	(實物) 舊 〇.〇〇 高値安値 高値 〇.〇〇 一五年中 六、五七〇.〇〇 一六年中 六、五七〇.〇〇 七月 六、五七〇.〇〇 五、三三〇.〇〇

【運輸通信業】

大日本航空

〔設立〕昭和十四年八月
〔決算期〕三月 九月

〔本社〕東京市麹町區有樂町一ノ一(電九ノ内三〇一〇)
〔支社〕大阪市西區靱南日清生命館(電土佐堀三〇七)

【事業積極】 豫て總會の承認を経た社債三千萬圓の内、七月に一千萬圓を發行したが、九月にも同額を豫定してゐる。之と九百萬圓の借入金を以て、十六年度の事業擴充資金とする。飛行機、發動機の購入、格納庫設置等、時局即應の積極對策を實現する譯だ。

【六分安泰】 現在の定期航空路延長は約三萬八千料を數へ、運輸収入も上昇を辿つてゐる。然し利拂ひ經費、償却、臨時支出増のため、下期の純益は前期と大差なからう。但し當社の六分配當は保證されてゐるのが強味で、公債並みの安全性を有する。

【事業】	航空輸送事業
【資本金】	公稱 100,000
【株數】	拂込 100,000
【大株主】	十六年上三、三五名
【業績】	利益金利益率配當率
十五年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五

國際電気通信

〔設立〕昭和十三年三月
〔決算期〕三月 九月

〔本社〕東京市麹町區丸ノ内二ノ三(電九ノ内三〇〇)

【資産凍結】 日本資産凍結を中心とする、對日經濟包圍に依る通商關係の通信減で、對歐通信は従来より減ずる。加へて對米通信の減少も免れず、結局東亞共榮圏内の通信増でカバーすることになる。對歐米の方料金高だから幾分の減収を見るかも知れない。尙ほ月々の對外料金決済は資金凍結からは除外の様子だ。

【社債發行】 共榮圏内の通信設備擴張は益々緊急を要する爲、本年度擴張資金總額四千五百萬圓を計上第二回保證債一千萬圓は、八月二十七日に發行の豫定だ。近く拂込も徴収の筈。九月份決算も据置。

【事業】	無線電信電話通信
【資本金】	公稱 100,000
【株數】	拂込 100,000
【大株主】	十六年上六、〇三名
【業績】	利益金利益率配當率
十五年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五

【運輸通信業】

日本通運

〔設立〕昭和十二年九月
〔決算期〕三月 九月

〔本社〕東京市麹町區丸ノ内郵船ビル(電九ノ内三六一)

【業況】 當社の事業は貨物運送の元請、加盟店の債權、債務の集中決済、運送の現業等が中心であり、之等が主要収入源を成すのだが、その内で最大比重を持つ元請手数料は、特殊關係及び官廳殊に農林省關係の元請増で増加して來た。之は宅扱の減少、陸運一般貨物取扱數の増加に徴しても明白だ。結局、下期は事業収入増で業績向上となるが、配當は据置の筈だ。

【拂込徴収】 戦時下輸送効率の増大を目指す小運送整備擴充計畫は未だ詳らかでなく、これが資金も何れ増資で賄ふだらうが、近く拂込を徴収するだらう。

【資本金】	公稱 100,000
【株數】	拂込 100,000
【大株主】	十六年上七、八四名
【業績】	利益金利益率配當率
十五年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五

滿洲電信電話

〔設立〕昭和八年八月
〔決算期〕十二月(年一回)

〔本社〕新京特別市大同大街六〇一
〔出張所〕東京市麹町區丸ノ内(電九ノ内三一一)

【業況】 資産凍結で海外通信は減少するだらうが東亞方面通信、國內通話等は活況を呈してゐるやうだ。豫算總額四千二百九萬六千圓の十六年度擴張事業も順調に進捗中だ。業績は十四年度がヤマで、その後は下り坂だが、斯業は公益性と共に軍事的な重要性を持つ故六分配當据置は確實だ。

【子會社設立】 滿洲の住宅難に苦しんだ當社は、之が爲め去る七月一日自家用建築會社を設立した。資本金四百萬圓の滿洲電々建物がそれだ。これが資金として十月に第十三回社債八百萬圓發行の豫定である。

【事業規模】	十四年度 十五年度
電報發信(千)	二、三六九 三、五八四
市外通話(千)	六、〇六六 七、〇七六
【業績】	利益金利益率配當率
十五年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五
十六年上	三、三三 一、四五
十六年中	三、三三 一、四五

【百貨店】

三越

【設立】明治廿七年十二月
【決算期】二月 八月
(本社) 東京市日本橋區室町一ノ七(電日本橋三二一五)

【百貨店界】 一般購買力の旺盛さは依然として失はれない様で、自然百貨店の商品はよく賣れるが、併し取扱商品の種類並に數量が減り、従つて賣上高の減少は避けられない様だ。これが百貨店最大の悩みである。百貨店各社の七月末乃至八月末に締切る上期賣上高は、三越の如く前年同期の成績近くまで滑ぎつたものもあるが、概観して五分乃至一割五分位の減少は免れ得ないやうである。のみならず、小倉氏の蔵相就任によつて購買力の抑制は愈々必至の情勢にあるし、更に今回の増税特に物品税の擴大と税率の引上げは、業界の新たな負擔として豫想される。

【各社の配當】 かうして百貨店の經營は漸次弱屈化し、消極化して來るので、業界の活潑なる向上は期待し難く、成績の低下は免れぬと押へるより外あるまい。然し乍ら、從來から各社の決算には相當の餘裕があるもので、多少業績が低下しても、大部分の會社は、直ぐ減配をせねばならぬと云ふことも考へられない。【三越の配當】 特に三越の場合は、その基礎から云つて、現行一割配當の持續には懸念を要しない。

【事業】 百貨店
【資本金】 拂込額 三〇,〇〇〇
【重役】 社長 新井信四郎 北田能壽司
常務 朝吹常吉 三機茂昌 飯野三郎 豊泉益三 藤山愛一
取締役 林直良 山崎和作 監査 野村山一 三井銀行

【資産負債】 十五年 十六年
株主資本 三,七二〇 三,九七〇
外債 三,〇〇〇 三,〇〇〇
流動資産 三,〇〇〇 三,〇〇〇
現金預金 一,〇〇〇 一,〇〇〇
固定資産 二,〇〇〇 二,〇〇〇
使用資産 一,〇〇〇 一,〇〇〇
流動負債 三,〇〇〇 三,〇〇〇
負債 三,〇〇〇 三,〇〇〇
純資産 三,〇〇〇 三,〇〇〇

【事業】 東京市南區心齋橋筋一丁目一八番屋敷(電南三)
【設立】 大正九年四月
【決算期】 二月 八月
【配當は据置か】 大丸の今期決算は八月末に締切られるが、大體前期程度の成績は維持できるやうだ。何分取扱商品の減少に依つて、賣上の伸びぬ割に諸経費の壓迫があつて、苦しい場面ではあるが、九分配當は當面動くまい。前期は利益率三割六厘で、餘裕含みの決算を行つてゐる。

【前送】 強制貯蓄、増税等消費規正の強化、又は一般社會情勢の推移等々多難が豫想せられる。併し、生活必需品の健全な配給機關としての存在が否定されぬ限り、無下に悲觀の要も無い。

【事業】 東京市南區心齋橋筋一丁目一八番屋敷(電南三)
【設立】 大正九年四月
【決算期】 二月 八月
【株主】 大丸、小丸、三和、住友
【重役】 社長 村正太郎 下村正太郎
常務 見純吉 下村正太郎
取締役 津村清次郎 東條隆
監査 久松次郎 三菱、三和、住友

【事業】 東京市南區心齋橋筋一丁目一八番屋敷(電南三)
【設立】 大正九年四月
【決算期】 二月 八月
【株主】 大丸、小丸、三和、住友
【重役】 社長 村正太郎 下村正太郎
常務 見純吉 下村正太郎
取締役 津村清次郎 東條隆
監査 久松次郎 三菱、三和、住友

【百貨店】

松屋吳服店

【設立】 大正八年三月
【決算期】 二月 八月
(本社) 東京市京橋區銀座三ノ一(電京橋三二二二)

【八月期豫想】 松屋の去る二二期成績は、昨八月期に較べ利益金では十萬四千圓の減少となり、利益率でも四分二厘の低下を示した。が、この八月期に於ても引續き減益は免れぬ模様である。

【配當持續可能】 しかし、減益するとは云へ、未だ三割臺の利益率は充分維持出来る見込だから、勿論一割配當の持續には問題ない。而して、今後の業績も向上は期待し難いが、當社の資産内容から推して、現行配當が崩れる様なことはあるまい。特に銀行預金が拂込資本に匹敵する程あることは強味だ。

【事業】 東京市京橋區銀座三ノ一(電京橋三二二二)
【資本金】 拂込額 五,〇〇〇
【重役】 社長 古屋徳兵衛
常務 古屋徳太郎 山本龍太
取締役 古屋徳之助 小松吉
監査 大瀧喜一郎 吉

【事業】 東京市京橋區銀座三ノ一(電京橋三二二二)
【資本金】 拂込額 五,〇〇〇
【重役】 社長 古屋徳兵衛
常務 古屋徳太郎 山本龍太
取締役 古屋徳之助 小松吉
監査 大瀧喜一郎 吉

【事業】 東京市京橋區銀座三ノ一(電京橋三二二二)
【資本金】 拂込額 五,〇〇〇
【重役】 社長 古屋徳兵衛
常務 古屋徳太郎 山本龍太
取締役 古屋徳之助 小松吉
監査 大瀧喜一郎 吉

【事業】 東京市京橋區銀座三ノ一(電京橋三二二二)
【資本金】 拂込額 五,〇〇〇
【重役】 社長 古屋徳兵衛
常務 古屋徳太郎 山本龍太
取締役 古屋徳之助 小松吉
監査 大瀧喜一郎 吉

【百貨店】

高島屋

【設立】大正八年八月
【決算期】一月 七月

(本社) 京都市下京區烏丸通高辻下ル因幡堂町(電下五九)
(支店) 京都市日本橋區通二ノ五(電日本橋四二一〇)

【今期の業績】 高島屋の一月期決算は明瞭に成績の低下を示して、利益率も三割二分八厘から二割五分一厘にまで下つたが、去る七月期は大體前期並みの業績を挙げ得たやうだ。經營の窮屈化は争へぬが、諸經費の切詰により、配當も一割を踏襲するだらう。經理統制令に依つても、一割配當には差支へない。

【今後】 購買力抑制の問題もあつて、手放しの樂觀はゆるされない。配當如何も問題になるが、百貨店としての新生面を持続する以上、當面業績に大巾な低下はないだらう。従つて配當も据置けるであらう。

【資本金】公稱	一四、〇〇〇
【株數】新(五〇〇)	一、〇〇〇
【重役】	社長 飯田直次郎
【業務】	取締役 飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎
【株價】(東長) 高値	一、〇〇〇
【金關關係】	野村、住友、三井

白木屋

【設立】大正八年二月
【決算期】一月 七月

(本社) 京都市日本橋區通一ノ九(電日本橋三三二四)

【七月期成績】 當社の七月期決算が發表されたがそれに依ると利益金九十三萬三千圓で、同利益率は一割七分七厘であつた。これを前期の成績と比較すると利益金では二萬五千圓、利益率では五厘の各低下に當つたわけだが、しかし、先づ無難なる決算と云ふことが出来る。

【今後】 だが、問題はこれからだ。百貨店界の赤字状態に對し、當社の七分配當がいつまで持續出来るか、問題となるからだ。

【資本金】拂込済	一〇、〇〇〇
【株數】新(五〇〇)	一、〇〇〇
【重役】	社長 飯田直次郎
【業務】	取締役 飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎
【株價】(東長) 高値	一、〇〇〇
【金關關係】	野村、住友、三井

【映畫事業】

松竹

【設立】大正九年十一月
【決算期】二月 八月

(本社) 京都市京橋區新富町三ノ五(電樂地三三一〇)
(支店) 京都市南區久左衛門町八(電南三二一六)

【業界多難】 興行界は問題山だ。米國資金凍結により洋畫輸入困難な上、フィルムの手當も可成り窮屈である。また購買力吸収乃至増税の點から入場料の加重が考へられる。而も八・一一禁令で基本料金が低位に抑へられたため、その引上げには許可を貰はねばならぬ。官廳方面に、娯樂に對する積極的指導方針を缺くことも、業者を困らせる原因になつてゐる。

【當社収益】 八月末締切の本年上期迄に關する限り、収益状態は依然良好だつた。而も當期は今迄の數字を抜くものと見られ、計上される利益の如きも五百三、四十萬圓に上る見込である。積立金も殖へるのでまだ一〇分程度の増配は容易乍ら、八分据置きを賢明とする。去る七月一日大船の松竹映畫都市を對等で合併し、資本金五十五萬圓を加へた。同社は六分配當だが、合併後八分配當が認められてゐる。決算を堅實にして、前述の如き業界多難に備へねばならない。

【見透し】 戦時下の娯樂として、宣傳機關として興行會社が當局のよき指導を得、業者自身の善處を以てすれば、當社株の如き、さう懸念せずともよい。

【事業】	演劇、活動寫眞、其他
【資本金】	一〇、〇〇〇
【株數】	一、〇〇〇
【重役】	社長 飯田直次郎
【業務】	取締役 飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎、飯田直次郎、飯田新七郎
【株價】	一、〇〇〇
【金關關係】	野村、住友、三井

【土地建物業】

東京建物

【設立】明治二十九年八月
【決算期】六月 十二月
【本社】東京市日本橋區吳服橋建物ビル(電日本橋三六一番)
【支社】横濱市中區尾上町五ノ六六

【上期概況】 去る六月末締切の本年上期決算では依然八分配當を据置いた。當期の利益金は六十二萬三千圓、利益率にして一割四分七厘と前期に比して成績は稍や低下したが、この限り決算は大して窮屈にはなつてゐない。

【前途】 右は、内地事業の不味を外地事業がカバーし切れなかつたもので、當社の前途は、外地事業の伸展如何にかゝつてゐる諺だ。差し當つて、今下期は京城の第三期土地住宅分譲、天津の貸住宅からの収益が成績に寄與する事情にある。

【事業】	土地建物賃貸販賣
【資本金】	公稱 一四、三五〇、〇〇〇
【株数】	新(三〇〇) 一〇〇、〇〇〇
【役員】	社長 川崎清男 取締役 安田善五郎 大倉象 安田和重 大橋新太郎 大泉哲 常務 安田善七郎 中條 監査 池田眞市 中島幸三郎
【大株主】	十六年上 一、〇七五
【業績】	日本建設銀行 二七、二〇〇 一五年上 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇 一五年下 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一五年中 六、七五〇 一、八五〇 一六年中 五、二五〇 一、四〇〇

市岡土地

【設立】大正五年六月
【決算期】五月 十一月
【本社】大阪市港區西市岡町二ノ一〇(電西八〇)

【成績】 當社の成績は時局以來殆んど變化なく、文字通り釘付状態となつてゐる。利益率は毎期一割二、三分を示し、配當は八分据置きた。

【前途】 土地、家屋共に公定價格制が實施され、事業の妙味は薄らいで來た。之れまでは生産擴充の強行で土地家屋の買入はかなり旺盛であつたが、最近は物資不足で生産擴充も足踏み状態となつたので、自然土地家屋の取引は少くなつて來た。近い將來に成績の急變はあるまいと思ふが、成績は當面伸び悩みと見る他なからう。

【事業】	土地建物賃貸販賣
【資本金】	公稱 四、〇〇〇、〇〇〇
【株数】	新(五〇〇) 一、〇〇〇、〇〇〇
【役員】	社長 岡崎忠三郎 取締役 山本弘一 常務 山田清二郎 監査 内貨貸(千圓) 一、〇〇〇
【大株主】	十六年上 五、〇〇〇
【業績】	南山本 一、〇〇〇、〇〇〇 一五年上 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇 一五年下 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一五年中 六、七五〇 一、八五〇 一六年中 五、二五〇 一、四〇〇

【土地建物業】

大阪土地建物

【設立】明治四十四年七月
【決算期】五月 十一月
【本社】大阪市住吉區山王町四ノ五(電戎三七一〇九五)

【強味】 當社は特殊な經營を行つてをり、その爲め成績は安定してゐる。時局以來の成績を見ると毎期の利益率は一割二、三分を示し、配當は七分を續ける。

【前途】 當社の収益の源泉は貸家にある。時局以來は家賃の滞りも少く、それだけ當社は恵まれてゐる。けれども家賃は公定制を實施されてをり、反面修繕費は嵩むから、最近は餘り好い利廻りではないようだ。従つて前途は一概に樂觀されないが、内容がよいことが強味であるから、目先七分配當に動搖を來すとは考へられない。

【事業】	土地建物賃貸販賣
【資本金】	公稱 六、〇〇〇、〇〇〇
【株数】	新(五〇〇) 一、〇〇〇、〇〇〇
【役員】	社長 西田正俊 取締役 吉田宗三郎 監査 常務 上野宗三郎 竹中治 監査 藤本藤茂 一三、〇〇〇 大株主 十六年上 一、〇七五
【業績】	所有土地 住吉區山王町 一五年上 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇 一五年下 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一五年中 六、七五〇 一、八五〇 一六年中 五、二五〇 一、四〇〇

名古屋土地

【設立】明治四十四年九月
【決算期】五月(年一回)
【本社】名古屋市中村區下中村町三樹田一

【業況】 今期に入り土地賣却額は約八萬圓を收めた。この調子で行けば、今期中の分譲額は三十萬圓を下るまい。假りにその差益總額を八萬圓(坪當り差益十七圓見當)、土地建物收入を前期並と見ても、六萬圓程度の利益金は確實である。従つて三分配當据置は充分出来る。經營當局者としては一分増配の意嚮の様だ。

【解散價値】 記者の計算によると、當社の解散價値が額面程度に行くとは間違ひない。即ち帳簿價格で土地は坪當り三十六圓半、家屋七十八圓だが、土地は二十圓程度の含みがあることになるからだ。

【事業】	土地建物賃貸販賣
【資本金】	公稱 一、〇〇〇、〇〇〇
【株数】	新(五〇〇) 一、〇〇〇、〇〇〇
【役員】	社長 藍川清成 取締役 助川友三郎 監査 常務 田口浩 竹原友三郎 監査 藤本藤茂 一三、〇〇〇
【業績】	金融關係 愛知縣農工銀行 一五年上 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇 一五年下 利益金 一、〇〇〇、〇〇〇
【株價】	高値 安値 高値 安値 一五年中 六、七五〇 一、八五〇 一六年中 五、二五〇 一、四〇〇

【護謨栽培業】

日産農林工業

【設立】昭和九年三月
【決算期】二月 八月

(本社) 東京市芝區田村町一ノ三日産館内(電銀座七五七一)

【情勢複雑化】

英國、蘭印等が日本資産の凍結を實施したが、ゴム各社の事業は現在のところ左して支障ない模様である。今期の各社の成績は前期よりも寧ろよい情況にあり、結局、國家補償等の救援の手がゴム各社にもさし延べられるのではあるまいか。

【今期業績】

今期の豫想利益は三百三十萬圓に上らう。内百二十萬圓見當は國內事業が稼ぐから、ゴム益が現地に凍結されても、當社の場合は配當金に困るやうなことはない。或ひは今期可能配當限度一杯の九分四厘を行ふかもしれぬ。

【事業】護謨椰子栽培其他	【大株主】十五名下 三〇、〇〇名
【資本金】公稱 二〇、〇〇〇	滿洲重工業 一〇〇、〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 二五、〇〇〇	日産株式會社 七五、〇〇〇
【役員】新(三五〇) 一〇、〇〇〇	【業績】利益金利益率配當率
社長 田中誠吉 下河邊建二	一五年上 一、七三三 二、四二六 一、〇〇〇
部長 田中誠吉 前田惟智	一五年下 二、二五五 二、二七〇 〇・〇〇
部長 田中誠吉 前田惟智	【株價】(實物)舊 新
部長 田中誠吉 前田惟智	一五年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 田中誠吉 前田惟智	十六年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 田中誠吉 前田惟智	七月 六〇・七五三 〇・三三六 〇・三三〇

スマトラ拓殖

【設立】大正七年三月
【決算期】四月 十月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内丸ビル内(電丸ノ内二)

【業績恢復】

去る四月決算は、現地の追加税金を徴られたため意外の不味に終つた。だが、今期のゴム生産量は百六十六萬封度には達する見込みで、結局豫想利益は八十萬圓、利益率にして二割五分と、業績は顯著に恢復するものと期待される。

【見透し】

當社の豫想利益金八十萬圓の約半額は子會社極洋捕鯨からの手数料及び配當金收入である。かく純益の五割を、ゴム事業以外に仰いでゐることは、當社の大きな強味である。即ち、現在のところ毎期極洋捕鯨が順調であるからだ。

【事業】護謨栽培、採集、鑛業水産業	【大株主】十六年上 一、五五名
【資本金】公稱 八、〇〇〇	南方開發 二六、〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 一〇、〇〇〇	兒玉三三 六、二〇〇
【役員】新(三五〇) 一〇、〇〇〇	【業績】利益金利益率配當率
社長 山田正路 取締	一五年上 一、七三三 二、四二六 一、〇〇〇
部長 山田正路 取締	一五年下 二、二五五 二、二七〇 〇・〇〇
部長 山田正路 取締	【株價】(實物)舊 新
部長 山田正路 取締	一五年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 山田正路 取締	十六年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 山田正路 取締	七月 六〇・七五三 〇・三三六 〇・三三〇

【護謨栽培業】

熱帯産業

【設立】大正八年五月
【決算期】四月 十月

(本社) 東京市日本橋區室町三井三號館内(電日本橋三三三)

【上期増配】 當社の成績が最近好轉したのは、市價高と同時に、ゴム生産量の増加に因るもので、上期には百三十二萬封度と、十四年當時より倍以上も増加を示してゐる。斯くて當期は利益金四十萬九千圓、利益率一割八分一厘と顯著に向上したので、一分増の九分配當を行つた。

【今期豫想】 ゴム生産量は、前期より更に二十萬封度増の百五十萬封度に達する見込みである。平均賣値三十八仙、コスト十八仙として、當期の利益は邦貨に換算して五十七萬圓程度に達する筈だ。

【事業】護謨栽培採集	【大株主】十四年上 十四年下
【資本金】公稱 六、五〇〇	生産額(封度) 四、五〇〇 二、〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 一〇、〇〇〇	平均賣(仙) 三二・〇 三二・八
【役員】新(三五〇) 一〇、〇〇〇	【業績】利益金利益率配當率
社長 津久井誠 島田勝之助	一五年上 一、七三三 二、四二六 一、〇〇〇
部長 津久井誠 島田勝之助	一五年下 二、二五五 二、二七〇 〇・〇〇
部長 津久井誠 島田勝之助	【株價】(實物)高値 安値
部長 津久井誠 島田勝之助	一五年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 津久井誠 島田勝之助	十六年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 津久井誠 島田勝之助	七月 六〇・七五三 〇・三三六 〇・三三〇

昭和護謨

【設立】昭和十二年六月
【決算期】三月 九月

(本社) 東京市京橋區京橋明治製菓ビル(電京橋三三三)

【成績向上】 前期のゴム生産高二百七十萬封度に對し、今期は三百二十萬封度に達する見込みである。今期の平均賣値三十八仙、コスト十七仙と見れば、その差益は二十一仙で、ゴム益は約六十七萬圓、邦貨に換算して百二十八萬圓弱みとなる。右の外に、千住の加工場の利益を合せれば、結局百六十萬圓見當の利益が計上されよう。

【配當政策】 計上利益は向上するが、利益の大半は現地に凍結されるから、今期は當然修正減配とならう。ゴム會社の今後を示唆するものとして注目される。

【事業】護謨栽培護謨製品	【大株主】十六年上 一、〇九名
【資本金】公稱 一〇、〇〇〇	明治製菓 八七、〇〇〇
【株數】新(五〇〇) 一〇、〇〇〇	森村同族糖 三、六八〇
【役員】新(三五〇) 一〇、〇〇〇	【業績】利益金利益率配當率
社長 有嶋勉助 相馬牛治	一五年上 一、七三三 二、四二六 一、〇〇〇
部長 有嶋勉助 相馬牛治	一五年下 二、二五五 二、二七〇 〇・〇〇
部長 有嶋勉助 相馬牛治	【株價】(實物)高値 安値
部長 有嶋勉助 相馬牛治	一五年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 有嶋勉助 相馬牛治	十六年中 〇・三三六 〇・七五三 〇・三三〇
部長 有嶋勉助 相馬牛治	七月 六〇・七五三 〇・三三六 〇・三三〇

【護謨栽培業】

馬來護謨公司

【設立】大正元年十月
【決算期】三月 九月

(本社) 東京市麹町區大手町日清生命館(電丸ノ内三六七)

【業績】 来る九月期のゴム生産高は百五十萬封度程度と見られるから、前期と大差ない譯だ。これは、當社農園が比較的若木が多く、従つてゴム採取量は差し當つて、急激な増加を期待できぬ事情にあるからだ。今期の平均賣値三十八仙、コスト十七仙と見ると、今期の利益は邦貨に換算して六十萬圓拂みとなり、その利益率は二割五、六分に當る。

【將來】 當社は十四年上期以降、四期連続して毎期一分宛増配を行ひ、去る三月期に於て九分配當に達した。今後は内容の充實に専念すべきだらう。

【事業成績】	一五年下	一六年中
生産(千封度)	一、三〇〇	一、四〇〇
平均賣値(仙)	三二・一	三二・七
面積(英加)	五、三三三	五、四〇〇
【株數】	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【役員】	増田義一	増田義一
社長	村上清吉	村上清吉
副社長	中田繁	中田繁
取締役	大隈直太郎	大隈直太郎
監査	野村銀行	野村銀行
【金庫關係】	安田	安田
【大株主】	十六年上	十六年中
日清	八、〇〇〇	八、〇〇〇
上瀧	四、五〇〇	四、五〇〇
吉命	四、五〇〇	四、五〇〇

ボルネオ護謨

【設立】大正六年十二月
【決算期】三月 九月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内三ノ六(電丸ノ内二八八)

【順調推移】 今期央までの三ヶ月間に、既に三十一萬封度のゴム生産量を擧げてをり、今期全體の生産量は六十四、五萬封度を見込まれる。平均賣値を蘭貨二十八仙、コスト十四仙と見れば、今期の利益は邦貨に換算して二十萬圓拂みとなる。

【今後】 ゴム生産量の引きつゞ増加で、成績は漸次向上して來た。加ふるに當社は配當を七分に据置いて自重してきてゐるので、それだけ内容も充實性を備ふるに至つた。今後、この低配當隱忍主義に變化はないものと思はれる。

【事業成績】	一五年下	一六年中
生産(千封度)	六、〇〇〇	六、三〇〇
面積(英加)	四、一〇〇	四、一〇〇
【株數】	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【役員】	渡邊勝家	渡邊勝家
取締役	河野卓治	河野卓治
副社長	山田土佐太郎	山田土佐太郎
監査	大隈直太郎	大隈直太郎
【大株主】	十六年上	十六年中
林明	三、五〇〇	三、五〇〇
治	三、五〇〇	三、五〇〇
治	三、五〇〇	三、五〇〇

【護謨栽培業】

南國産業

【設立】大正六年九月
【決算期】六月 十二月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内南藥館内(電丸ノ内二七三)

【上期成績】 去る六月締切の上期決算は、まだ現地から書類未達のため確定を見ないが、各生産量は大體次の如きものと思はれる。ゴム、四十二、三萬ハーフキロ。茶、三十三、四萬ハーフキロ。規那、十五萬五千ハーフキロ。コーヒー、七百五十擔。

【配當】 前期に比して増加したものはゴムだけだが、茶及び規那是市價が強調を示してゐるので、結局前期程度の利益金十七、八萬圓を計上することゝならう。この限り、成績に照らしても、今上期の配當六分据置は動かないところと見られる。

【事業成績】	一五年下	一六年中
生産(千封度)	一、〇〇〇	一、〇〇〇
面積(英加)	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【株數】	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【役員】	中村第三	中村第三
社長	有村貴一	有村貴一
副社長	城戸崎廣三	城戸崎廣三
取締役	深田克信	深田克信
監査	伊藤重三	伊藤重三
【大株主】	一五年下	一六年中
護謨	三、〇〇〇	三、〇〇〇
千キロ	三、〇〇〇	三、〇〇〇
BOK	三、〇〇〇	三、〇〇〇

南洋護謨

【設立】明治四十四年三月
【決算期】四月 十月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内仲十三號館(電丸ノ内二八)

【業績順調】 當社も最近ゴム生産高の増加とともに、伸びてきた會社である。今期のゴム生産量は、前期より十五萬封度増の百三十五萬封度と豫想され、平均賣値三十八仙、コスト十八仙とみて、今期の利益は邦貨に換算して五十一萬圓、利益率にして二割九分に達する筈である。

【配當】 當社は前期すでに、第一號配當率は九分五厘に達してゐたが、配當は九分に止め、他は社内保留して堅實な決算を行つてゐる。事態が餘程悪化せぬ限り、今期も九分配當は据置きと見られる。

【事業成績】	一五年下	一六年中
生産(千封度)	一、〇〇〇	一、〇〇〇
面積(英加)	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【株數】	一、〇〇〇	一、〇〇〇
【役員】	藤田宗太	藤田宗太
社長	後藤吉武	後藤吉武
副社長	田上宗雄	田上宗雄
取締役	清水政七	清水政七
監査	河	河
【大株主】	十六年上	十六年中
林大	三、〇〇〇	三、〇〇〇
分同	三、〇〇〇	三、〇〇〇
治	三、〇〇〇	三、〇〇〇

【漁業】

日魯漁業

【設立】大正三年三月
【決算期】五月十一月
【本社】東京市麹町區丸ノ内丸ビル（電丸ノ内三二）
【支店】函館市真砂町六

【漁況芳からず】本年度の漁獲成績は面白くない。養の競賣で五漁區を喪ふたためではない。鮭、鱒、蟹等魚族の來游が例年よりも甚だしく遅れたためだ。單にカムサツカだけでなく北千島に於ても同様だつた。自然、日魯は無難のこと太平洋漁業も北千島漁業も例外なしの不漁で切上げを餘儀なくされた。

【豫想儲詰高】儲詰生産高は何れの會社と雖も豫算に達せない。日魯に就て見れば鱒儲詰は幸にも豫算に近いが、肝腎の紅鮭儲詰は思ひの外に少なく、過去の底記録を更に下廻る状態だ。

【成績低下必至】成績の低下は必至の勢にある。生産減はコストを割高たらしめる上に更に前年度品同様に金利倉敷を喰ふのでは遣り切れない。然し目下折衝中の輸出向品の非常時局用向への轉換が許容され、公債が設定されて滞荷が動き出すことになれば當社の悩みは一躍して解消する。だが、減配は當然だらう。

【新體制のために】水産新體制のためにドノ途解體合同となるものと思へるが、その具體的見透しは本稿執筆當時は全く分らない。

【事業】	魚撈、鱒詰、鱈魚、冷凍品、新巻
【資本】	新巻 五、八〇〇 公債 四、三〇〇 株數 五〇〇
【役員】	社長 藤田 常次郎 副社長 山本 隆太郎 監事 近藤 隆太郎 監事 柳 源次郎 監事 柳 源次郎

【事業】	漁業、製氷、冷蔵、加工
【資本】	公債 六、〇〇〇 株數 五〇〇
【役員】	社長 藤田 常次郎 副社長 山本 隆太郎 監事 近藤 隆太郎 監事 柳 源次郎 監事 柳 源次郎

【資産負債】	十五年度 十六年度
株主資本	五、八〇〇 六、〇〇〇
外部負債	二、一〇〇 二、一〇〇
流動資産	三、七〇〇 三、九〇〇
固定資産	一、一〇〇 一、一〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
固定負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇

【資産負債】	十五年度 十六年度
株主資本	五、八〇〇 六、〇〇〇
外部負債	二、一〇〇 二、一〇〇
流動資産	三、七〇〇 三、九〇〇
固定資産	一、一〇〇 一、一〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
固定負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇

【漁業】

日本水産

【設立】大正十四年十月
【決算期】一月七月
【本社】東京市芝區田村町一ノ二日産館（電銀座七九一）

【総合經營の強味】資材や勞力が窮屈となり、操業隻数が減じ、蟹儲詰が買れず、鯨油が豫期した如く有利に捌けない等々の情勢變化は考へられる。だがしかし最後のものを除く外は今更らの事ではなく既に事變以來織込済である。寧ろ、それらを克服して近年業績は伸展し確固不動の基礎が築かれたのだ。企業六部門からなる総合經營の強味は否定出来ない。

【内需向轉換】當社の製造物で對外販路に依存してゐたものは北洋部と捕鯨部の一部である。その販路は國際關係の緊迫で確かに塞がれてゐる。そこに違算はある。併し蟹儲詰はアレ程の滞荷がいつの間にか著しく減少してゐる。昨年も今年も無論政策的に限産をつゞけてゐる。米國は再び輸入關稅を引上げたが、恐らく輸出向製品の全部は非常時局用として内需向に振當てられる事にならう。政府當局も其の方針に決定するやうだから滞貨一掃の日が近いであらう。捕鯨部に違算を來たしたとしても巨額の豫想利益が得られぬといふだけだ。水産新體制で各社の解體融合の日があるとしても當社は其の中軸となつて擴大されよう。

【事業】	漁業、製氷、冷蔵、加工
【資本】	公債 六、〇〇〇 株數 五〇〇
【役員】	社長 藤田 常次郎 副社長 山本 隆太郎 監事 近藤 隆太郎 監事 柳 源次郎 監事 柳 源次郎

【資産負債】	十五年度 十六年度
株主資本	五、八〇〇 六、〇〇〇
外部負債	二、一〇〇 二、一〇〇
流動資産	三、七〇〇 三、九〇〇
固定資産	一、一〇〇 一、一〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇
流動負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
固定負債	一、〇〇〇 一、〇〇〇
現金預金	一、〇〇〇 一、〇〇〇

【漁業】

極洋捕鯨

【設立】昭和十二年九月
【決算期】五月十一月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内三ノ九ビル(電丸ノ内三三)

【業績】 来る十一月に締切られる今期の計上利益金は二百八十萬圓と想像される。即ち五月期の利益金三百三十萬圓と併せると六百十萬圓となる勘定だが、これが當社の第三回目(昭和十六年度)の捕鯨に依つて收めた總利益金である。而して、今期は資産償却に百三十萬圓を振當て、配當は八分据置の見込みである。

【今後】 右の如き優秀なる成績が今後も擧げ得るか何うかは疑問とせねばなるまい。捕鯨業は、國際關係に左右される處が甚大だからだ。投資者は、國際情勢を特によく見極めることが肝要だ。

【事業】 母船式捕鯨業其他水産物加工販賣運送業

【資本金】 公稱 三〇〇〇〇〇
株數 三〇〇〇株

【役員】 社長 山田士伊太
常務 山田正治 石川
自助 山田正治 石川
田三郎 山田正治 石川
合文 山田正治 石川
和談 山田正治 石川

【金種關係】 野村 三菱 三和
大株主 十六年上 三、五八〇名
【株數】 三〇〇〇株

【株價】 一、二〇〇
一、一〇〇
一、〇〇〇

南興水産

【設立】昭和十年一月
【決算期】九月(年一回)

(本社) 南洋パラオ島(事務所) 東京市芝區田村二ノ一二(電銀座三〇七)

【事業】 當社は南洋及び南洋興發の出資會社で、南洋に於ける特異な漁業會社である。鮪、鰹を主産品とし、鯨節の如きは國內消費の六割を供給してゐる。

【増資】 去る四月、倍額の一千萬圓に増資し、増資の半額二百五十萬圓を徴收した。鮪罐詰工場、製氷及冷凍工場、其他諸設備を擴充するため、流動資金を加へ總額八百五十八萬圓を要すが、うち三百五十八萬圓は借入金で賄ふ。増設完成豫定期は十八年三月。

【株式】 六分配當に懸念ない成績を擧げてゐるが將來八分程度に引上げ、株式の一部を公開する筈だ。

【事業】 漁撈、製氷、冷凍、冷蔵、輸送、運送業

【資本金】 公稱 一〇〇〇〇〇
株數 一〇〇〇株

【役員】 社長 山田正治
常務 山田正治
自助 山田正治
田三郎 山田正治
合文 山田正治
和談 山田正治

【大株主】 十五年度 三三名
南洋興發 一、二七〇名
市興發 二、四六〇名

【株價】 一、〇〇〇
一、一〇〇
一、二〇〇

東亞煙草

【設立】明治三十九年十月
【決算期】五月十一月

(本社) 東京市麹町區丸ノ内丸ビル内(電丸ノ内三三)

【業績】 米・英・蘭印等の對日經濟封鎖によつて、或る種の産業は夫々相當手痛い影響を受けてゐるやうだが、煙草事業のみはこの機會に却て事業的進出が大きく要求されてゐる。それは右の日本資産凍結に對抗してどられた滿洲國及び支那大陸の英米資産凍結の結果、大陸に於ける英米煙草トラストの活動に制約が加へられ、邦人煙草六社(當社、滿洲煙草、東洋葉煙草、華北東亞、滿洲東亞、北支煙草)にそれだけ進出の機會が與へられることになつたからだ。

【トラストの勢力】 英米資産凍結と云つても、目下の處トラスト側の製品(卷煙草)の搬出を制限してゐる程度だが、然しそれにしても、英米トラストの卷煙草供給力は、滿洲國に於て全體の四割四、五分、北中支を含めた支那大陸で實に七割近くを占めてゐる現状だから、この巨大勢力の退潮に應ずる邦人會社の今後は、文字通り多忙であり、その使命又重大である。

【前途】 當社の上期成績は表示の如く、利益率二割三分八厘と従來に見ぬ向上を見せ、一割配當を据置いた。情況がいゝので、今後の成績にも不安はない。

【煙草事業】

【事業】 煙草、葉卷煙草

【資本金】 公稱 三〇〇〇〇〇
株數 三〇〇〇株

【役員】 社長 山田正治
常務 山田正治
自助 山田正治
田三郎 山田正治
合文 山田正治
和談 山田正治

【資産負債】 十五年 十六年
株主立本 二、五八〇 二、八八〇
外部積立金 二、五八〇 二、八八〇
使用總資本 二、五八〇 二、八八〇
流動資産 一、九七六 二、〇〇〇
現金預金 一、九七六 二、〇〇〇
【株價】 一、二〇〇
一、一〇〇
一、〇〇〇

【國策會社】

北支那開發

【設立】昭和十三年十一月
【決算期】十二月(年一回)
【本社】東京市麹町區平河町二ノ六(電九段四三二一)
【支社】北京東城民巷

【乙年度業績】當社の決算は歷年制により、從來十二月末年一回であつたが、今回會計年度に合せて三月末に改められた。そのため本年一月から三月末までの收支を十五乙年度決算として發表されたが、それによつて政府補給金百三十七萬圓を加へた本年度利益金は九十萬八千圓である。これを一年に引直して、民間拂込資本に對する利益率を見ると八分二厘となる。決算期の關係で業績は多少の低下を示した。

【事業概況】本年三月末に於ける投資又は融資を通じての關係事業は二十一會社、八組合と他に滿鐵の外局一つ。而してこれらに對する當社の投資は二億四千四百萬圓、融資が三億六千八百萬圓であるが、二億圓を超える投資からの収入が十五乙年度に於て僅か八十二萬圓に過ぎない。投資會社十八社中、配當を行つてゐるのは十社で他が無配當なるがためだ。この點からみても、當社はまだ政府補給金に依存せねばならぬ。

【事業】	交通運輸、通信、電氣
【資本】	公稱 35,000,000 拂込 28,400,000 政(現物) 2,800,000 民(現物) 2,800,000
【株主】	大株主 16名 小株主 1,200名
【役員】	社長 小川三郎 理事 神尾常孝、賀屋興宣、山田孝次郎、中村益三、野村孝次郎、村松孝次郎、中村益三、野村孝次郎、村松孝次郎
【事業概況】	本年三月末に於ける投資又は融資を通じての關係事業は二十一會社、八組合と他に滿鐵の外局一つ。而してこれらに對する當社の投資は二億四千四百萬圓、融資が三億六千八百萬圓であるが、二億圓を超える投資からの収入が十五乙年度に於て僅か八十二萬圓に過ぎない。

【資産負債】	十五年十二月 三三,二九〇,〇〇〇 十六年三月 三三,八〇〇,〇〇〇
【株主資本】	三三,八〇〇,〇〇〇
【外債】	三三,八〇〇,〇〇〇
【流動資産】	三三,八〇〇,〇〇〇
【流動負債】	三三,八〇〇,〇〇〇
【現金】	三三,八〇〇,〇〇〇
【債権】	三三,八〇〇,〇〇〇
【名義書換】	三三,八〇〇,〇〇〇

【國策會社】

中支那振興

【設立】昭和十三年十一月
【決算期】三月 九月
【本社】上海共同租界乍浦路二〇七
【支社】東京市麹町區大手町二ノ二(電丸ノ内四)

【六分据置】十六年度から四一三月決算に改められたので、本年一—三月は十五年乙年度として、經過的な決算を行ひ、民間配當は依然六分に据置いた。價却控除前の當年度の利益は二十三萬三千圓に上る。これを一ヶ年決算に引直して見ると、十五年度と略ぼ同様の成績に當る。

【投・融資】當年度に於ては華中鐵業、上海内河輪船、華中鐵道の三公司に對して合計二百九十萬圓を投資した結果、年度末現在投資額は五千四百四十二萬六千圓に達した。また融資も同期間に一千三百五十二萬四千圓を増加し、年度末融資残高は六千六百六十六萬四千圓となつてゐる。而して、當年度における投・融資は社債前借金によつて賄つた。

【今年度】十六年度の投・融資は五千萬圓見當で全額を起債調達する。本年度は鐵業及び交通部門に重點を置き、公共事業部門に壓縮を加へた結果、昨年度に比し約二割の削減に當る。

【事業】	交通運輸、通信、電氣
【資本】	公稱 100,000,000 拂込 100,000,000 政(現物) 100,000,000 民(現物) 100,000,000
【株主】	大株主 16名 小株主 1,200名
【役員】	社長 小川三郎 理事 神尾常孝、賀屋興宣、山田孝次郎、中村益三、野村孝次郎、村松孝次郎

【資産負債】	十五年十二月 100,000,000 十六年三月 100,000,000
【株主資本】	100,000,000
【外債】	100,000,000
【流動資産】	100,000,000
【流動負債】	100,000,000
【現金】	100,000,000
【債権】	100,000,000
【名義書換】	100,000,000

實物金融指定銘柄(二)

同日理同保滿同大森同大極日食同南同日日日日大滿北帝東壽日同日 錦

川淺同同小同滿同秩ヲ同オ日同北東日日住同旭同九同日昭三日同日同日

松華北滿同東馬同南理スボ同同同同日同東東南中北三東同三東帝

福朝北勸興京橋神大東新青宮山神滿其三四四五同南三東東同高

東大大日朝名南東東九京王京大東阪阪京京小朝滿鑄鑄鮮東南農中北東恩茨神

倉旭倉鐘富昭日石大三日日神京日日福九富京揖山中廣日日矢東東大東宇奧

滿滿滿本昭滿滿滿 日住日日宇中古池日東北日日淺朝日日帝瀧白三大東

【附録統計】

實物金融指定銘柄(一)

三不昭同住同三三同三同三同同安同第十第第同北同朝新日興同農同朝同日 株

國東京湘京青京王富湘同東同小同南東南日滿日千住大帝同東第住安三

大北同南關中京宇東九同渡多大日富上矢日壽滿同日電滿國同同大同日北同日

川同川同旭早同朝日岩太東同大同石新同順同帝小同昭中岩同南北日三同天

國同東三昭同立池チ滿大同東同大同加同櫻同東同小宮同荏大滿高同石池日

同特東宮吾同日 日日日芝東同東同日理日同同住同東日不理日同明同住同富

日倉同日東第 東日同倉足 壽日北三三 日日日日日日東日理同三理池鏡石日

【附録統計】

東株短期取引委託本證據金表

Table with columns for company names (e.g., 日糖, 日海, 大倉), stock types (e.g., 株, 債), and commission status (e.g., 本委託).

東株委託手数料料表

Table detailing commission rates for various stock types and transactions, including columns for '徴收標準' (collection standard), '手数' (transaction volume), '長期' (long-term), '短期' (short-term), and '實物' (physical goods).

(備考) 1. 本表料率ハ國債地方債及社債ニ付テハ額面百圓、外國國債地方債及社債ニ付テハ英貨額面ハ壹磅ヲ拾圓、佛貨額面ハ壹法ヲ四拾錢、米貨額面ハ壹弗ヲ貳圓、其他ハ法定平價ヲ以テ換算シタル額面百圓相當額トシ株式ニ付テハ壹株ノ定額ヲ示ス。 2. 賣買手数料ノ徴收標準ハ實物取引ニ在リテハ約定値段、長期取引ニ在リテハ新規帳入値段トス。 3. 短期取引ニ在リテハ徴收標準ハ受渡標準値段ニ依リ新規仕切賣買毎ニ徴收ス。 4. 委託手数料ノ徴收標準ハ約定値段ニ依ルモノトス。

【附録統計】

東株長期取引委託本證據金表 (圓)

Table listing long-term stock transactions with columns for company names (e.g., 沖繩, 同水, 大東), stock types, and commission status. Includes a detailed list of companies and their respective stock types.

【附録統計】

株 價 一 覽 表 (7) (昭和16年8月15日調)

【附 錄 統 計】

銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利息	銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利息
円	円	円	分	分	円	円	円	分	分
百貨店	50.0	57.5	1.00	7.83	東京株式	50.0	102.0	0.60	2.65
高島屋	40.0	44.5	1.00	8.09	同大阪株式	37.5	101.7	0.60	2.00
同白木	50.0	42.8	0.70	7.36	同大阪株式	50.0	57.5	0.45	3.52
松竹	50.0	55.1	0.80	6.53	同大阪株式	25.0	45.9	0.45	2.21
東京宝塚	20.0	35.7	0.85	4.29	同大阪株式	25.0	26.8	0.888	7.45
東映	50.0	69.2	0.88	5.72	同大阪株式	50.0	40.5	0.60	6.67
新興キネマ	20.0	23.2	0.60	4.66	同大阪株式	37.5	45.0	0.75	5.85
土建	50.0	53.5	0.80	6.73	同大阪株式	50.0	41.0	無配	—
同土地	42.5	13.7	0.80	6.57	同大阪株式	50.0	48.5	0.80	7.42
大阪土地	25.0	30.5	0.90	6.64	同大阪株式	12.5	16.0	0.60	4.28
同土地	50.0	49.5	0.70	6.35	同大阪株式	50.0	160.0	2.00	5.2
同土地	50.0	49.5	0.70	6.35	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
日産農林	50.0	54.8	0.90	7.39	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同新	25.0	28.0	0.90	7.23	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同マトラ	50.0	52.0	0.90	7.70	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同新	37.5	49.7	0.90	7.45	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同業	42.5	32.8	0.60	7.00	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同和	50.0	63.5	1.00	5.67	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同来	50.0	44.8	0.90	9.04	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同才	20.0	15.5	0.70	8.15	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同南	50.0	49.0	0.60	6.73	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同洋	50.0	49.0	0.90	8.27	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同漁	50.0	61.8	1.00	5.83	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同日	25.0	31.6	1.00	7.12	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同日本	50.0	66.3	1.00	6.79	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同新	25.0	42.4	1.00	5.31	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同極	37.5	33.1	0.80	7.09	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同煙	50.0	76.5	1.00	4.71	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同東	12.5	34.3	1.00	3.28	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同滿	35.0	71.0	1.00	4.44	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同洋	5.00	85.5	0.95	5.00	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同東	32.5	65.5	0.95	4.24	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同洲	5.00	59.2	0.80	6.08	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同北	12.5	35.2	1.00	3.20	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06
同華	17.5	29.0	1.00	5.43	同大阪株式	50.0	80.0	1.30	7.06

(備考) 税引利息ハ次記ノ税法ニ基ク税金ヲ配當金額カラ控除シ計算ス
 一割以上ノ場合ハ配當率利子特別税ヲ優先的ニ差引キ其ノ残額ニ分
 類所得稅ガ課セラレモノトス
 (1) 所得稅ハ所得稅法改正法律 (昭和十五年三月二十九日公布四月一日施
 行) 第二十一條ニ依リ賦課サレル即次記ノ如シ
 第二十一條 分類所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス
 第二配當利子所得 甲種ニ其ノ他 百分ノ十
 (2) 配當利子特別稅ハ配當利子特別稅法 (昭和十五年三月二十五日公布四
 月一日施行) 第五條ニ依ル
 第五條 配當利子特別稅次ノ如シ
 一、利益ノ配當 配當金中配當率一割ノ割合ヲ以テ算出シタル金
 額ヲ超ユル金額ノ百分ノ十五

株 主 特 典

【附 錄 統 計】

株主特典	株数	会社名
東京電力	500000	東京電力
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	王子電氣
東武電氣	100000	東武電氣
秩父電氣	100000	秩父電氣
東横電氣	100000	東横電氣
小田電氣	100000	小田電氣
東横電氣	100000	東横電氣
京成電氣	100000	京成電氣
京王電氣	100000	京王電氣
九電電氣	100000	九電電氣
王子電氣	100000	

株 價 一 覽 表 (5) (昭和16年8月15日調)

銘 柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻	銘 柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻
人絹人織					製粉				
新日本レイ	25.0	15.5	無配	—	日東粉新	25.0	27.0	0.94	7.91
酒伊織維	50.0	38.0	無配	—	日滿製粉	50.0	47.5	0.70	6.63
東亞織維工	25.0	24.0	0.80	7.50	電燈				
製絲					日本發送電	50.0	48.2	0.40	3.73
片倉製絲	25.0	25.0	0.80	7.20	同京電新	12.5	12.2	0.40	3.69
郡是製絲	50.0	51.0	0.90	7.94	同東邦電	50.0	50.4	0.80	7.14
同新	50.0	50.1	0.90	8.08	同滿洲電	50.0	52.0	0.70	6.06
羊毛					同第二新	10.0	10.3	0.70	6.12
日本毛織	50.0	85.3	1.20	6.10	同日本電	50.0	45.8	0.70	6.88
同新	25.0	45.0	1.20	5.85	同宇治川電	12.5	11.3	0.70	6.97
同東紡織	50.0	45.1	0.60	8.06	同宇治川電	50.0	40.0	0.40	4.50
同昭毛糸紡	25.0	33.5	1.00	6.72	同臺灣電	25.0	19.7	0.40	4.57
同滿蒙毛織	50.0	66.0	0.90	6.14	同九州水	50.0	55.0	0.70	5.73
同新	12.5	21.0	0.90	4.82	同九州水	25.0	28.0	0.70	5.63
同東洋毛織	50.0	54.0	0.70	5.83	同九州水	50.0	50.7	0.80	7.10
同第二新	20.0	21.2	0.70	5.94	同日本電	12.5	13.0	0.80	6.92
同東洋毛織	30.0	28.5	0.90	8.53	同日本電	50.0	51.0	0.80	7.06
同第一毛織	40.0	48.0	0.80	6.00	同第三新	25.0	25.0	0.80	7.20
製國織					同山陽配電	12.5	13.6	0.80	6.62
帝國織	50.0	76.8	1.00	5.86	同第二新	50.0	52.5	0.80	6.86
同新	15.0	31.8	1.00	4.25	同京都電	14.0	15.4	0.80	6.54
日滿亞麻紡	50.0	66.0	0.90	6.14	同東水	50.0	53.5	0.80	6.73
東洋麻紡	50.0	60.0	1.00	7.50	同東水	20.0	23.0	0.80	6.26
同新	50.0	59.0	1.00	7.63	同東水	50.0	50.5	0.84	7.49
同鐘淵實業	50.0	54.7	0.70	5.78	同東水	12.5	13.0	0.84	7.25
製糖・製菓					同京城電	50.0	72.3	1.00	6.22
大日本製糖	50.0	79.3	1.10	6.16	同京城電	30.0	47.3	1.00	5.71
同新	37.5	66.2	1.10	5.53	同斐川電力	50.0	41.0	0.60	6.59
同臺灣製	50.0	102.7	1.20	5.13	同斐川電力	50.0	48.0	0.80	7.50
同新	20.0	50.0	1.20	4.28	同優先	50.0	50.5	0.20	10.43
同明治製	50.0	101.8	1.20	5.17	同新	20.0	17.5	0.80	8.23
同鹽水港製	30.0	62.6	1.20	5.56	同第二新	25.0	22.0	0.80	8.18
同新	50.0	55.2	0.80	6.52	同東信電	50.0	60.8	0.88	6.51
同南洋興發	12.5	16.4	0.80	5.49	同新	12.5	15.8	0.88	6.27
同新	50.0	58.0	0.90	6.98	同日立電力	50.0	50.0	0.90	8.10
同北海道製	25.0	28.0	0.90	7.23	同上毛電力	25.0	21.0	0.70	7.50
同沖繩製	50.0	37.5	0.50	6.00	同群馬水電	45.0	53.0	0.90	6.88
同明治製	50.0	36.5	0.60	7.40	同京濱第二	12.5	12.3	0.80	7.32
同森永製	50.0	66.0	0.80	5.45	同富士電力	37.5	30.5	0.70	7.75
同新	50.0	53.5	0.80	6.73	同日本海電	50.0	60.0	0.80	6.00
同麥酒	20.0	22.5	0.80	6.22	同新	12.5	15.5	0.80	5.81
大日本麥酒	50.0	85.4	1.10	5.72	同海水電	50.0	52.0	0.80	6.92
同新	12.5	29.4	1.10	4.65	同大井川電	32.5	33.0	0.95	8.42
同麒麟麥酒	50.0	104.6	0.90	3.87	同多摩川電	37.5	18.3	0.20	3.69
同櫻麥酒	50.0	53.0	0.60	4.24	同廣島電	50.0	53.3	0.80	6.75
製粉					同四國水	12.5	13.0	0.80	6.92
日清製粉	50.0	82.7	1.00	5.44	同出雲電	50.0	71.5	1.00	6.29
同新	25.0	41.5	1.00	5.42	同九州電	17.5	26.0	1.00	6.06
同日本製	50.0	79.7	1.00	5.65	同九州電	50.0	53.8	0.90	7.53
同東製	25.0	42.5	1.00	5.29	同九州電	12.5	13.5	0.90	7.50
同新	50.0	55.5	0.94	7.69	同九州電	50.0	61.1	0.80	5.89

【附
錄
統
計】

株 價 一 覽 表 (6) (昭和16年8月15日調)

銘 柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻	銘 柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻
電燈					鐵道				
九州電氣新	30.0	36.0	0.80	6.00	小田急電鐵	50.0	46.7	0.60	5.78
日本水電	50.0	56.5	0.80	6.87	同新	22.5	19.3	0.60	6.30
西鮮合同	50.0	59.5	0.80	6.06	同第二新	37.5	33.2	0.60	6.13
南鮮合同	50.0	64.0	0.90	6.33	東京高速鐵	30.0	33.1	0.55	4.49
同瓦斯					西武鐵道新	50.0	56.3	0.55	4.40
東京瓦斯	50.0	65.1	0.80	5.53	同新	15.0	21.5	0.55	3.45
同新	25.0	32.6	0.80	5.52	同武野鐵道	50.0	65.5	0.80	5.50
同大阪瓦斯	50.0	69.5	0.90	5.83	同青梅電鐵	50.0	65.0	0.80	5.54
同神戸瓦斯	50.0	74.5	0.96	5.82	同秩父鐵道	30.0	39.0	0.80	5.54
同新	25.0	35.5	0.96	6.08	同秩父鐵道	50.0	66.0	0.80	5.45
同京都瓦斯	50.0	60.5	0.80	5.95	同秩父鐵道	25.0	35.6	0.80	5.06
同新	30.0	37.0	0.80	5.84	同秩父鐵道	50.0	49.0	0.50	4.59
同東邦瓦斯	37.5	52.5	0.92	5.87	同秩父鐵道	40.0	39.0	0.50	4.62
同新	50.0	71.5	0.92	5.79	同秩父鐵道	40.0	39.0	0.50	4.62
同關東瓦斯	40.0	47.5	0.84	6.37	同秩父鐵道	50.0	43.0	0.60	5.02
同北海道瓦斯	50.0	56.5	0.80	6.37	同秩父鐵道	50.0	54.5	0.60	4.95
同新	12.5	16.7	0.80	5.39	同秩父鐵道	30.0	34.1	0.60	4.75
同南滿洲瓦斯	50.0	60.0	0.80	6.00	同秩父鐵道	50.0	72.2	0.90	5.61
同新	12.5	16.8	0.80	5.36	同秩父鐵道	25.0	37.0	0.90	5.47
同西部瓦斯	25.0	30.3	0.90	6.68	同秩父鐵道	50.0	78.8	0.96	5.43
同九州瓦斯	40.0	44.5	0.90	7.28	同秩父鐵道	25.0	51.8	0.96	4.17
同海運					同秩父鐵道	50.0	69.8	0.80	5.16
日本郵船	50.0	90.1	0.80	4.00	同秩父鐵道	12.5	32.0	0.80	2.81
同新	37.5	69.1	0.80	3.91	同秩父鐵道	50.0	60.2	0.60	5.38
同大阪商船	50.0	78.8	0.80	5.23	同秩父鐵道	30.0	29.2	0.60	5.55
同新	37.5	62.0	0.80	4.35	同秩父鐵道	50.0	83.0	2.00	5.42
同日產汽船	50.0	63.8	0.88	6.21	同秩父鐵道	50.0	58.5	0.40	3.36
同東洋汽船	50.0	78.5	0.93	5.33	同秩父鐵道	40.0	42.5	0.40	3.39
同東京汽船	50.0	46.5	0.80	7.74	同秩父鐵道	25.0	39.0	0.70	4.04
同新	35.0	32.2	0.80	7.83	同秩父鐵道	50.0	51.3	0.70	6.14
同日東鐵道	50.0	58.0	0.80	6.21	同秩父鐵道	50.0	57.2	0.60	4.72
同神戶鐵道	25.0	39.8	0.95	6.94	同秩父鐵道	15.0	22.0	0.60	3.68
同日本海	50.0	62.5	0.70	5.04	同秩父鐵道	50.0	45.0	0.30	3.00
同北日本汽船	50.0	60.0	0.90	6.75	同秩父鐵道	50.0	52.3	0.80	6.88
同鐵道					同秩父鐵道	20.0	22.0	0.80	6.55
同東武鐵道	50.0	69.1	0.80	5.21	同秩父鐵道	50.0	59.5	0.60	4.54
同新	49.0	56.0	0.80	5.14	同秩父鐵道	50.0	70.5	0.90	5.74
同東京橫濱	50.0	68.5	0.90	5.91	同秩父鐵道	30.0	41.0	0.90	5.93
同新	30.0	42.4	0.90	5.73	同秩父鐵道	50.0	59.0	0.80	6.10
同京濱電氣	50.0	67.8	0.937	6.21	同秩父鐵道	20.0	23.5	0.80	6.13
同新	12.5	20.8	0.937	5.06	同秩父鐵道	50.0	50.3	0.60	5.37
同湘南電新	50.0	65.6	0.80	5.49	同秩父鐵道	12.5	12.5	0.60	7.20
同新	12.5	20.3	0.80	4.43	同秩父鐵道	5.0	5.4	0.60	5.00
同東京地下	40.0	53.3	0.60	4.05	同秩父鐵道	30.0	32.5	0.70	5.82
同新	35.0	44.8	0.60	4.69	同秩父鐵道	12.5	13.3	0.70	5.92
同第三新	50.0	64.2	0.60	4.21	同秩父鐵道	50.0	62.5	0.70	5.04
同京成電	50.0	63.0	0.90	6.43	同秩父鐵道	37.5	37.2	0.60	5.44
同王子電	25.0	32.9	0.90	6.15	同秩父鐵道	25.0	23.9	0.60	5.65
同同王電	50.0	58.7	1.00	7.67	同百貨店				
同京王電	15.0	18.6	1.00	7.26	同越前	50.0	71.3	1.00	6.31
同同	50.0	69.0	0.95	6.20	同新	20.0	30.0	1.00	6.00
同同	12.5	24.4	0.95	4.38	同松屋吳服	50.0	42.8	0.70	7.36
同同					同丸	40.0	45.0	0.90	7.20

【附
錄
統
計】

株 價 一 覽 表 (3) (昭和16年8月15日調)

【附録統計】

銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻	銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻
円	円	割	分	円	円	割	分	円	分
機 械					肥 料				
芝浦マツダ	50.0	75.0	0.85	5.88	日 望 新	12.5	21.3	1.00	5.23
同 新	12.5	33.2	0.85	2.88	日 産 化	50.0	45.5	0.90	8.90
高砂鐵工	50.0	47.7	0.80	7.55	同 洋 高	37.5	33.3	0.90	9.12
品川精工	50.0	55.0	1.00	8.04	同 東 洋	50.0	65.1	0.85	5.88
同 飯工	50.0	25.5	0.60	10.59	同 電 氣	25.0	31.8	0.85	6.01
同 鋼 新	40.0	15.0	0.60	14.44	同 住 友	50.0	53.3	0.90	7.60
同 國 光	50.0	53.5	0.95	7.99	同 住 友	25.0	27.1	0.90	7.47
同 池 貝	25.0	27.5	0.95	7.77	同 宇 部	50.0	85.0	0.90	4.76
同 池 貝	50.0	47.4	0.70	6.65	同 宇 部	50.0	41.0	0.50	5.49
同 池 貝	50.0	55.5	0.60	4.78	同 宇 部	50.0	49.0	0.85	7.31
同 池 貝	37.5	20.0	無配	—	同 宇 部	37.5	35.5	0.85	8.08
同 池 貝	50.0	79.0	1.40	7.63	同 宇 部	50.0	27.0	0.70	11.67
同 池 貝	50.0	66.0	1.20	10.53	同 宇 部	50.0	50.0	0.80	7.20
同 池 貝	50.0	27.0	無配	—	同 宇 部	25.0	25.0	0.80	7.20
同 池 貝	50.0	32.5	0.80	11.08	同 宇 部	42.5	30.8	0.50	6.21
同 池 貝	50.0	49.0	0.90	8.27	同 宇 部	50.0	41.5	0.80	8.67
同 池 貝	25.0	24.3	0.90	8.27	同 宇 部	60.0	22.8	無配	—
同 池 貝	50.0	47.5	0.90	8.53	同 宇 部	12.5	4.8	無配	—
同 池 貝	50.0	97.0	0.90	4.18	同 宇 部	50.0	35.5	0.80	10.14
同 池 貝	37.5	84.0	0.90	3.62	同 宇 部	25.0	20.0	0.88	9.00
同 池 貝	50.0	70.0	1.10	6.98	同 宇 部	50.0	36.0	0.80	10.00
同 池 貝	25.0	34.0	1.10	7.18	同 宇 部	50.0	53.5	0.90	6.78
同 池 貝	50.0	55.5	1.00	7.96	同 宇 部	47.5	48.5	0.90	7.98
同 池 貝	25.0	29.0	1.00	7.76	同 宇 部	50.0	72.5	1.14	7.08
同 池 貝	25.0	34.5	0.80	5.22	同 宇 部	37.5	59.5	1.14	7.05
同 池 貝	50.0	34.0	0.80	10.59	同 宇 部	30.0	11.2	無配	—
同 池 貝	50.0	35.0	0.60	7.71	同 宇 部	17.5	5.8	無配	—
同 池 貝	50.0	73.8	0.80	4.88	同 宇 部	50.0	52.5	0.90	7.71
同 池 貝	50.0	42.5	0.90	9.53	同 宇 部	25.0	26.5	0.90	7.64
同 池 貝	50.0	42.5	0.90	10.00	同 宇 部	50.0	100.0	0.80	3.60
同 池 貝	50.0	42.5	0.90	10.00	同 宇 部	30.0	75.5	0.80	2.86
同 池 貝	12.5	18.9	0.90	9.58	同 宇 部	50.0	71.5	1.20	7.36
同 池 貝	50.0	42.0	0.50	5.35	同 宇 部	50.0	52.2	0.90	7.76
同 池 貝	25.0	11.0	0.50	5.11	同 宇 部	25.0	24.7	0.90	8.27
同 池 貝	25.0	25.0	0.95	8.55	同 宇 部	43.5	42.5	0.90	8.29
同 池 貝	50.0	15.0	0.70	10.59	同 宇 部	50.0	109.0	1.60	6.23
同 池 貝	50.0	46.0	0.85	8.32	同 宇 部	50.0	79.5	1.00	5.66
同 池 貝	50.0	40.3	0.80	8.93	同 宇 部	12.5	29.5	1.00	3.81
同 池 貝	50.0	36.5	無配	—	同 宇 部	50.0	70.0	0.80	5.14
同 池 貝	50.0	54.0	1.00	8.33	同 宇 部	25.0	49.0	0.70	3.21
同 池 貝	25.0	23.3	1.00	7.95	同 宇 部	50.0	70.5	1.00	6.38
同 池 貝	50.0	64.5	1.00	6.98	同 宇 部	25.0	41.5	1.00	5.42
同 池 貝	50.0	65.8	1.10	7.42	同 宇 部	50.0	86.5	1.30	6.53
同 池 貝	50.0	50.0	1.00	9.00	同 宇 部	12.5	38.5	1.30	3.67
同 池 貝	37.5	37.0	1.00	9.12	同 宇 部	50.0	58.0	0.90	6.98
同 池 貝	40.0	40.0	0.70	6.30	同 宇 部	30.0	38.8	0.90	6.26
同 池 貝	50.0	50.5	0.80	7.13	同 宇 部	50.0	49.0	0.90	8.27
同 池 貝	25.0	24.5	0.80	7.35	同 宇 部	50.0	56.0	1.00	8.04
同 池 貝	50.0	59.2	1.00	7.60	同 宇 部	12.5	16.5	1.00	6.82
同 池 貝	50.0	65.3	1.00	6.89	同 宇 部	50.0	49.0	1.00	9.18

株 價 一 覽 表 (4) (昭和16年8月15日調)

【附録統計】

銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻	銘柄	拂込金額	時價	現行配當	税引利廻
円	円	割	分	円	円	割	分	円	分
化 學					窯 業				
日本硫黃新	12.5	12.7	1.00	8.86	大 阪 窯 業	20.0	30.2	1.20	7.09
東海電極	50.0	74.5	1.10	6.55	川 崎 窯 業	50.0	45.5	1.00	9.89
カール	50.0	55.7	1.00	8.08	名 古 屋 窯 業	50.0	28.0	無配	—
同 共 社	50.0	66.5	0.80	5.41	旭 硝 子	50.0	111.5	1.30	5.07
同 興 社	50.0	52.2	0.85	7.33	品 川 白 煉 瓦	50.0	54.5	0.80	6.61
同 新 新	35.0	33.8	0.85	7.92	日 本 エ ン ン	25.0	26.5	1.00	8.48
オリエンタ	50.0	54.3	1.00	8.29	日 本 コ ン	42.5	28.3	0.80	10.81
富士寫真	35.0	70.5	1.00	4.47	紡 績				
同 眞 鍊	50.0	48.0	0.90	8.44	東 洋 紡 績	50.0	146.0	1.80	5.18
同 眞 鍊	40.0	36.7	0.90	8.83	錦 洲 紡 績	50.0	139.0	1.80	5.44
同 眞 鍊	50.0	46.3	0.80	7.78	同 新 新	12.5	75.2	1.80	2.51
同 眞 鍊	50.0	46.5	0.80	7.74	日 清 紡 績	50.0	76.3	1.10	6.40
同 眞 鍊	50.0	61.5	1.00	7.32	大 日 本 紡 績	50.0	91.0	1.20	6.79
同 眞 鍊	37.5	44.2	1.00	7.64	同 新 新	25.0	51.0	1.20	5.16
同 眞 鍊	50.0	83.0	1.20	6.51	富 士 瓦 斯 紡	50.0	62.6	0.80	5.75
同 眞 鍊	50.0	20.1	無配	—	同 新 新	25.0	32.3	0.80	5.57
同 眞 鍊	50.0	80.3	1.00	5.60	同 新 新	50.0	60.0	1.00	7.50
同 眞 鍊	37.5	67.0	1.00	5.04	同 新 新	50.0	57.5	1.00	7.83
同 眞 鍊	50.0	98.5	1.00	4.57	同 新 新	25.0	29.8	1.00	7.55
同 眞 鍊	50.0	71.0	1.00	3.17	同 新 新	17.5	20.3	1.00	7.76
同 眞 鍊	30.0	47.0	1.10	5.43	同 新 新	12.5	16.1	1.00	6.99
同 眞 鍊	50.0	50.0	0.70	6.30	同 新 新	50.0	64.0	1.00	7.03
同 眞 鍊	25.0	21.3	0.80	8.45	同 新 新	25.0	33.7	1.00	6.68
同 眞 鍊	25.0	29.0	1.00	7.76	同 新 新	50.0	57.5	1.00	7.88
同 眞 鍊	37.5	30.6	0.50	5.51	同 新 新	50.0	86.5	1.50	7.41
同 眞 鍊	37.5	28.0	0.80	9.64	同 新 新	50.0	95.3	1.20	5.52
同 眞 鍊	25.0	26.0	0.70	6.06	同 新 新	25.0	54.3	1.20	4.85
同 眞 鍊	25.0	26.8	0.50	4.20	同 新 新	50.0	77.0	1.20	6.84
同 眞 鍊	50.0	49.8	0.70	6.33	同 新 新	25.0	47.3	1.20	5.57
同 眞 鍊	30.0	23.7	0.70	6.59	同 新 新	25.0	63.5	2.00	6.40
同 眞 鍊	22.5	20.0	0.70	7.09	同 新 新	10.0	33.5	2.00	5.22
同 眞 鍊	50.0	70.0	1.00	6.48	同 新 新	50.0	74.0	0.90	5.47
同 眞 鍊	50.0	48.5	0.80	7.42	同 新 新	12.5	22.0	0.90	4.60
同 眞 鍊	12.5	12.6	0.80	7.14	同 新 新	50.0	71.5	1.20	7.35
同 眞 鍊	30.0	63.2	1.30	5.64	同 新 新	50.0	60.5	1.00	7.44
同 眞 鍊	20.0	43.8	1.30	5.27	同 新 新	50.0	98.8	1.20	5.33
同 眞 鍊	50.0	74.5	1.20	5.72	同 新 新	37.5	76.2	1.20	5.18
同 眞 鍊	25.0	38.5	1.20	6.84	同 新 新	50.0	60.3	1.00	7.46
同 眞 鍊	50.0	39.8	0.60	6.78	同 新 新	12.5	19.8	1.00	5.68
同 眞 鍊	25.0	18.2	0.60	7.42	同 新 新	37.5	65.0	1.00	5.19
同 眞 鍊	50.0	48.7	0.80	7.39	同 新 新	50.0	66.7	1.00	6.75
同 眞 鍊	50.0	50.5	0.80	6.55	同 新 新	25.0	33.8	1.00	6.66
同 眞 鍊	50.0	55.0	0.90	7.36	同 新 新	50.0	54.7	1.00	8.23
同 眞 鍊	22.5	24.5	0.90	7.44	同 新 新	25.0	29.5	1.00	7.63
同 眞 鍊	50.0	45.0	0.80	8.00	同 新 新	50.0	52.5	0.80	6.86
同 眞 鍊	25.0	26.0	0.80	6.92	同 新 新	25.0	23.0	0.80	7.83
同 眞 鍊	50.0	43.5	0.80	8.28	同 新 新	50.0	53.5	0.90	7.57
同 眞 鍊	25.0	22.0	0.80	8.18	同 新 新	50.0	53.5	0.80	6.73
同 眞 鍊	50.0	43.0	0.40	4.19	同 新 新	12.5	16.5	0.80	5.45
同 眞 鍊					同 新 新	25.0	40.8	1.00	5.51

株 價 一 覽 表 (1) (昭和16年8月15日調)

Table with columns: 銘柄, 拂込金額, 時價, 現行配當, 税引利廻, 銘柄, 拂込金額, 時價, 現行配當, 税引利廻. Includes entries like 製鋼, 日本製鋼, 日本鋼管, etc.

【附録統計】

株 價 一 覽 表 (2) (昭和16年8月15日調)

Table with columns: 銘柄, 拂込金額, 時價, 現行配當, 税引利廻, 銘柄, 拂込金額, 時價, 現行配當, 税引利廻. Includes entries like 石油, 早山石油, 朝鮮石油, etc.

【附録統計】

昭和十六年 第四輯 社會四報

昭和十六年九月十六日印刷
昭和十六年九月十九日發行

（定價金壹圓送六料錢）

東京市日本橋區本町三ノ二

野澤義朗 編輯印刷
發行所

東京市牛込區七町

大日本印刷株式會社印刷所

發行所

東京市日本橋區本町三ノ二
東洋經濟新報社出版部

振替東京六八五二八番
電話東二八八五三番
日本郵政(24)番
會員番號一七〇五一〇番

關西支局

大阪市北區堂島濱通一ノ一(堂ビル七階)

振替大阪二九八六五番
電話北(36)五八九〇九

名古屋支局

名古屋市中區榮町一丁目(日本徴兵館)

振替名古屋四〇七二四番
電話本局四五五・二八二四番

神戸支局

神戸市神戶區京町六七

振替神戶一八八八番
電話三宮(3)一八〇二番
京都市下京區四條柳馬場東入(京都ビル)

京都支局

電話本局(2)二八三六番

九州支局

福岡市片土居町(十五ビル)

振替福岡二六八七七番
電話東四七二六番

京城支局

京城府明治町一ノ六四

振替京城三一七二四番
電話本局(2)四二〇七番

橫濱支局

橫濱市中區本町三ノ三一(橫濱取引所)

電話本局(2)四七五七番
小倉市鳥町三丁目(商工會議所内)

小倉支局

振替福岡四〇七一四番
電話二六九二番

配給元

東京市神田區淡路町二ノ九
日本出版配給株式會社

株式會社
鳩見屋



東京株式取引所一般賣物取引員
鳩見屋

石田信之助商店

東京市日本橋區兜町二丁目廿六番地

電話
茅場町 (66)
1519
1719
2480
2760
2761
2762
3343
3735
4325

振替口座東京八三二六二番

14.5

817

有價證券引受業
日本銀行引受國債賣捌取扱

共同證券株式會社

專務取締役 岡田安之助

本店 東京市日本橋區二丁目一番地
電話(代表)日本橋五一二六番

支店 大阪市東區今橋二丁目一番地
電話北濱二〇五二番

支店 名古屋市中區南大津通一丁目三番地
電話中五六一六九番



有價證券引受業
日銀引受國債賣捌
公積社債買賣
有價證券擔保金融

日興證券株式會社

東京市丸ノ内日本興業銀行四階
電話丸ノ内(23)代表二四一四—長二四一九

資本金壹千萬圓

支店
大 阪
廣 島
神 戶
新 潟
山 崎
富 山
京 都
福 岡

終

① ¥ 1.00